

●通信省令第四十號

滑空機規則左ノ通定ム

昭和十二年五月三十一日

通信大臣 伯爵 兒玉 秀雄

滑空機規則

目次

- 第一章 總則
- 第二章 檢査
- 第三章 記號及番號
- 第四章 乘員
- 第五章 試驗
- 第六章 運航

滑空機規則

第一章 總則

第一條 航空法第六條第二項、第七條、第八條第二項乃至第四項、第九條、第十六條、第十九條、航空法施行規則第二十一條乃至第二十三條、第二十五條、第三十一條乃至第六十八條、第七十四條、第七十七條第一項及第七十九條ノ規定ハ滑空機ニ之ヲ適用セズ

第二條 滑空機ハ左ノ二種トス

- 一 甲種滑空機 曲技ヲ行ヒ又ハ他ノ航空機ニ曳航セラレ得ル性能及強度ヲ有スル滑空機
- 二 乙種滑空機 前號ニ掲グルモノ以外ノ滑空機

第二章 檢査

第三條 航空法施行規則第十二條乃至第十五條ノ規定ニ依ル檢査申請書ニハ滑空機ノ種別ヲ附記スベシ

第四條 通信大臣乙種滑空機ノ製造檢査ニ付必要ナシト認ムルトキハ材料、部分品、技功又ハ製品ノ檢査ヲ省略スルコトアルベシ

第五條 乙種滑空機ノ製造完了シタルトキハ製造者ハ左ニ掲グル事項ニ付調査ヲ行ヒ其ノ成績表ヲ通信大臣ニ提出スベシ

- 一 重量
- 二 寸度ノ良否
- 三 變歪ノ有無
- 四 各部ノ調整、平衡及機能ノ良否

第六條 航空法施行規則第十三條ノ規定ニ依リ特別檢査申請書ニ添付スル書類ニハ滑空機ノ使用回数ヲ附記スベシ

第七條 乙種滑空機ノ定期檢査申請書ニハ滑空機ノ現狀ニ關スル報告書ヲ添付スベシ

第八條 通信大臣乙種滑空機ノ特別檢査、定期檢査又ハ臨時檢査ノ場合ニ於テ申請書其ノ他ニ依リ堪航性ニ支障ナシト認ムルトキハ臨時檢査ヲ省略スルコトアルベシ

第九條 堪航證明書ノ有効期間ハ製造檢査又ハ特別檢査ニ合格シタル日ヨリ起算シ

甲種滑空機ニ在リテハ六月以内ニ於テ、乙種滑空機ニ在リテハ一年以内ニ於テ通信大臣之ヲ定ム

前項ノ有効期間ハ定期檢査又ハ臨時檢査ノ結果ニ依リ檢査ノ日ヨリ起算シ甲種滑空機ニ在リテハ六月以内ニ於テ、乙種滑空機ニ在リテハ一年以内ニ於テ通信大臣之ヲ延長ス

第十條 滑空機ノ牽引裝置ニ付テハ牽引索ヲ除ク外第二號書式ニ依リ檢査申請書ヲ通信大臣ニ提出シ檢査ヲ受クベシ

前項ノ檢査ニ合格シタル牽引裝置ニハ第三號書式ニ依リ檢査済記號ヲ標示ス

第十一條 機械力ヲ以テ滑空機ヲ牽引スル牽引裝置ニハ牽引者ニ於テ何時ニテモ牽引索ヲ切斷又ハ離脱シ得ル裝置ヲ備フベシ

第十二條 通信大臣必要アリト認ムルトキハ何時ニテモ牽引裝置ノ檢査ヲ爲スコトアルベシ

第三章 記號及番號

第十三條 製造檢査又ハ特別檢査ニ合格シタル滑空機ニハ主翼ノ上面及胴體ノ兩側ニ其ノ種別記號及檢査番號ヲ明瞭ニ表示スベシ

第十四條 滑空機ノ種別記號ハ甲種滑空機ニ在リテハ羅馬字ノ大文字A、乙種滑空機ニ在リテハ羅馬字ノ大文字Bヲ以テ之ヲ表示ス

滑空機ノ檢査番號ハ「アラビヤ」數字ヲ以テ之ヲ表示ス

第四章 乘員

第十五條 滑空機ノ乘員ハ航空法第十五條第二項ノ技術證明書ヲ有スルコトヲ要セス

第十六條 滑空機ノ乘員ノ航空免狀ハ一級滑空士免狀及二級滑空士免狀ノ二種トス

滑空士免狀ハ第四號書式ニ依ル

第十七條 一級滑空士免狀ノ受有者ニ非ザレバ運送營業ノ爲ニスル滑空ニ從事シ又ハ他ノ航空機ノ曳航ニ依リ滑空機ノ運航ヲ爲スコトヲ得ズ

第十八條 通信大臣ハ滑空士免狀ノ受有者本令又ハ本令ニ基キテ發スル命令ニ違反シ又ハ運航練習ノ指導ヲ爲スニ適セズト認ムルトキハ其ノ就業ヲ制限、停止又ハ禁止スルコトアルベシ

前項ノ規定ニ依リ就業ヲ制限又ハ停止セラレタル者ハ遲滞ナク滑空士免狀ヲ通信大臣ニ提出スベシ

第十九條 通信大臣ハ運送營業ニ從事スル一級滑空士免狀受有者ニ對シ免狀交付ノ日ヨリ六月以内毎ニ定期ニ體格檢査ヲ行フ

第五章 試驗

第二十條 一級滑空士免狀交付申請者ハ年齡滿十九歲以上、二級滑空士免狀交付申請者ハ年齡滿十七歲以上ノ者ナルコトヲ要ス

第二十一條 一級滑空士免狀交付申請者ハ五分間ヲ超ユル單獨滑空五回以上、一時間ヲ超ユル單獨滑空一回以上及他ノ航空機ノ曳航ニ依リ單獨滑空二回以上ノ履歴ヲ、二級滑空士免狀交付申請者ハ一分間ヲ超ユル單獨滑空五回以上及五分間ヲ超ユル單獨滑空一回以上ノ履歴ヲ有スル者ナルコトヲ要ス

第二十二條 滑空士免狀交付申請者ハ第五號書式ニ依リ申請書ニ戶籍抄本、航空機乘員試驗規則第十條第一號ニ該當セザルコトノ市區町村長其ノ他當該官公吏ノ證明書、最近撮影シタル寫眞(半身脫帽)二葉、第六號書式ニ依リ履歴書及航空機乘員體格檢査規則第一號書式ニ依リ醫師ノ作成シタル體格檢査證ヲ添付シ通信大臣ニ之ヲ提出スベシ

第二十三條 通信大臣前條ノ申請書ヲ受理シタルトキハ體格檢査、實地試驗及學科試驗ヲ行ヒ之ニ合格シタル者ニ滑空士免狀ヲ交付ス

第二十四條 一級滑空士免狀及二級滑空士免狀交付申請者ニ對スル體格檢査ハ航空機乘員體格檢査規則ニ依リ夫々一等飛行機操縱士免狀及二等飛行機操縱士免狀ノ交付申請者ニ對スル體格檢査ニ準ジ之ヲ行フ

第二十五條 滑空機ノ乗員ノ試験ニ付テハ航空機乗員試験規則第一條乃至第七條及第十條ノ規定ヲ準用ス

第二十六條 一級滑空士免狀交付申請者ニ對スル實地試験ハ左ノ科目ニ付之ヲ行フ  
一 單獨ニテ滑空機ニ搭乘シ連續一時間以上滑空スルコト

二 單獨ニテ滑空機ニ搭乘シ牽引索ヲ離脱シタル時ノ高度ヨリ三百メートル以上ノ上空ニ達スルコト  
三 單獨ニテ滑空機ニ搭乘シ滑空ノ後試験官ノ指定スル區域内ニ正常ノ著陸ヲ爲スコト

四 單獨ニテ滑空機ニ搭乘シ他ノ航空機ノ曳航ニ依リ出發ノ場所ヨリ約二十キロメートルヲ隔ツル試験官ノ指定スル場所ノ上空ニ至リ更ニ出發ノ場所ニ復歸スルコト

第二十七條 二級滑空士免狀交付申請者ニ對スル實地試験ハ左ノ科目ニ付之ヲ行フ  
一 單獨ニテ滑空機ニ搭乘シ連續五分間以上滑空スルコト  
二 單獨ニテ滑空機ニ搭乘シ滑空ノ後試験官ノ指定スル區域内ニ正常ノ著陸ヲ爲スコト

第二十八條 一級滑空士免狀交付申請者ニ對スル學科試験ハ左ノ科目ニ付之ヲ行フ  
一 滑空機ニ關スル一般智識  
二 航空學ニ關スル一般智識  
三 航空及氣象ニ關スル一般智識  
四 國內航空法規

第二十九條 二級滑空士免狀交付申請者ニ對スル學科試験ハ左ノ科目ニ付之ヲ行フ

一 滑空機ニ關スル一般智識  
二 氣象ニ關スル初等智識  
三 國內航空法規ノ概要

第三十條 滑空士免狀ノ受有者曲技滑空ニ從事セムトスルトキハ第七號書式ニ依ル曲技滑空免許申請書ヲ逕信大臣ニ提出スベシ  
逕信大臣前項ノ申請書ヲ受理シタルトキハ實地試験ヲ行ヒ申請者之ニ合格シタルトキハ其ノ受有スル滑空士免狀ニ免許ノ年月日ヲ記入ス

第三十一條 前條ノ實地試験ハ試験官ノ指定スル高度ニ滑空機ヲ上昇セシメタル後由返、急反轉等ノ科目ニ付之ヲ行フ

第三十二條 滑空機ハ他ノ航空機ノ曳航ニ依ル場合ヲ除クノ外公共ノ用ニ供スル飛行場ニ於テ離陸又ハ著陸スルコトヲ得ズ但シ逕信大臣ノ許可ヲ受ケタルトキハ此ノ限ニ在ラズ

第三十三條 航空法第十五條第一項ノ規定ハ滑空機ニ搭乘シテ運航練習ヲ爲ス者ニ之ヲ適用セス  
運航練習ハ滑空機ノ乗員ノ指導ヲ受ケルニ非ザレバ之ヲ爲スコトヲ得ズ但シ二級滑空士免狀ノ受有者他ノ航空機ノ曳航ニ依ル運航練習ヲ爲ス場合、一級滑空士免狀若ハ二級滑空士免狀ノ受有者曲技滑空ノ練習ヲ爲ス場合又ハ逕信大臣ノ許可ヲ受ケタル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

第三十四條 他ノ航空機ノ曳航ニ依ル滑空機ノ運航練習ノ指導ハ一級滑空士免狀ノ受有者ニ限り之ヲ爲スコトヲ得

曲技滑空ノ練習ノ指導ハ第三十條ノ規定ニ依ル免許ヲ受ケタル者ニ限り之ヲ爲スコトヲ得

第三十五條 他ノ航空機ノ曳航ニ依ル滑空機ノ運航練習ハ逕信大臣ノ許可ヲ受ケタル場合ヲ除クノ外出發ノ場所ノ周圍二十キロメートル以内ノ場所ノ上空ニ於テノミ之ヲ行フコトヲ得

第三十六條 滑空機ニ備附クベキ航空日誌ハ第八號書式ニ依ル

附則  
第三十七條 本令ハ昭和十二年六月一日ヨリ之ヲ施行ス

第三十八條 本令施行前検査ニ合格シタル滑空機ハ之ヲ本令ニ依ル検査ニ合格シタルモノト看做ス

第三十九條 第三章ノ規定ハ本令施行前検査ニ合格シタル滑空機ニシテ國籍記號及登録記號ヲ表示シタルモノニ之ヲ適用セス

第一號書式

150 ミリメートル

型 式		積 載 量		用 途	種別記號及検査番號	機 體 證 明 書 番 號
		貨 物	座 席 數			
制 限 事 項	所 有 者 氏 名 及 住 所	交 付 年 月 日	有 效 期 間			
		昭和 年 月 日	自昭和 年 月 日 至昭和 年 月 日			
		年 月 日	年 月 日			

逕 信 省 印

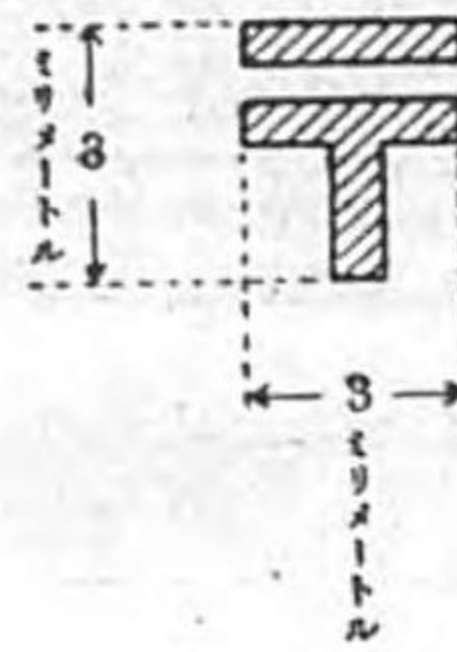
第二號書式

滑空機牽引裝置檢査申請書  
滑空機牽引裝置檢査相受度候ニ付此段申請候也

- 一 製造場所
- 二 檢査ヲ受ケムトスル場所及時期

年 月 日  
住所  
氏 名 印  
逓信大臣宛

第三號書式



第四號書式

級滑空士免狀

寫眞  
本籍  
住所  
氏 名  
年 月 日 生

右者成規ノ體格檢査、實地試驗及學科試驗ニ合格シタリ依テ 級滑空士タルコトヲ免許ス  
年 月 日  
逓 信 省 印

官廳記載事項

事 項	年 月 日	印

第五號書式

級滑空士免狀交付申請書

私儀 級滑空士免狀相受度候ニ付關係書類及寫眞相添ヘ此段申請候也

官報 第三二〇號 昭和十二年五月三十一日 月曜日

第八號書式

- 一 試驗ヲ受ケムトスル場所及時期
- 二 試驗ノ爲使用セムトスル滑空機ノ型式

年 月 日  
本籍  
住所  
氏 名 印  
年 月 日 生

第六號書式

服 歷 書

本籍  
住所  
氏 名 印  
年 月 日 生

- 一 國籍
- 二 軍籍
- 三 學歷
- 四 滑空ノ履歷
- 五 職業
- 六 賞罰

右之通相違無之候也

年 月 日  
氏 名 印  
右第四號記載ノ事項事實ニ相違無之候也

第七號書式

曲技滑空免狀申請書

私儀曲技滑空ヲナス爲免許相受度候ニ付此段申請候也

- 一 受有滑空士免狀ノ番號
- 二 試驗ヲ受ケムトスル場所及時期
- 三 受檢ノ爲使用セムトスル滑空機ノ型式

年 月 日  
本籍  
住所  
氏 名 印  
逓信大臣宛

第一頁

表 紙

本日誌ハ常ニ之ヲ滑空機ニ備付クベシ  
記 入 心 得

- 一 第二頁ニハ滑空機ノ所有者又ハ管理者當該事項ヲ記入スベシ
- 二 第三頁乃至第十五頁ニハ滑空機ノ所有者又ハ管理者修理終了ノ都度當該事項ヲ記入スベシ
- 三 第十六頁以下ノ備考欄ニハ天候、滑空事故共ノ他滑空ニ關シ參考トナルベキ事項ヲ記入スベシ  
無免狀者ノ滑空ニアリテハ指導者ハ備考欄ニ署名又ハ捺印スベシ
- 四 記入ニハインクヲ使用スベシ

航 空 日 誌

( 滑 空 機 )

第三頁

滑空機破損改造修理記録		
改修年月日	破損シタル部分	改造修理ノ模様

第二頁

滑空機要目表	
所有者住所氏名	寫 眞 機體ノ型式、種別記號及ヒ検査番號ノ判リ得ル手札型ノモノヲ貼附スベシ
型 式	
種 別	
種別記號及検査番號	
自 重	
積 載 量	
座 席 數	
プラスチック容量	
積載貨物量	
重心許容範圍	
製 造 所	
製造年月日	
製造番號	

第十六頁

滑空機日誌						
年月日	操縦者氏名	區 域	距 離	滑空時間	製造又ハ特別検査後ノ滑空時間累計	備 考

備考  
一 本日誌ノ寸法ハ縦十九センチメートル 横二十四センチメートルトス  
二 第四頁乃至第十五頁ハ第三頁ニ同ジク 第十七頁以下ハ第十六頁ニ同ジ

局 令

●逓信省令第四十一號  
航空機検査規則中左ノ通改正ス  
昭和十二年五月三十一日  
逓信大臣 伯爵 兒玉 秀雄  
第十一條 削除  
附 則  
本令ハ昭和十二年六月一日ヨリ之ヲ施行ス  
(参照)  
昭和二年五月五日逓信省令第九號航空機検査規則抄  
第十一條 飛行機ニ非サル航空機ノ検査ハ第六分ノ内之ヲ行ハス

●關東局令第十七號  
關東州煙草稅令施行規則中左ノ通改正ス  
昭和十二年三月二十七日  
滿洲國駐劄特命全權大使 植田 謙吉

第二條 左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ煙草ノ耕作ハ之ヲ免許セス但シ第一號ニ該當スルトキト雖モ民政署長ニ於テ取締上特別ノ便宜アリト認ムル場合ハ此ノ限ニ在ラス

一 滿洲國駐劄特命全權大使ノ指定シタル地域外ニ於テ煙草ヲ耕作セントスルトキ

二 耕作地ノ面積百坪未滿ナルトキ

三 免許申請者カ關東州煙草稅令以下ト稱 又ハ本令ニ違反シタル爲稅令第二十三條ノ規定ニ依リ煙草ノ耕作、製造又ハ販賣ノ免許ヲ取消サレタル者若ハ其ノ戶主、家族、同居者、雇人其ノ他ノ從業者ナルトキ又ハ民政署長ニ於テ取締上煙草耕作ノ免許ヲ與フルニ不適當ト認ムル者ナルトキ

前項第一號及第二號ノ規定ハ試驗ノ目的ヲ以テスル煙草耕作ノ免許ニ付テハ之ヲ適用セス

第四條 左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ煙草ノ製造ハ之ヲ免許セス但シ第一號ニ該當スル場合ト雖モ民政署長ニ於テ取締上特別ノ便宜アリト認ムル場合ハ此ノ限ニ在ラス

一 民政署所在地ノ市、會及大使ノ指定シタル地域以外ノ地ニ於テ製造場ヲ設ケントスルトキ

二 一年ニ製造スル煙草ノ小賣定價見積總額一萬圓ニ滿タサルトキ

三 免許申請者カ稅令又ハ本令ニ違反シタル爲稅令第二十三條ノ規定ニ依リ煙草ノ耕作、製造又ハ販賣ノ免許ヲ取消サレタル者若ハ其ノ戶主、家族、同居者、雇人其ノ他ノ從業者ナルトキ又ハ取締上免許ヲ與フルニ不適當ト認ムル者ナルトキ

第七條ノ二 前條ノ場合ニ於テ民政署長ハ免許申請者カ稅令又ハ本令ニ違反シタル爲稅令第二十三條ノ規定ニ依リ煙草ノ耕作、製造又ハ販賣ノ免許ヲ取消サレタル者若ハ其ノ戶主、家族、同居者、雇人其ノ他ノ從業者ナルトキ又ハ取締上免許ヲ與フルニ不適當ト認ムルトキハ煙草ノ販賣ヲ免許セサルコトヲ得

第十八條、第二十二條第三項、第二十九條第四項及第五十三條中「關東長官」ヲ「大使」ニ改ム

第三十條第二項ヲ左ノ如ク改ム

前項ノ規定ニ依ル保證金ハ金錢及國債證券ニ限リ其ノ提供ニ付テハ第三十三條第一項及第三項ノ規定ヲ準用ス

第三十三條第一項中第三號及第五號ヲ左ノ如ク改メ第三項中「第一號乃至第三號及第

五號」ヲ「第一號乃至第三號」ニ、第四項中「第四號」ヲ「第四號又ハ第五號」ニ改ム

三 大使ニ於テ指定シタル有價證券及大使ノ指定シタル銀行ニ於テ支拂ノ保證ヲ爲シタル有價證券

五 土地

第三十六條ニ左ノ二項ヲ加フ

納稅保證人前項ノ通知ヲ受ケ稅金ヲ納付セサルトキハ引取人ニ對シ滯納處分ヲ行フヘシ

前項ノ滯納處分ノ後仍稅金ニ不足アルトキハ納稅保證人ニ對シ滯納處分ヲ行フヘシ

第四十條及第四十五條中「其ノ承認」ヲ「煙草輸出承認書ノ交付」ニ改ム

第四十二條中「仕向先」ヲ「第四十條ノ規定ニ依ル煙草輸出承認書及仕向先」ニ改ム

第四十九條中「其ノ承認」ヲ「葉煙草使用承認書ノ交付」ニ改ム

第四十九條ノ二 葉煙草製造用ニ供シタル葉煙草ニ付煙草稅ノ免除ヲ受ケントスル者ハ第四十九條ノ規定ニ依ル葉煙草使用承認書及其ノ事實ヲ證スヘキ稅務官吏ノ書面ヲ添附シ其ノ申請書ヲ民政署ニ提出スヘシ

第四十九條ノ三 葉煙草ヲ煙草製造用ニ使用シタル後一年內ニ前條ノ申請書ヲ提出セサルトキハ煙草稅ハ之ヲ免除セス

前項ノ規定ニ依リ煙草稅ヲ免除セサルニ至リタル場合ニ在リテハ葉煙草ハ之ヲ所定ノ用途ニ使用セザリシモノト看做シ其ノ引取人ヨリ煙草稅ヲ徵收ス

附則

本令ハ昭和十二年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

●關東局令第十八號

大正十二年關東廳令第五十一號中左ノ通改正ス

昭和十二年三月二十七日

滿洲國駐劄特命全權大使 植田 謙吉

〔及關東州煙草稅令施行規則〕ヲ、關東州煙草稅令施行規則、鹽稅規則及鹽稅規則施行細則ニ改ム

附則

本令ハ昭和十二年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

(參照)

大正十二年九月關東廳令第五十一號ハ煙草稅規則申告者ニ對シ給與ノ件ナリ

訓令

●文部省訓令第二十六號

公立私立ノ大學、高等學校及專門學校

北海道廳 府 縣

大正十四年文部省訓令第六號學校教練教授要目左ノ通改正ス

陸軍現役將校ノ配屬ヲ受ケタル學校ニ於ケル教練ハ本教授要目ニ據リ土地ノ情況ト學

師範學校(本科第一部) 中學校 實業學校(修業年限五年以上)

二 教材ノ配當

生徒ノ心身ノ發育情況トニ適切ナル教授細目ヲ定メテ之ヲ實施スベキモノトス學校長及地方長官ハ克ク此ノ趣旨ヲ體シ之ヲ取扱上遺憾ナキヲ期シ以テ教練實施ノ本旨ヲ貫徹センコトニカムベシ

尙當分ノ內教練ノ資料整備セザル場合ニ於テハ本教授要目ノ趣旨ニ準ジテ之ヲ行フモノトス

昭和十二年五月三十一日

文部大臣 林 銑十郎

學校教練教授要目

目次

一 教材

二 教材ノ配當

師範學校 中學校 實業學校 高等學校 大學預科 專門學校 高等師範學校 實業學校教員養成所 青年學校教員養成所 大學

三 每週教授時數及每年野外演習日數

一 教材 部隊教練 射擊 敬禮・閱兵・分列 指揮法 陣中勤務 距離測量 測圖 軍事講話 戰史 其ノ他

部隊教練	學年				
	第一學年	第二學年	第三學年	第四學年	第五學年
各個教練	基本各個教練(徒手)	同	上 基本各個教練(徒手)	基本各個教練(執銃)	上
分隊密集教練(徒手)	同	上 分隊密集教練(徒手)	分隊密集教練(執銃)	同	上
小隊密集教練(徒手)	同	上 小隊密集教練(徒手)	小隊密集教練(執銃)	同	上
中隊密集教練(徒手)	同	上 中隊密集教練(徒手)	中隊密集教練(執銃)	同	上
大隊密集教練(徒手)	同	上 大隊密集教練(徒手)	大隊密集教練(執銃)	同	上





大	青實高專大高 年業等 學學門學等 校校師 教教員範學豫學 員員範學 養成學 成成 所所校校科校	實業學校		
		三修業年限	四修業年限	五修業年限
第一學年		第一學年	第一學年	第一學年
第二學年		第二學年	第二學年	第二學年
第三學年		第三學年	第三學年	第三學年
第四學年		第四學年	第四學年	第四學年
第五學年		第五學年	第五學年	第五學年
適	一・五	二	二	二
宜	四	六	六	六

注意  
 一 師範學校ニ在リテハ本科第一部、第二部共最終學年ニ於テ三週間ノ軍事講習ヲ兵營又ハ野營地ニ於テ行フモノトス但シ其ノ一週間以内ヲ前年ニ繰上ゲテ行フコトヲ得  
 二 師範學校本科卒業業者以外ノ者ニシテ專攻科ニ在學スル者ニ關シテハ本科第一部第五學年ニ準ズ  
 三 高等學校尋常科ニ關シテハ中學校ニ準ズ  
 四 實業學校中工業學校規程、農業學校規程、商業學校規程及水産學校規程ニ夫々規定シタル實業學校第二部ニ關シテハ實業學校最高學年ニ準ズ  
 五 本表ノ日時數ハ最少限度ヲ示ス

**告示**  
 ●内務省告示第三百九十四號  
 都市計畫法第一條ノ規定ニ依リ神奈川縣三浦郡葉山町ヲ指定ス  
 昭和十二年五月三十一日  
 内務大臣 河原田稼吉

●内務省告示第三百九十五號  
 左ノ區域ニ昭和十二年六月十九日ヨリ市街地建築物法ヲ適用シ其ノ區域ヲ同法施行規則第四百九十九條ノ二ノ規定ニ依リ指定ス  
 昭和十二年五月三十一日  
 内務大臣 河原田稼吉  
 神奈川縣三浦郡葉山町

●商工省告示第五十六號  
 輸出組合法施行規則第十九條ノ規定ニ依リ左ノ通定メ昭和十一年時商工省告示第八十六號ハ昭和十二年六月一日ヨリ之ヲ廢止ス  
 昭和十二年五月三十一日  
 商工大臣 伍堂 卓雄

日本綿糸布印度輸出組合ノ地區内ニ營業所ヲ有シ印度及緬甸ニ綿織物ノ輸出ヲ爲スヲ業トスル者ハ昭和十二年六月一日ヨリ該組合ノ定ムル輸出取締及輸出數量ニ關スル制限ニ從フベシ  
 (備考) 右輸出取締及制限ニ付テハ當報欄掲載ノ日本綿糸布印度輸出組合ノ定ムル輸出取締及制限要綱ヲ參照スベシ  
 (參照)  
 昭和十一年十月十日商工省告示第八十六號ハ本號ト同件ナリ

●選信省告示第四百三十五號  
 昭和九年五月選信省告示第三百三號中華民國ニ於ケル外國價格表記書狀及箱物ノ取扱郵便局名表中察哈爾省ノ部ニ左ノ三項ヲ加フ  
 昭和十二年五月三十一日  
 選信大臣 伯爵 兒玉 秀雄

●選信省告示第四百三十八號  
 昭和六年七月選信省告示第四百號中左記第二號「使用ニ期間アルモノ」ニ左ノ通追加ス  
 昭和十二年五月三十一日  
 選信大臣 伯爵 兒玉 秀雄  
 使用 局 所 日 附 印 形 式

張化 (Changpei)  
 德化 (Tehwa)  
 多倫 (Tolan)  
 ●選信省告示第四百三十六號  
 昭和九年五月選信省告示第三百四號中華民國ニ於ケル外國代金引換通常郵便物ノ取扱郵便局名表中察哈爾省ノ部ニ左ノ三項ヲ加フ  
 昭和十二年五月三十一日  
 選信大臣 伯爵 兒玉 秀雄

張北 (Changpei)  
 德化 (Tehwa)  
 多倫 (Tolan)  
 ●選信省告示第四百三十七號  
 昭和十二年六月一日ヨリ左記郵便取扱所及電信電話取扱所ヲ合セ三等郵便局ニ改定ス但シ郵便物集配事務ヲ取扱ハズ  
 昭和十二年五月三十一日  
 選信大臣 伯爵 兒玉 秀雄

名 稱 位 置 改定名稱  
 禮受郵便取扱所 北海道天鹽國留  
 禮受電信電話取扱所 禮受郵便局  
 禮受電信電話取扱所 禮受郵便局



自昭和十二年六月一日  
 至同 年同月二日





自昭和十二年六月一日至同年五月五日

昭和六年七月... 昭和十二年五月三十一日

選信省告示第四百三十九號

鐵道省所管稚内港外打鐘吹鳴掛燈浮標ハ一時撤去中(昭和十一年)...

選信省告示第四百四十號

左記私設無線電信無線電話ハ昭和十二年五月二十日限り廢止ノ旨届出アリタリ

昭和三十二年五月三十一日 選信大臣 伯爵 兒玉 秀雄

選信省告示第四百四十一號

昭和十二年五月一日限り大正十四年九選信省告示第千三百五十號無線局及託送發受所名等中「第一越丸託送」ノ項ヲ削除セリ

選信省告示第四百四十二號

昭和十二年五月二十二日ヨリ大正十四年九選信省告示第千三百五十號無線局及託送發受所名等中「第一越丸託送」ノ項ノ次ニ左ノ通追加セリ

昭和三十二年五月三十一日 選信大臣 伯爵 兒玉 秀雄

發受所名 呼出符號 對手電 發受電報

第一萬勢丸託送 JOOA 各海岸 和文電報

第二萬勢丸託送 JOOA 各海岸 和文電報

選信省告示第四百四十三號 昭和三十二年五月二十八日ヨリ大正十四年九選信省告示第千三百五十號無線局及託送發受所名等中「第二萬勢丸託送」ノ項ノ次ニ左ノ通追加セリ

昭和三十二年五月三十一日 選信大臣 伯爵 兒玉 秀雄

發受所名 呼出符號 對手電 發受電報

菅野大丸託送 JGKX 各海岸 和文電報

選信省告示第四百四十四號 昭和三十二年五月十七日ヨリ大正十四年九選信省告示第千三百五十號無線局及託送發受所名等中「榮吉丸託送」ノ項ノ次ニ左ノ通追加セリ

昭和三十二年五月三十一日 選信大臣 伯爵 兒玉 秀雄

發受所名 呼出符號 對手電 發受電報

西川榮丸託送 JXLK 各海岸 和文電報

鐵道省告示第四百七十九號 昭和三十二年五月三十一日 鐵道大臣 伍堂 卓雄

紀勢中線廣角停車場ハ昭和十二年六月三十日限り之ヲ廢止ス

鐵道省告示第八十號

昭和七年鐵道省告示第百七十九號旅客及荷物運送規則中左ノ通改正シ昭和十二年六月一日ヨリ之ヲ施行ス

昭和三十二年五月三十一日 鐵道大臣 伍堂 卓雄

第百十七條イ普通急行列車ノ行第十八號乃至第二十一號ヲ左ノ如ク改ム

十八 函館 稚内港(函館本) 一、二 函館稚内間

十九 函館 旭川 三、四(函館本) 二、三等 全區間

第二十 函館 室蘭(二〇三) 二、三等 同

第二十七條第一項第三十一號及第三十二號ヲ左ノ如ク改ム

三十一 函館 稚内港(函館本) 一、二 二、三等(二等特別室付又三等ハ小樽稚内港間)

三十二 同 二〇五、二〇六 二等

長野縣告示保欄第一號(昨二十九日ノ發) 字 地 番 面 積 所有者

信濃國北安曇郡中土村 町段取歩

黒倉 九六五五 齊藤 武惠

橋場 九六六一 山田嘉榮治

新吉 九六六四 丸山 寅松

中七年 九六六五 山田 義一

中七年 九六六一 齊藤 武惠

川原 一三二七 相澤 梅吉

川原 一三二八 相澤 梅吉

川原 一三二九 相澤 梅吉

川原 一三三〇 相澤 梅吉





任稅務監督局事務官 住野 福松

任陸軍事務官 陸軍屬陸軍輜重兵 弘中好次郎

任陸軍事務官 陸軍屬正七位勳六等 川崎 健藏

任陸軍理事官 陸軍技手正七位勳六等 佐野 茂藏

任陸軍理事官 陸軍技手正七位勳六等 平田清一郎

任陸軍技師 陸軍技手從七位勳六等 渡部末治郎

任陸軍技師 陸軍技手從七位勳六等 檜山 卓平

任陸軍技師 陸軍技手從七位勳六等 內山 忠助

任陸軍技師 陸軍技手正七位勳七等 井上 順一

任陸軍技師 陸軍技手勳八等 美山 武藏

任陸軍技師 工業試驗所技師 都甲 卯作

任工業試驗所技師 工業試驗所技師 江頭 善次

任朝鮮總督府通信技師 朝鮮總督府通信技師 川崎 誠治

任朝鮮總督府通信技師 朝鮮總督府通信技師 石塚 正義

任臺灣總督府技師 臺灣總督府技師 豐島 倫

任臺灣總督府中央研究所屬 臺灣總督府地方理事官 高野 博

任臺灣總督府技師 臺灣總督府技師 高野 博

任臺灣公立高等女學校教諭 臺灣公立高等女學校教諭 高野 博

任臺灣公立高等女學校教諭 臺灣公立高等女學校教諭 高野 博

任臺灣公立高等女學校教諭 臺灣公立高等女學校教諭 高野 博

任臺灣公立高等女學校教諭 臺灣公立高等女學校教諭 高野 博

任臺灣公立高等女學校教諭 臺灣公立高等女學校教諭 高野 博

任臺灣公立高等女學校教諭 臺灣公立高等女學校教諭 高野 博

任臺灣公立高等女學校教諭 臺灣公立高等女學校教諭 高野 博

任臺灣公立高等女學校教諭 臺灣公立高等女學校教諭 高野 博

任臺灣公立高等女學校教諭 臺灣公立高等女學校教諭 高野 博

任臺灣公立高等女學校教諭 臺灣公立高等女學校教諭 高野 博

任臺灣公立高等女學校教諭 臺灣公立高等女學校教諭 高野 博

任臺灣公立高等女學校教諭 臺灣公立高等女學校教諭 高野 博

市立銚子中學校教諭 細田 菊雄

市立銚子中學校教諭 酒井 英雄

市立銚子中學校教諭 小酒 薰

市立銚子中學校教諭 小酒 薰

市立銚子中學校教諭 小酒 薰

市立銚子中學校教諭 小酒 薰

市立銚子中學校教諭 小酒 薰

市立銚子中學校教諭 小酒 薰

市立銚子中學校教諭 小酒 薰

市立銚子中學校教諭 小酒 薰

市立銚子中學校教諭 小酒 薰

市立銚子中學校教諭 小酒 薰

市立銚子中學校教諭 小酒 薰

市立銚子中學校教諭 小酒 薰

市立銚子中學校教諭 小酒 薰

市立銚子中學校教諭 小酒 薰

市立銚子中學校教諭 小酒 薰

市立銚子中學校教諭 小酒 薰

市立銚子中學校教諭 小酒 薰

市立銚子中學校教諭 小酒 薰

市立銚子中學校教諭 小酒 薰

市立銚子中學校教諭 小酒 薰

市立銚子中學校教諭 小酒 薰

市立銚子中學校教諭 小酒 薰

市立銚子中學校教諭 小酒 薰

市立銚子中學校教諭 小酒 薰

市立銚子中學校教諭 小酒 薰

市立銚子中學校教諭 小酒 薰

市立銚子中學校教諭 小酒 薰

市立銚子中學校教諭 小酒 薰

市立銚子中學校教諭 小酒 薰

市立銚子中學校教諭 小酒 薰

市立銚子中學校教諭 小酒 薰

市立銚子中學校教諭 小酒 薰

古川源太郎

吉田 久

草野豹一郎

織田 嘉七

細野 長良

森田豐次郎

日下部義夫

宮城 實

井上 登

島 保

岩村 通世

平井彦三郎

池田 克

紀平 正美

牧野 英一

重積 重遠

辻 善之助

森 莊三郎

本位田祥男

土方 成美

田中耕太郎

伊藤吉之助

戶田 貞三

那須 皓

高木 八尺

蠟山 政道

我妻 榮

和辻 哲郎

菊井 維大

田邊 忠男

杉村章三郎

山田 文雄

江川 英文

山田 正三

作田 莊一

石田文次郎

西田直二郎

黑正 巖

黑田 覺

近藤 英吉

池田 榮

佐藤丑次郎

小野谷操三

上田貞次郎

島村他三郎

遠藤 源六

清水 孝藏

吉田 靜致

加藤 正治

中村 進午

河田 嗣郎

松本亦太郎

松原 一雄

遊佐 慶夫

正三位勳二等 寬 克彦

從四位勳三等 山田準次郎

正三位勳二等 宇野 哲人

從三位勳二等 藤村 作

正三位勳二等 鳥賀陽然良

野村 淳治

神戶 正雄

陸軍少將 橫山 勇

海軍少將 星楚 守一

資源局事務官 橫山 勇

資源局企畫部長ヲ命ス

資源局事務官被免

資源局事務官被免

資源局事務官被免

<p>選信次官 平澤 要 選信省電務局長 藤川 靖 情報委員會委員被仰付 從三位勳二等 平生夙三郎 文教審議會委員被仰付 陸軍理事官 川口竹次郎 依願免本官 北海道帝國大學助教授 澤山 智 陸軍高等官二等 外務省東亞局長 石射猪太郎 外務省亞米利加局長 吉澤清次郎 陸軍少將 後宮 淳 商工省鑛山局長 大貝 晴彦 商工省貿易局長 新倉 利廣 拓務省拓務局參與被仰付 陸軍中將 磯谷 廉介 拓務省拓務局參與被免 朝鮮公立女子高等普通學校校長 古賀 德義 陸軍高等官三等 公立實業學校教諭 村山寅治郎 願ニ依リ本職ヲ免ス 師範學校教諭兼 松尾信之助 師範學校舍監 公立實業學校校長兼 河合周次郎 公立實業學校教諭 願ニ依リ本職並兼職ヲ免ス 地方農林技師 竹本 正文 陸シテ高等官三等ヲ以テ待遇セラル 同 田村正一郎 陸シテ高等官五等ヲ以テ待遇セラル 地方商工技師 川合 重一 陸シテ高等官三等ヲ以テ待遇セラル 朝鮮產業技師 相川 義起 臺灣衛生技師 山宮 忠藏 願ニ依リ本職ヲ免ス 三等郵便局長 渡邊 一郎 陸シテ高等官六等ヲ以テ待遇セラル</p>	<p>朝鮮忠清南道公立普通學校校長 山本 武二 陸シテ高等官七等ヲ以テ待遇セラル 朝鮮總督府全羅南道高興郡道陽面長 申 乃一雨 奏任官ヲ以テ待遇セラル(以上同) 長崎縣書記官 上原 參良 滿洲國へ出張ヲ命ス(陸軍省) 稅務監督局事務官 住野 福松 七級俸下賜 大阪稅務監督局在勤ヲ命ス(陸軍省) 陸軍技師 鹿海清次郎 四級俸下賜(陸軍省) 陸軍少將 橫山 勇 陸軍兵器本廠附被免 陸軍事務官 弘中好次郎 六級俸下賜 補陸軍省附 陸軍技師 美山 武藏 八級俸下賜 陸軍造兵廠大阪工廠附ヲ命ス 陸軍造兵廠大阪工廠附ヲ命ス 七級俸下賜 陸軍造兵廠東京工廠附ヲ命ス 同 榎山 卓平 同 內山 忠助 同 井上 順一 八級俸下賜 陸軍造兵廠大阪工廠附ヲ命ス 陸軍理事官 川崎 健藏 六級俸下賜 補陸軍造兵廠火工廠廠員</p>	<p>陸軍步兵少佐 住友信太郎 陸軍憲兵少尉 石丸 種夫 陸軍步兵少尉 佐藤 三藏 陸軍步兵少尉 佐藤 由松 同 新平 長塚高四郎 岡 利治 岡本常三郎 中川健治郎 池田 靜雄 若山 金一 前田 信一 池田 茂治 宮本善一郎 小林林之助 橫田 秀松 福島 郷一 長谷川 忠 柴崎安太郎 佐藤文二郎 前田 直二 貝沼 倉造 和田 亨 平尾秀治郎 川村 藤吉 栗山 久吾 河野 清 四茂野孫四郎 田島 暢 田坂 三郎 梶田 充 園田 茂八 廣田 圭作 穴井 又治 西澤 水元 中野 文雄 白田 茂 遠藤千代造 松原 友秋</p>	<p>陸軍騎兵少尉 櫻村 義春 陸軍主計少尉 川本 德一 陸軍獸醫少尉 吉村 重俊 陸軍獸醫少尉 深山 正一 同 加賀美春吉 陸軍騎兵少尉 泉 德太郎 陸軍步兵大尉 山本 政秀 陸軍步兵少尉 杉山 恭輔 町田 其治 依願退役被仰付(以上同) 海軍少將 星 守一 補軍令部出仕(海軍省) 鳳翔乘組海軍特務少尉 前田孫太郎 補橫須賀海軍航空隊附兼教官 第一潜水隊司令部 關 榮司 附海軍機關特務少尉 補嚴島乘組 八雲乘組海軍機關特務少尉 中野 勳 補橫須賀海軍機關特務少尉 小澤新三郎 嚴島乘組海軍機關特務少尉 小澤新三郎 橫須賀鎮守府附被仰付 木曾乘組海軍機關特務少尉 新村 熊吉 補八雲乘組(以上同)橫須賀鎮守府) 司法書記官 梶村 敏樹 六級俸下賜(司法省) 帝國圖書館司書官 高橋 好三 帝國圖書館長松本喜一滿洲國及中華民國出張中館長事務代理ヲ命ス(帝國圖書館) 樺太廳技師 上野 實意 殖産部林業課勤務ヲ命ス 樺太廳高等女學校教諭 古谷 碧 樺太廳豐原高等女學校附設小學校教員講習所主事ヲ命ス(以上同)樺太廳) 樺太廳技師 板井 秀夫 殖産部林業課勤務ヲ命ス(以上同) 公立大學助教授 田中 秋三 十一級俸下賜 職務俸金百圓下賜(東京府)</p>
--	--	--	--



二、組合ノ定ムル統制手帳料及特別統制料ヲ組  
合ニ納付スルコト  
三、輸出ヲ爲サントスル場合ハ輸出證明書ヲ輸  
出手帳ヲ爲ス(キ税關ニ提出スヘキコト)  
四、組合ノ發給スル輸出統制證票ヲ外裝ニ貼附  
スルニ非サレハ輸出スルコトヲ得サルコト  
五、門司、神戸、大阪、名古屋、横濱及東京各港以  
外ノ港ヨリ輸出スルコトヲ得サルコト

○ 通運

● 學生卒業 本月二十五日通信官吏練習所ヲ  
卒業シタル者左ノ如シ(×印ハ優等生ナリ(通信省))

第一部行政科	安部 浩 荒木 虎郎 石井 通義	石原 一雄 植木 晋七 上野 義忠	内野 豊 惠本 敬造 越智美佐雄	大泉盛之助 大坪 武次 片岡 松治	川邊 義雄 木村 甚壽 黒石 博	小金井淺雄 駒井 正男 五来 保時	坂田 英俊 澤田 健三 榮谷 篤三	澁谷 襄吉 須藤 三郎 關口 清	高次 優 瀧口 喜藏 土肥 頼納	野田 一 野地 久男 早坂 喜藏	原田 春夫 樋口 正孝 平戸 靖七	松村平次郎 水野 明次 六鹿 薫	吉岩 松男 吉澤 吉彌 吉田 榮三	吉村 正夫 袁 維 邦 王 宏 烈	許 鶴 年 金 鏡 深 景 鐘 彦	孔 綱 明 孫 祖 文	第二部行政科	井馬 榮 東條 武男 池澤 常一 大橋喜一郎
--------	------------------	-------------------	------------------	-------------------	------------------	-------------------	-------------------	------------------	------------------	------------------	-------------------	------------------	-------------------	-------------------	-------------------	-------------	--------	------------------------

○ 衛生

● 國際傳染病報告 本件ニ關シ本月十四日在新加坡保健部東局ヨリ西貢無線電信局ヲ經テ左ノ通  
情報アリタリ(本報内參照)  
自五月二日國際傳染病狀況日一週間ニ於ケル文書報告ニ依リ示ス

患者(一月)	死者(同上)	患者(同上)	死者(同上)	患者(同上)	死者(同上)
累計	累計	累計	累計	累計	累計
1	1	1	1	1	1

觀象

● 全國氣象表(正午觀測)  
(備考) 氣温ノ部一印ハ氷點下ノ度ヲ示シ降  
水數ハ當日午前六時ヨリ翌日午前六時迄ノ  
總量ナリ

地名	氣温(度)	風向	風速(%)	氣温(度)	天氣	降水(%)
五月二十七日						
札幌	757.9	西	8	32.6	晴	0
東京	758.9	南	7	27.8	晴	0
大阪	758.8	西	2	22.0	雨	0
京都	755.9	南	1	19.1	雨	1
名古屋	755.8	南	0	16.5	雨	1
福岡	756.0	南	1	16.4	雨	2
廣島	756.2	南	2	17.3	雨	3
岡山	755.3	北	1	18.6	雨	3
広島	756.6	北	2	20.2	雨	1
長崎	755.6	北	4	17.7	雨	1
熊本	755.6	北	1	17.2	雨	6
鹿兒島	756.1	北	6	15.7	雨	2
那覇	755.5	北	8	16.2	雨	2
東京	755.5	北	9	16.2	雨	8
大阪	755.5	北	8	16.2	雨	2
京都	755.5	北	9	16.2	雨	8
名古屋	755.5	北	8	16.2	雨	2
福岡	755.5	北	9	16.2	雨	8
札幌	756.0	北	2	18.6	雨	2
東京	756.0	北	1	19.3	雨	5
大阪	757.0	北	5	16.4	雨	3
京都	757.2	北	8	18.2	雨	3
名古屋	757.2	北	3	16.8	雨	5
福岡	757.2	北	8	16.8	雨	3
札幌	756.0	北	1	18.8	雨	5
東京	756.0	北	8	16.3	雨	1
大阪	757.8	北	8	15.3	雨	1
京都	757.8	北	8	15.3	雨	1
名古屋	758.1	北	3	12.1	雨	1

地名	氣温(度)	風向	風速(%)	氣温(度)	天氣	降水(%)
五月二十七日						
札幌	758.4	北	1	12.7	晴	1
東京	757.6	北	1	12.4	晴	1
大阪	758.6	北	4	6.9	晴	1
京都	757.5	北	3	6.2	晴	1
名古屋	756.2	北	3	18.6	晴	1
福岡	755.9	北	4	16.7	晴	1
札幌	757.1	北	1	12.1	晴	1
東京	757.5	北	5	13.6	晴	2
大阪	754.7	北	0	18.8	晴	1
京都	756.7	北	7	14.7	晴	1
名古屋	755.5	北	5	15.0	晴	1
福岡	755.1	北	4	20.3	晴	1
札幌	758.7	北	5	22.3	晴	1
東京	758.2	北	2	22.0	晴	1
大阪	758.2	北	3	20.8	晴	1

● 東京氣象  
五月二十七日 天氣概況 雨  
平均氣温 七五・六度  
最高氣温 一五・七度  
最低氣温 一五・七度  
平均湿度 一五・七度  
最高湿度 一六・四度  
最低湿度 一五・〇度  
平均風速 一・七度  
最高風速 一・七度  
最低風速 一・七度  
平均雨量 一・七度  
最高雨量 一・七度  
最低雨量 一・七度  
平均日照時間 一・七度  
最高日照時間 一・七度  
最低日照時間 一・七度











監事ノ氏名住所  
河合又十郎 磐田郡下阿多古村兩島九九〇番地

鈴木貞次郎 同村日明七八番地

和田 春吉 同村上野五八五番地

内山 要次郎 同村渡々島二五二番地

鈴木 猪作 同村米澤三〇番地

鈴木 淺吉 同村石神八七番地

鈴木 幸吉 同村青谷八七番地

昭和十二年二月十三日登記

●有限責任只來信用購買販賣利用組合變更  
監事鈴木角平中谷貞平ハ昭和十二年一月二十五日重任ス

●保證責任上阿多古信用購買販賣利用組合變更  
左者昭和十二年一月二十五日理事ニ就任ス

鈴木傳一郎 磐田郡上阿多古村西藤平二百一  
二番地ノ一

小出 一夫 同郡同村東藤平六百二番地ノ一

野澤定衛茂 同郡同村阿寺百四十七番地

昭和十二年二月十八日登記

●保證責任瀨尻信用購買販賣利用組合變更  
一理事大石太次郎森住嘉一藤原清吉宮澤千原大  
石健良監事大手基藏内山市太郎鈴木秀治ハ昭  
和十二年二月十九日重任ス

右昭和十二年二月十七日登記

●保證責任櫻木村兩權信用購買販賣利用組合變更  
更  
理事戸塚惣作ハ昭和十二年二月八日死亡ス

●保證責任東山村信用購買販賣利用組合變更  
理事萩原周平ハ昭和十二年一月二十九日辭任ス

右昭和十二年二月十七日登記 掛川區裁判所

●保證責任蘆崎信用組合變更  
一昭和十二年一月三十一日理事杉山幸男清水源  
藏加藤勝吉植松房平菊島廣彦ハ各重任シ左ノ  
者新々ニ理事ニ選任就任ス

岩下恭平 北巨摩郡蘆崎町二千七百七十五番地

石合宗作 同郡同町二千二百二十八番地

昭和十二年二月九日登記

●保證責任登美信用購買販賣利用組合變更  
一昭和十二年一月三十一日理事猪股正通中村正  
賢中村吉太郎中澤重一長田良治尾川元一節井  
上重郎監事飯室金治ハ各重任シ左ノ者理事監  
事ニ選任就任ス

一理事ノ氏名住所  
飯室 博迪 北巨摩郡登美村高浦澤千八百十  
九番地ノ一

蘆澤新太郎 同郡同村龍地六千四百二十三番  
地ノ二

興石治三郎 北巨摩郡登美村龍地六千三百八  
十二番地

今村養孝 同郡同村八百八番地

大澤嘉昌 同郡同村龍地六千六百九十四番地

昭和十二年二月十三日登記

●保證責任日野春信用購買販賣利用組合變更  
一昭和十二年一月二十四日理事監事全員辭任シ  
同日左者新々ニ理事監事ニ就任ス

一理事ノ氏名住所  
田中 博 北巨摩郡日野春村日野百九番地

田中 清重 同郡同村同字三百十六番地

田中 實 同郡同村同字二百二十六番地

向井 榮重 同郡同村同字二百九十六番地

向井 重太郎 同郡同村同字五百五十六番地

小林 好雄 同郡同村富岡八十二番地

田中文作 北巨摩郡日野春村日野三百十九番  
地

向井善富 同郡同村同字三百四十四番地

向井茂雄 同郡同村同字六百十五番地

武井豐隆 同郡同村龍川二千二百番地

昭和十二年二月十八日登記

●保證責任藤澤信用購買販賣利用組合變更  
一昭和十二年一月二十九日理事秋山要一助牧野  
正七青柳守吉村松鐵造依田忠太郎齊藤實安深  
澤倉五郎藤澤伊作監事青柳精郎保坂榮治藤澤  
源次郎ハ重任シ左ノ者理事監事ニ新任ス

理事 青柳完次郎 南巨摩郡藤澤町三千三百  
八十一番地

監事 樋口文次郎 同郡同町千八百二十番地

監事 上田 清 同郡同町千六百五番地

右昭和十二年二月十八日登記 嶽澤區裁判所

●保證責任平須信用購買販賣利用組合變更  
一昭和十二年一月二十日理事神宮寺院ハ重任シ  
左者新々ニ理事ニ就任ス

一理事ノ氏名住所  
橋野 徳重 南巨摩郡大須成村平須五百二十  
五番地

齊藤徳太郎 同郡同村同字四百五十五番地

●保證責任平須信用購買販賣利用組合變更  
一昭和十二年一月二十日理事橋野徳重ハ辭任シ  
同日左者新々ニ理事ニ就任ス

深澤永 南巨摩郡大須成村平須四百七十一番  
地

右昭和十二年二月十六日登記

嶽澤區裁判所靜川出張所

●保證責任河頭信用購買販賣利用組合變更  
一監事伊藤正行佐野庄太郎 依田茂義渡邊義長嵩  
井吉雄ハ昭和十二年一月三十一日各再選重任  
ス

昭和十二年二月十六日登記

●保證責任山保信用購買販賣利用組合變更  
一監事岩崎八八昭和十二年一月三十一日再選重  
任シ同日左者新々ニ理事ニ就任ス

監事 上野多七 西八代郡山保村山家六千五  
百三十番地

小林 康男 同郡同村同字四百九十四番  
地

同 伊藤 勇 同郡同村大山二百八十四番  
地

昭和十二年二月十八日登記

●有限責任和山人製糖購買販賣組合清算結了  
一昭和十二年二月三日清算結了セリ

昭和十二年二月十八日登記

●保證責任長澤村信用購買販賣利用組合變更  
昭和十二年二月五日左者理事ニ就任ス

吉川常三 南蒲原郡長澤村大字中野原四百八  
番地

昭和十二年二月十七日登記

●保證責任吉田町信用組合變更  
監事廣野寅八金子忠作深澤大陸ハ昭和十二年二  
月七日各重任ス

昭和十二年二月十七日登記

●有限責任販賣購買利用組合湯町協信社變更  
一監事青木不二郎ハ昭和十二年一月二十九日死  
亡ス

●保證責任大津村信用購買販賣利用組合變更  
一監事全員任期滿了ノ處昭和十二年一月三十日  
石黒勘治松山潤一郎柏野其治小高泰治ハ重任  
シ同日左者監事ニ就任ス

白鳥義貞 中頭郡大津村大字市村新田千百  
十二番地

昭和十二年二月十八日登記

●保證責任味生信用購買販賣利用組合變更  
一左記ノ者昭和十二年一月三十日理事ニ就任ス

熱倉龍太郎 大阪府三島郡味生村大字一津屋  
百四十八番地

高田區裁判所湯町出張所

一左記ノ者同日監事ニ就任ス  
大西重雄 大阪府三島郡味生村大字一津屋三  
百三十一番地

昭和十二年二月十三日登記

●保證責任藤田信用購買販賣利用組合變更  
一監事全員昭和十二年一月三十一日重任ス

昭和十二年二月十五日登記

●保證責任津津信用購買販賣利用組合變更  
一監事全員昭和十二年一月三十一日重任ス

昭和十二年二月十六日登記

●保證責任招提信用購買販賣利用組合變更  
一監事神田福松明智方太郎吉田銀三郎島田要一  
ハ昭和十二年一月二十九日重任ス

●保證責任菅原信用購買販賣利用組合變更  
一監事多田信次郎昭和十二年一月三十日 辭任シ  
同日監事ニ就任ス

同 寺島友一笹田才次郎ハ同日各重任シ左記ノ  
者同日監事ニ就任ス

山中楠太郎 北河内郡菅原村大字長尾五十五  
番地

●保證責任津葉信用購買販賣利用組合變更  
一監事木南清太郎大井田定次郎山本六市郎長澤  
善市太田宗次郎ハ昭和十二年一月三十日重任  
ス

昭和十二年二月十五日登記

●保證責任門眞信用購買販賣利用組合變更  
一理事全員ハ昭和十二年一月三十日各重任ス

一監事全員ハ同日各重任ス

昭和十二年二月十六日登記

●保證責任多田信用購買販賣利用組合變更  
一監事山本與八大西清太郎辻作次郎神田寅吉西  
本威次今井健太郎辰巳武夫仲藤太郎 吉平井藤  
市野田松次郎辻新太郎ハ昭和十二年一月三十  
日再選左記ノ者新々ニ理事ニ選任同日各就任ス

今井五郎 川邊郡多田村西多田字茶屋ノ前十  
一番地

●有限責任六瀬信用購買販賣利用組合變更  
一理事安井善吉中尾宗太郎與村鶴之助福井圓太  
郎肥爪忠一奥西一太郎 福井與三郎田中幸吉東  
元淺吉田中宗之助 監事北山嘉三郎西山米二肥  
爪誠一中島虎雄ハ昭和十二年一月二十九日重  
任ス

●無限責任上佐會利信用購買販賣利用組合變更  
一昭和十二年二月十七日認可ニ因リ解散ス

右各昭和十二年二月十八日登記

伊丹區裁判所中谷出張所

準禁治産宣告

茨城縣西茨城郡大原村大字市原千三百一  
番地 石井 福一  
明治三十三年二月二十六日生  
右ニ對シ同所番地母石井リヨノ申立ニ因リ當  
區裁判所ハ昭和十二年三月十三日準禁治産ノ宣  
告ヲ爲シタリ  
昭和十二年五月十八日 水戸區裁判所

新潟縣北蒲原郡安田村大字福永三百七番地  
井上 文平  
明治二十五年二月二十日生  
右ノ者ニ對シ井上富吉ノ申立ニ因リ當裁判所ハ  
昭和十二年五月十九日準禁治産ノ宣告ヲ爲シタ  
リ  
昭和十二年五月十九日 新發田區裁判所

本籍及最後ノ住所長崎縣長崎市西濱町四十  
二番地 中村 孝平  
明治四十四年八月六日生  
右者ニ對シ父中村小八郎ノ申立ニ因リ當裁判所  
ハ本日浪費者ト認メ準禁治産ヲ宣告シタリ  
昭和十二年五月十八日 長崎區裁判所

栃木縣河内郡富屋村大字下横倉二百九十一  
番地 若林 平吉  
明治十七年五月八日生  
右ノ者ニ對シ大正五年一月二十六日當裁判所ノ  
宣告シタル準禁治産ハ妻タケノ申立ニ因リ昭和  
十二年五月十九日之ヲ取消タリ  
昭和十二年五月十九日 宇都宮區裁判所

名古屋市南區野田町字柳下十四番地ノ二  
申立人 久田 四郎  
明治四十年七月二十九日生  
右申立人ヨリ當裁判所カ昭和十年一月十一日右  
申立人ニ對シ宣告シタル準禁治産宣告ノ取消ア  
リタキ旨申立テタルニヨリ當裁判所ハ其申立ヲ  
相當ト認メ決定スルコト左ノ如シ  
當裁判所カ昭和十年一月十一日右久田四郎ニ  
對シ宣告シタル準禁治産ハ之ヲ取消ス  
昭和十二年五月二十日 名古屋區裁判所

合名會社組織變更ニ付公告  
社國產自動車用品製造所ハ昭和十二年五  
六日總社員ノ同意ニ依リ社員岩谷一郎谷  
谷澤ノ責任ヲ有限ト爲シ其組織ヲ合資會

公示催告

社ニ變更致スヘク候間之ニ付債價アル債權者ハ  
昭和十二年七月三十一日迄ニ御申出相成度此段  
及公告候也  
昭和十二年五月三十一日  
東京市品川區北品川四丁目五〇〇  
合名會社國產自動車用品製造所

失踪ニ關スル届出ノ催告

本籍及最後ノ住所長崎縣南高來郡常崎村乙  
八百九十三番地第三 石川 勝藏  
明治三十年十二月七日生  
右不在者ニ對シ利害關係人石川ツヨリ失踪宣  
告ノ申立ヲ爲シタルニ付不在者ハ昭和十二年十  
二月二十日午前九時迄ニ當區裁判所ニ生存ノ届  
出ヲ爲スヘク若其ノ届出ヲ爲ササルトキハ失踪  
ヲ宣告スヘシ又不在者ノ生死ヲ知ル者ハ右期日  
迄ニ其ノ届出ヲ爲スヘシ  
昭和十二年五月十九日 高原區裁判所

本籍及最後ノ住所長崎縣南高來郡常崎村乙  
八百九十三番地第三 石川 庄市  
明治三十八年六月二十三日生  
右不在者ニ對シ利害關係人石川ツヨリ失踪宣  
告ノ申立ヲ爲シタルニ付不在者ハ昭和十二年十  
二月二十日午前九時迄ニ當區裁判所ニ生存ノ届  
出ヲ爲スヘク若其ノ届出ヲ爲ササルトキハ失踪  
ヲ宣告スヘシ又不在者ノ生死ヲ知ル者ハ右期日  
迄ニ其ノ届出ヲ爲スヘシ  
昭和十二年五月十九日 高原區裁判所

本籍及最後ノ住所長崎縣南高來郡山田村庚子  
八百二十二番地 不在者 峯 トヲ  
明治十八年十二月五日生  
右不在者ニ對シ利害關係人峯善男ヨリ失踪宣告  
ノ申立ヲ爲シタルニ付不在者ハ昭和十二年十二  
月二十日午前九時迄ニ當區裁判所ニ生存ノ届出  
ヲ爲スヘク若其ノ届出ヲ爲ササルトキハ失踪ヲ  
宣告スヘシ又不在者ノ生死ヲ知ル者ハ右期日迄  
ニ其ノ届出ヲ爲スヘシ  
昭和十二年五月二十一日 高原區裁判所

本籍及最後ノ住所長崎縣南高來郡山田村庚子  
八百二十二番地 不在者 長澤 定藏  
明治十一年三月十日生  
右ニ對シ利害關係人長澤惟士ハ失踪宣告ノ申立  
ヲ爲シタルニ付不在者ハ昭和十二年十二月十日  
午前九時迄ニ當區裁判所ニ生存ノ届出ヲ爲スヘ  
ク若其ノ届出ヲ爲ササルトキハ失踪ヲ宣告スヘ  
シ又不在者ノ生死ヲ知ル者ハ右期日迄ニ其ノ届  
出ヲ爲スヘシ  
昭和十二年五月十九日 高原區裁判所

本籍及最後ノ住所山梨縣山梨郡甲斐村川  
田五百三番地 不在者 伊藤 しほ  
文政七年十月十五日生  
右ニ對シ前記同所番地利害關係人田中秋男ノ申  
立ニ因リ當區裁判所ハ昭和十二年五月十一日失  
踪ノ宣告ヲ爲シタリ  
昭和十二年五月十一日 越ヶ谷區裁判所

本籍及最後ノ住所山梨縣山梨郡甲斐村川  
田五百三番地 不在者 伊藤 しほ  
文政七年十月十五日生  
右ニ對シ前記同所番地利害關係人田中秋男ノ申  
立ニ因リ當區裁判所ハ昭和十二年五月十一日失  
踪ノ宣告ヲ爲シタリ  
昭和十二年五月十一日 越ヶ谷區裁判所

本籍及最後ノ住所福島縣郡縣郡堂島村大字  
吉沖字龜ヶ臺二千三十六番地 不在者 櫻 助八  
明治十六年五月二十五日生  
右ニ對シ利害關係人櫻正左美ノ申立ニ因リ當  
區裁判所ハ昭和十二年五月十七日失踪宣告ヲ爲シ  
タリ  
昭和十二年五月十七日 若松區裁判所

本籍及最後ノ住所福島縣郡縣郡堂島村大字  
吉沖字龜ヶ臺二千三十六番地 不在者 櫻 助八  
明治十六年五月二十五日生  
右ニ對シ利害關係人櫻正左美ノ申立ニ因リ當  
區裁判所ハ昭和十二年五月十七日失踪宣告ヲ爲シ  
タリ  
昭和十二年五月十七日 若松區裁判所

本籍及最後ノ住所山梨縣山梨郡甲斐村川  
田五百三番地 不在者 伊藤 しほ  
文政七年十月十五日生  
右ニ對シ前記同所番地利害關係人田中秋男ノ申  
立ニ因リ當區裁判所ハ昭和十二年五月十一日失  
踪ノ宣告ヲ爲シタリ  
昭和十二年五月十一日 越ヶ谷區裁判所

本籍及最後ノ住所山梨縣山梨郡甲斐村川  
田五百三番地 不在者 伊藤 しほ  
文政七年十月十五日生  
右ニ對シ前記同所番地利害關係人田中秋男ノ申  
立ニ因リ當區裁判所ハ昭和十二年五月十一日失  
踪ノ宣告ヲ爲シタリ  
昭和十二年五月十一日 越ヶ谷區裁判所

本籍及最後ノ住所山梨縣山梨郡甲斐村川  
田五百三番地 不在者 伊藤 しほ  
文政七年十月十五日生  
右ニ對シ前記同所番地利害關係人田中秋男ノ申  
立ニ因リ當區裁判所ハ昭和十二年五月十一日失  
踪ノ宣告ヲ爲シタリ  
昭和十二年五月十一日 越ヶ谷區裁判所

本籍及最後ノ住所山梨縣山梨郡甲斐村川  
田五百三番地 不在者 伊藤 しほ  
文政七年十月十五日生  
右ニ對シ前記同所番地利害關係人田中秋男ノ申  
立ニ因リ當區裁判所ハ昭和十二年五月十一日失  
踪ノ宣告ヲ爲シタリ  
昭和十二年五月十一日 越ヶ谷區裁判所

除權判決

東京市葛飾區小谷野町二百六十一番地通稱  
同市同區堀切町二百六十一番地  
坂井發動機製作所事  
申立人 坂井庄次郎  
證書ノ重要ナル旨趣  
一證書種類 鐵道省貨物引換證 一通  
一證書發行年月日 昭和十一年六月二十三日

失蹤宣告

本籍及最後ノ住所埼玉縣北葛飾郡安行村大  
字蘇林七百三十九番地 不在者 田中 源藏  
明治三十八年一月十二日生  
右ニ對シ前記同所番地利害關係人田中秋男ノ申  
立ニ因リ當區裁判所ハ昭和十二年五月十一日失  
踪ノ宣告ヲ爲シタリ  
昭和十二年五月十一日 越ヶ谷區裁判所

失蹤宣告

本籍及最後ノ住所埼玉縣北葛飾郡安行村大  
字蘇林七百三十九番地 不在者 田中 源藏  
明治三十八年一月十二日生  
右ニ對シ前記同所番地利害關係人田中秋男ノ申  
立ニ因リ當區裁判所ハ昭和十二年五月十一日失  
踪ノ宣告ヲ爲シタリ  
昭和十二年五月十一日 越ヶ谷區裁判所

失蹤宣告

本籍及最後ノ住所埼玉縣北葛飾郡安行村大  
字蘇林七百三十九番地 不在者 田中 源藏  
明治三十八年一月十二日生  
右ニ對シ前記同所番地利害關係人田中秋男ノ申  
立ニ因リ當區裁判所ハ昭和十二年五月十一日失  
踪ノ宣告ヲ爲シタリ  
昭和十二年五月十一日 越ヶ谷區裁判所

失蹤宣告

本籍及最後ノ住所埼玉縣北葛飾郡安行村大  
字蘇林七百三十九番地 不在者 田中 源藏  
明治三十八年一月十二日生  
右ニ對シ前記同所番地利害關係人田中秋男ノ申  
立ニ因リ當區裁判所ハ昭和十二年五月十一日失  
踪ノ宣告ヲ爲シタリ  
昭和十二年五月十一日 越ヶ谷區裁判所

失蹤宣告

本籍及最後ノ住所埼玉縣北葛飾郡安行村大  
字蘇林七百三十九番地 不在者 田中 源藏  
明治三十八年一月十二日生  
右ニ對シ前記同所番地利害關係人田中秋男ノ申  
立ニ因リ當區裁判所ハ昭和十二年五月十一日失  
踪ノ宣告ヲ爲シタリ  
昭和十二年五月十一日 越ヶ谷區裁判所

失蹤宣告

本籍及最後ノ住所埼玉縣北葛飾郡安行村大  
字蘇林七百三十九番地 不在者 田中 源藏  
明治三十八年一月十二日生  
右ニ對シ前記同所番地利害關係人田中秋男ノ申  
立ニ因リ當區裁判所ハ昭和十二年五月十一日失  
踪ノ宣告ヲ爲シタリ  
昭和十二年五月十一日 越ヶ谷區裁判所

外國郵便物東京中央郵便局

本月二十日本欄商業組合登記ノ項中六二二頁三  
段岐阜區裁判所那加出張所ノ部六行立島慶一ハ  
五島慶一ノ誤植

正誤

一證書番號 鐵道省隅田川驛發行第三十號  
一發祥 隅田川驛  
一著譯 鐵道省隅田川驛  
一荷受人ノ住所氏名 東京市葛飾區堀切町二六  
一番地 坂井發動機製作所  
一荷受人ノ住所氏名 千葉縣葛飾郡土村増尾  
並木商店  
一品名及荷造ノ種類箇數 記號重量容量 農具用  
石油發動機桿ノ一箇二百五十八咫  
一價格 金三百圓也  
一運貨支拂方法 現拂  
一運送方法 小口扱  
一運送賃 金七十六錢  
右證書ニ付申立人ノ申立ニ因リ公示催告ヲ爲シ  
タル處昭和十二年五月二十日午前十時ノ期日迄  
ニ權利ヲ届出テ且證書ヲ提出スル者ナキヲ以テ  
申立人ノ申立ニ基キ前記證書ノ無効ヲ宣言ス  
昭和十二年五月二十日 松戸區裁判所

外國郵便物東京中央郵便局

一證書番號 鐵道省隅田川驛發行第三十號  
一發祥 隅田川驛  
一著譯 鐵道省隅田川驛  
一荷受人ノ住所氏名 東京市葛飾區堀切町二六  
一番地 坂井發動機製作所  
一荷受人ノ住所氏名 千葉縣葛飾郡土村増尾  
並木商店  
一品名及荷造ノ種類箇數 記號重量容量 農具用  
石油發動機桿ノ一箇二百五十八咫  
一價格 金三百圓也  
一運貨支拂方法 現拂  
一運送方法 小口扱  
一運送賃 金七十六錢  
右證書ニ付申立人ノ申立ニ因リ公示催告ヲ爲シ  
タル處昭和十二年五月二十日午前十時ノ期日迄  
ニ權利ヲ届出テ且證書ヲ提出スル者ナキヲ以テ  
申立人ノ申立ニ基キ前記證書ノ無効ヲ宣言ス  
昭和十二年五月二十日 松戸區裁判所

外國郵便物東京中央郵便局

一證書番號 鐵道省隅田川驛發行第三十號  
一發祥 隅田川驛  
一著譯 鐵道省隅田川驛  
一荷受人ノ住所氏名 東京市葛飾區堀切町二六  
一番地 坂井發動機製作所  
一荷受人ノ住所氏名 千葉縣葛飾郡土村増尾  
並木商店  
一品名及荷造ノ種類箇數 記號重量容量 農具用  
石油發動機桿ノ一箇二百五十八咫  
一價格 金三百圓也  
一運貨支拂方法 現拂  
一運送方法 小口扱  
一運送賃 金七十六錢  
右證書ニ付申立人ノ申立ニ因リ公示催告ヲ爲シ  
タル處昭和十二年五月二十日午前十時ノ期日迄  
ニ權利ヲ届出テ且證書ヲ提出スル者ナキヲ以テ  
申立人ノ申立ニ基キ前記證書ノ無効ヲ宣言ス  
昭和十二年五月二十日 松戸區裁判所

外國郵便物東京中央郵便局

一證書番號 鐵道省隅田川驛發行第三十號  
一發祥 隅田川驛  
一著譯 鐵道省隅田川驛  
一荷受人ノ住所氏名 東京市葛飾區堀切町二六  
一番地 坂井發動機製作所  
一荷受人ノ住所氏名 千葉縣葛飾郡土村増尾  
並木商店  
一品名及荷造ノ種類箇數 記號重量容量 農具用  
石油發動機桿ノ一箇二百五十八咫  
一價格 金三百圓也  
一運貨支拂方法 現拂  
一運送方法 小口扱  
一運送賃 金七十六錢  
右證書ニ付申立人ノ申立ニ因リ公示催告ヲ爲シ  
タル處昭和十二年五月二十日午前十時ノ期日迄  
ニ權利ヲ届出テ且證書ヲ提出スル者ナキヲ以テ  
申立人ノ申立ニ基キ前記證書ノ無効ヲ宣言ス  
昭和十二年五月二十日 松戸區裁判所

外國郵便物東京中央郵便局

一證書番號 鐵道省隅田川驛發行第三十號  
一發祥 隅田川驛  
一著譯 鐵道省隅田川驛  
一荷受人ノ住所氏名 東京市葛飾區堀切町二六  
一番地 坂井發動機製作所  
一荷受人ノ住所氏名 千葉縣葛飾郡土村増尾  
並木商店  
一品名及荷造ノ種類箇數 記號重量容量 農具用  
石油發動機桿ノ一箇二百五十八咫  
一價格 金三百圓也  
一運貨支拂方法 現拂  
一運送方法 小口扱  
一運送賃 金七十六錢  
右證書ニ付申立人ノ申立ニ因リ公示催告ヲ爲シ  
タル處昭和十二年五月二十日午前十時ノ期日迄  
ニ權利ヲ届出テ且證書ヲ提出スル者ナキヲ以テ  
申立人ノ申立ニ基キ前記證書ノ無効ヲ宣言ス  
昭和十二年五月二十日 松戸區裁判所

外國郵便物東京中央郵便局

一證書番號 鐵道省隅田川驛發行第三十號  
一發祥 隅田川驛  
一著譯 鐵道省隅田川驛  
一荷受人ノ住所氏名 東京市葛飾區堀切町二六  
一番地 坂井發動機製作所  
一荷受人ノ住所氏名 千葉縣葛飾郡土村増尾  
並木商店  
一品名及荷造ノ種類箇數 記號重量容量 農具用  
石油發動機桿ノ一箇二百五十八咫  
一價格 金三百圓也  
一運貨支拂方法 現拂  
一運送方法 小口扱  
一運送賃 金七十六錢  
右證書ニ付申立人ノ申立ニ因リ公示催告ヲ爲シ  
タル處昭和十二年五月二十日午前十時ノ期日迄  
ニ權利ヲ届出テ且證書ヲ提出スル者ナキヲ以テ  
申立人ノ申立ニ基キ前記證書ノ無効ヲ宣言ス  
昭和十二年五月二十日 松戸區裁判所

# 大藏省銀行局編纂

A5 判  
四五八頁

定價貳圓五拾錢  
送料(内地不要)  
(外國三十六錢)

昭和十一年末現在  
第四十三回

# 銀行總覽

本總覽ハ各種銀行、信託會社、擔保附社債信託會社、無盡業、市街地信用組合、有價證券割賦販賣業及是等ニ關係ヲ有スル公益法人ニ就キ所在地資本金等ヲ調査シテ掲載セルモノナリ

## 銀行之部

一、本項ハ大藏省主管ニ屬スル各種銀行並朝鮮、滿洲國、關東州及支那ニ於ケル本邦人銀行ノ昭和十一年十二月末日現在ニ依リ調査セルモノナリ

## 信託會社之部

一、本項ハ信託業法施行後免許ヲ受ケタル信託業者ノ昭和十一年十二月末日現在ニ依リ調査セルモノナリ

## 擔保附社債信託會社之部

一、本項ハ擔保附社債信託法ニ據リ免許ヲ受ケタルモノノ昭和十一年十二月末日現在ニ依リ調査セルモノナリ

## 無盡業之部

一、本項ハ無盡業法施行後免許ヲ受ケタル無盡業者ノ昭和十一年十二月末日現在ニ依リ調査セルモノナリ

## 信用組合之部

有價證券割賦販賣業之部

### 申込所

内閣印刷局發賣掛  
全国各地官報販賣所  
全国各地主要書店

### 發行所

東京市麴町區大手町  
**内閣印刷局**  
電話丸ノ内(23)三五一一三五九  
振替東京一九〇〇〇

來ル七月一日(木曜日)午後一時三十分當銀行本店ニ於テ日本銀行定款中改正並參與理事選舉ノ爲臨時株主總會相開候此段廣告候也  
昭和十二年五月三十一日 **日本銀行**

### 社債償還公告

元朝鮮瓦斯電氣株式會社第壹回、號物上擔保附社債償還次定時償還ノ爲抽籤致候處左記番號ノ債券當償還致候ニ付此段公告候也  
昭和十二年五月三十一日 朝鮮合同電氣株式會社  
償還金額 金拾萬圓也  
償還期日 昭和拾貳年六月貳拾日(當日日曜日ニ付キ)六月拾九日支拂  
支拂場所 朝鮮銀行本店及朝鮮所在各支店

壹百圓券(戊)	自 至	壹千圓券(丙)	自 至	五千圓券(乙)	自 至
三六—四〇	自 至	一〇七—一一四	自 至	一五—一五六	自 至
五百圓券(丁)	自 至	二二七—二三〇	自 至	壹萬圓券(甲)	自 至
二二—二四	自 至	七—九	自 至		
六九—七〇	自 至				

**特許 國產最高の峰**  
**紙寫複印—ガイタ**



輸入防遏の  
宿志を貫徹せる  
苦心研究  
貳拾餘年の製品

品質に一定  
手を汚さず  
字跡鮮明

發售元 東京市東區井堀  
總店 井堀本堂  
分店 井堀本堂  
支店 東京、津天、口濱、海上

電話 田中(25) 二四・二四・二四・二四  
八二四・五二四・四二四・三二四

**南京虫蒸殺器**  
新案  
特許  
不要絶滅保證(カタログ呈)  
家庭用 金十八圓  
大型 金三十圓  
兵營、寄宿舎、工場用



**有光製作所**  
大阪市東區深江中一丁目  
電話東四一六番  
振替四九五一七番  
支店 有光 支店  
電話新三九三三番

昭和十二年度官報販賣所一覽

內閣印刷局

Table listing government newspaper sales locations across various prefectures (e.g., 東京, 大阪, 京都, 神戶, 名古屋, 津, 奈良, 宇都宮, 水戸, 千葉, 前橋, 浦和, 新潟, 長崎, 神戶, 横濱, 大坂, 京都, 東京, 第一東京, 第二東京, 第三東京, 札幌, 官報販賣所名, 販賣區域, 營業所位置, 販賣人氏名). Includes columns for location names, phone numbers, and agent names.





昭和十二年十月官報目錄

自第三二二五號 至第三二五〇號

◎凡例

敘任及辭令以下ノ各欄記事ハ摘要  
公文件名上ノ數字ハ番號  
件名下ノ數字上段ハ頁數下段ハ日

初令	五五七 外務部内臨時職員 設置制中改正	一	五七六 高等官官等俸給令 中改正	一六一	五九二 監獄官吏制中改 正	五八五	六一二 現役ニ在ル陸海軍 武官ニシテ企畫院ノ部長 又ハ調査官ニ專任セラレ タル者ノ分限等ニ關スル 件	六八七	一三 日本國及印度間通商 關係ニ關スル條約ノ效力 延長ニ關スル公文	四四五
改正	五五八 在外公館職員定員 令中改正	一	五七七 金鷄勳章ノ等級製 式佩用式改正	一六一	五九三 臨時内閣會議官制 五九四 臨時資金調整法ヲ 朝鮮ニ施行スルノ件	四一七	六一三 資源調査令中改正	六八七	一四 日本綿布ノ印度ヘノ 輸入ニ關スル議定書	四六六
改正	五五九 在外公館費用條例 令中改正	一	五七八 軍機保護法改正法 律施行期日	一六一	五九五 臨時資金調整法ヲ 臺灣ニ施行スルノ件	四一七	六一四 海軍服制中改正	六八七	一七 支那事變ノ爲從軍シ タル軍人及軍屬ニ對スル 租稅ノ減免、徵收猶豫等 ニ關スル件	三二一
改正	五六〇 內務省官制中改正	二	五七九 關東州裁判事務取 扱令中改正	一六二	五九六 行政官廳ヲシテ委 嘱ニ依リ紀元二千六百年 奉祝會ノ事務ヲ施行セシ ムルノ件	四一七	六一五 海軍服裝令中改正	六八八	二〇 支那事變ノ爲從軍シ タル軍人及軍屬ニ對スル 租稅ノ減免、徵收猶豫ニ 關スル件	三二一
改正	五六一 內務部内臨時職員 令中改正	二	五八〇 關東州臨時船舶管 理令	一六二	五九七 大藏部内臨時職員 設置制中改正	四一七	六一六 法規整備委員會官 制	六八八	二一 臺灣度量衡規則中改 正	三五三
改正	五六二 警備官制中改正	二	五八一 關東植物檢査所官 吏ニシテ輸入又ハ輸出ノ 植物ノ病菌害蟲ノ檢査及 取締ニ從事スルモノニ被 服ヲ貸與スルノ件	一六二	五九八 防空委員會令	四一七	六一七 逓信省官制中改正	七四九	二二 臺灣營業稅令中改正	五六五
改正	五六三 北海道廳官制中改 正	二	五八二 同上服制ニ關スル 件	一六二	五九九 東京陸軍航空學校 令中改正	四一七	六一八 逓信局官制中改正	七四九	二五 軍需工業動員法第十六 條ノ規定ニ依ル職務執行 ノ證書ニ關スル件中改正	六八八
改正	五六四 地方官官制中改正	三	五八三 支那事變ニ付官國 幣社以下神社ニ於テ行フ 祭祀ニ關スル件	一六二	六〇〇 熊谷陸軍飛行學校 令中改正	四一七	六一九 通信官製官制中改 正	七四九	二六 日本通運株式會社 設置制中改正	八四五
改正	五六五 陸軍航空本部令中 改正	三	五八四 當分ノ内資金前 渡、前金擔若ハ概算拂ヲ 爲シ又ハ隨意契約ニ依ル コトヲ得ル場合ニ關スル 件	一六二	六〇一 陸軍航空技術學校 令中改正	四一七	六二〇 燈臺局官制中改正	七四九	二七 陸軍兵ノ兵科裁 兵種及等級表ニ關スル件 中改正	八四五
改正	五六六 陸軍士官學校令中 改正	三	五八五 支那事變ニ關スル 國防物品ヲ目的トスル寄 附金ノ出納保管ニ關スル 件	一六二	六〇二 陸軍航空本部令中 改正	四一七	六二一 鐵道部内ノ官吏ニ シテ臨時陸海軍特設ノ事 務ニ從事シ又ハ臨時若ハ 事變ニ際シ鐵道部外ニ於 テ臨時鐵道ノ事務ニ從事 シタル者ノ補缺及復歸ニ 關スル件	七四九	二八 兵役法施行令中改 正	八四五
改正	五六七 陸軍豫科士官學校 令中改正	三	五八六 鑛業法改正調査委 員會官制	一六二	六〇三 臨時資金調整法ヲ 樺太ニ施行スルノ件	四一七	六二二 氣象臺官制中改正	七四九	二九 支那事變ニ付官國幣 社以下神社ニ於テ行フ祭 祀ノ祝詞	二六二
改正	五六八 勸業事業委員會官 制	三	五八七 電氣計器ノ公差 檢定及檢定手数料ニ關ス ル件中改正	一六二	六〇四 關東州及南滿洲鐵 道附屬地ニ於テ依ルコト ヲ定メタル軍需工業動員 法ノ適用ニ關スル件	四一七	六二三 陸軍軍醫豫備員令 中改正	七四九	三〇 支那事變ニ付官國幣 社以下神社ニ於テ行フ祭 祀ノ祝詞	二六二
改正	五六九 逓信部内臨時職員 設置制中改正	三	五八八 稅務署官制中改正	一六二	六〇五 企業院官制 增置ノ件	四一七	六二四 臨時社會局ニ臨時 軍事授課部ヲ置ク	七四九	三二 臺灣營業稅令中改正	五六五
改正	五七〇 船舶管理委員會官 制	三	五八九 關東局内臨時職 員設置制中改正	一六二	六〇六 企業院ニ臨時職員 増置ノ件	四一七	六二五 府縣臨時職員等 設置制中改正	七四九	三五 軍需工業動員法第十六 條ノ規定ニ依ル職務執行 ノ證書ニ關スル件中改正	六八八
改正	五七一 地方社會事業職員 制中改正	三	五九〇 刑事訴訟法中改正 法律施行期日	一六二	六〇七 高等官官等俸給令 中改正	四一七	六二六 日本通運株式會社 設置制中改正	八四五	三六 支那事變ニ付官國幣 社以下神社ニ於テ行フ祭 祀ノ祝詞	二六二
改正	五七二 支那事變ノ爲從軍 シタル軍人及軍屬ニ對ス ル關東州及南滿洲鐵道附 屬地ニ於ケル租稅ノ減 免、徵收猶豫等ニ關スル 件	三	五九一 臨時電力調査會官 制	一六二	六〇八 文官任用令中改正	四一七	六二七 陸軍兵ノ兵科裁 兵種及等級表ニ關スル件 中改正	八四五	三九 外務省警部補巡查令 施行規則中改正	六八一
改正	五七三 小運送業審査委員 會官制	三	五九二 臨時電力調査會官 制	一六二	六〇九 委任文官特別任用 令中改正	四一七	六二八 兵役法施行令中改 正	八四五	四〇 外務省 組規則中改正	一六二
改正	五七四 内閣所屬部局及職 員官制中改正	三	五九三 臨時電力調査會官 制	一六二	六一〇 任用分限又ハ官等 ノ初級階級ノ規定ヲ適用 セサル文官ニ關スル件中 改正	四一七	四一 內務省 組規則中改正	一六二	四二 土木事業從事員共濟 社以下神社ニ於テ行フ祭 祀ノ祝詞	二六二
改正	五七五 裁判所職員定員令 中改正	三	五九四 臨時電力調査會官 制	一六二	六一一 企業院調査官ノ特 別任用ニ關スル件	四一七	四三 支那事變ニ付官國幣 社以下神社ニ於テ行フ祭 祀ノ祝詞	二六二	四四 支那事變ニ付官國幣 社以下神社ニ於テ行フ祭 祀ノ祝詞	二六二

Table of regulations and administrative orders. Includes sections for '陸軍省' (Army Ministry), '農林省' (Agriculture and Forestry Ministry), '商工省' (Commerce and Industry Ministry), '文部省' (Education Ministry), '郵務省' (Post Office Ministry), and '府令' (Prefectural Orders). Each entry lists a regulation number, title, and effective date.

Table of regulations and administrative orders. Includes sections for '陸軍省' (Army Ministry), '農林省' (Agriculture and Forestry Ministry), '商工省' (Commerce and Industry Ministry), '文部省' (Education Ministry), '郵務省' (Post Office Ministry), and '府令' (Prefectural Orders). Each entry lists a regulation number, title, and effective date.

Table of administrative notices and regulations, including sections for land use, public works, and military affairs. It lists various items with their respective numbers and dates.

Table of administrative notices and regulations, including sections for land use, public works, and military affairs. It lists various items with their respective numbers and dates.



Table of administrative notices (3300-3400). Includes items like '3300 二 鐵道列車内ニ於ケル郵便現業事務所等郵便局臨時區域等追加' and '3301 三 鐵道列車内ニ於ケル郵便現業事務所等郵便局臨時區域等追加'.

Table of administrative notices (3400-3500). Includes items like '3400 一 朝鮮政私設無線電信無線電機設備' and '3401 二 朝鮮政私設無線電信無線電機設備'.

Table with 4 columns: Item description, Date, Page number, and Category. Includes items like '行ア郵便局中改正' and '行ア郵便局ノ事務'.

Table with 4 columns: Item description, Date, Page number, and Category. Includes items like '一五一 壹岐丸無線電信取' and '一五二 海軍局船舶局'.

Table with 4 columns: Item description, Date, Page number, and Category. Includes items like '九一 江西海軍便取所設' and '九二 奉天大廣場郵便所設'.

Table with 4 columns: Item description, Date, Page number, and Category. Includes items like '九三 奉天大廣場郵便所設' and '九四 大連芝生町郵便所設'.

Table with 4 columns: Item description, Date, Page number, and Category. Includes items like '九五 信號符字貼付' and '九六 特定期指'.

Table with 4 columns: Item description, Date, Page number, and Category. Includes items like '新任在本邦外國大使館' and '附陸軍武官團'.

Table with 4 columns: Item description, Date, Page number, and Category. Includes items like '處務細則中改正' and '在東京米國總領事館'.

Table with 4 columns: Item description, Date, Page number, and Category. Includes items like '官史裏去 東京女子高等師範' and '官史裏去 田實'.

Table with 4 columns: Item description, Date, Page number, and Category. Includes items like '豫約出版届出 物語東洋' and '豫約出版届出 史外一'.

Table with 4 columns: Item description, Date, Page number, and Category. Includes items like '豫約出版届出 中村憲' and '豫約出版届出 吉全集'.

Table with multiple columns containing administrative news, dates, and locations. Includes categories like '宗敎', '財政', '農事', '商事', '工業', '農業', '漁業', '土木', '地方行政', and '土地收用公告'.

Table with multiple columns containing administrative news, dates, and locations. Includes categories like '通運', '衛生', '警察', '教育', '地方行政', and '土地收用公告'.

●道路改良(滋賀縣(滋賀縣)) 道路新設(和歌山(和歌山)) 道路改良(和歌山(和歌山)) 道路改良(和歌山(和歌山)) 道路改良(和歌山(和歌山))	●河川改良(大阪府(大阪府)) 河川改良(大阪府(大阪府)) 河川改良(大阪府(大阪府)) 河川改良(大阪府(大阪府))	●市街改良(大阪府(大阪府)) 市街改良(大阪府(大阪府)) 市街改良(大阪府(大阪府)) 市街改良(大阪府(大阪府))	●市街改良(大阪府(大阪府)) 市街改良(大阪府(大阪府)) 市街改良(大阪府(大阪府)) 市街改良(大阪府(大阪府))	●市街改良(大阪府(大阪府)) 市街改良(大阪府(大阪府)) 市街改良(大阪府(大阪府)) 市街改良(大阪府(大阪府))	●市街改良(大阪府(大阪府)) 市街改良(大阪府(大阪府)) 市街改良(大阪府(大阪府)) 市街改良(大阪府(大阪府))	●市街改良(大阪府(大阪府)) 市街改良(大阪府(大阪府)) 市街改良(大阪府(大阪府)) 市街改良(大阪府(大阪府))
---	---	---	---	---	---	---

●第九回増殖金附割引当金債券支出(株式會社日本郵船銀行) 第九回増殖金附割引当金債券支出(株式會社日本郵船銀行)	●第九回増殖金附割引当金債券支出(株式會社日本郵船銀行) 第九回増殖金附割引当金債券支出(株式會社日本郵船銀行)	●第九回増殖金附割引当金債券支出(株式會社日本郵船銀行) 第九回増殖金附割引当金債券支出(株式會社日本郵船銀行)	●第九回増殖金附割引当金債券支出(株式會社日本郵船銀行) 第九回増殖金附割引当金債券支出(株式會社日本郵船銀行)	●第九回増殖金附割引当金債券支出(株式會社日本郵船銀行) 第九回増殖金附割引当金債券支出(株式會社日本郵船銀行)	●第九回増殖金附割引当金債券支出(株式會社日本郵船銀行) 第九回増殖金附割引当金債券支出(株式會社日本郵船銀行)	●第九回増殖金附割引当金債券支出(株式會社日本郵船銀行) 第九回増殖金附割引当金債券支出(株式會社日本郵船銀行)
---	---	---	---	---	---	---





同表同號波ノ欄中

1	1,000	1,000
2	1,000	1,000
3	1,000	1,000
4	1,000	1,000
5	1,000	1,000
6	1,000	1,000
7	1,000	1,000
8	1,000	1,000
9	1,000	1,000
10	1,000	1,000

ニ改メ同號中希ノ欄ヲ削ル

別表第二號張家口ノ項中

1	1,500	1,500
2	1,500	1,500
3	1,500	1,500
4	1,500	1,500
5	1,500	1,500
6	1,500	1,500
7	1,500	1,500
8	1,500	1,500
9	1,500	1,500
10	1,500	1,500

ニ改ム

同表同號中ダウアノ項ノ次ニ左ノ二項ヲ加フ

メナド	1,600	1,600
サンダカン	1,600	1,600
カサプラン	1,800	1,800
ウエリント	2,000	2,000
リベロン	2,000	2,000

同表同號中ケープタウンノ項ノ次ニ左ノ二項ヲ加フ

カサプラン	1,800	1,800
ウエリント	2,000	2,000
リベロン	2,000	2,000

同表同號中リベロンプレートノ項ヲ左ノ如ク改メ里昂、未蘭、百草溝、頭道溝、鄭家屯及營口ノ項ヲ削ル

附則  
本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

朕樞密顧問ノ諮詢ヲ經テ内務省官制中改正ノ件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

御名 御璽

昭和十二年九月三十日  
内閣總理大臣 公爵 近衛 文麿  
内務大臣 馬場 鉄一

勅令第五百六十號  
内務省官制中左ノ通改正ス  
第一條中「都市計畫」ヲ「都市計畫、防空」ニ改ム  
第二條中「都市計畫及防空」ヲ削ル  
第三條中「十五人」ヲ「十七人」ニ改ム  
第四條中「五局」ヲ「六局」ニ改メ「衛生局」ノ次ニ「計畫局」ヲ加フ  
第九條 計畫局ニ於テハ左ノ事務ヲ掌ル  
一 都市計畫ニ關スル事項  
二 防空ニ關スル事項

御名 御璽

昭和十二年九月三十日  
内閣總理大臣 公爵 近衛 文麿  
内務大臣 馬場 鉄一

朕内務部内臨時職員設置制中改正ノ件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

第十條中「專任内務事務官十八人」ヲ「專任内務事務官二十一人」ニ改ム  
第十二條第一項中「專任技師十七人」ヲ「專任技師二十一人」ニ、同條第二項中「專任屬及專任技師通シテ百九十六人」ヲ「專任屬及專任技師通シテ二百十九人」ニ改ム  
附則  
本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス  
(參照)  
昭和十二年十月二十日勅令第三百五十九號内務省官制抄録  
第一條 内務大臣ハ神祇、地方行政、警備、警務、士末衛生、都市計畫、地理出版、著作權及拒絶ニ關スル事務ヲ管理シ警察總監、北海道警察長及府縣知事ヲ監督ス  
第二條 大臣官房ニ於テハ通則ニ掲タルモノノ外  
一 警務部計畫及防空ニ關スル事務ヲ掌ル  
二 警務部内務事務官二十一人ヲ以テ定員トス  
三 警務部内務事務官ニ左ノ五局ヲ設ク  
(左記略ス)  
第九條 削除

御名 御璽

昭和十二年九月三十日  
内閣總理大臣 公爵 近衛 文麿  
内務大臣 馬場 鉄一

朕警視廳官制中改正ノ件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

勅令第五百六十一號  
内務部内臨時職員設置制中左ノ通改正ス  
第三條ノ四 削除  
第三條ノ五第一項中「内務事務官 專任十人内一人ヲ勅任ト」ヲ「内務書記官 專任一人内一人ヲ勅任ト」ヲ、内務事務官 專任十人内一人ヲ勅任トニ、屬 專任四十一人」ヲ「屬 專任四十五人」ニ改メ「警務官 五人」ノ次ニ「内務理事官 專任一人」ヲ加フ  
附則  
本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス  
(參照)  
大正九年九月十日勅令第三百六十九號内務部内臨時職員設置制抄録  
第三條ノ四 防空ニ關スル事務ニ從事セシムル爲内務省ニ左ノ職員ヲ設ク大臣官房ニ屬セシム  
内務事務官 專任一人  
屬 專任八人  
技師 專任二人

勅令第五百六十二號

警視廳官制中左ノ通改正ス  
第一條第一項中「事務官 專任六人」ヲ「事務官 專任七人」ニ、「技師 專任十四人」ヲ「技師 專任十六人」ニ、「警部 專任百九十九人」ヲ「警部 專任百九十二人」ニ、「屬 專任百七十一人」ヲ「屬 專任百七十三人」ニ、「技師 專任四十一人」ヲ「技師 專任四十三人」ニ改ム  
第十二條中警務部ノ部ニ左ノ一號ヲ加フ  
二 防空ニ關スル事項  
附則  
本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス  
(參照)  
大正二年六月十三日勅令第四百十九號警視廳官制抄録  
第十二條 警務部ニ部ヲ置キ事務ヲ分掌セシムルコト左ノ如シ  
警務部  
(左記略ス)

朕北海道廳官制中改正ノ件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

御名 御璽

昭和十二年九月三十日  
内閣總理大臣 公爵 近衛 文麿  
内務大臣 馬場 鉄一

勅令第五百六十三號

北海道廳官制中左ノ通改正ス  
第一條第一項中「屬 專任二百三十人」ヲ「屬 專任二百三十二人」ニ、「警部 專任八十六人」ヲ「警部 專任八十八人」ニ、「技師 專任九十九人」ヲ「技師 專任百人」ニ改ム  
第十二條第六項第二號ヲ第三號トシ以下順次繰下ケ同項第一號ノ次ニ左ノ一號ヲ加フ  
二 防空ニ關スル事項  
附則  
本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス  
(參照)  
大正二年六月十三日勅令第四百五十號北海道廳官制抄録  
第十二條第六項  
警務部ニ於テハ左ノ事務ヲ掌ル  
(左記略ス)

朕地方官官制中改正ノ件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

御名 御璽

昭和十二年九月三十日  
内閣總理大臣 公爵 近衛 文麿  
内務大臣 馬場 鉄一

勅令第五百六十四號

地方官官制中左ノ通改正ス  
第一條第一項中「地方事務官 專任三百七十人」ヲ「地方事務官 專任三百七十七人」ニ、「地方警視 專任三百五十五人」ヲ「地方警視 專任三百六十六人」ニ、「地方技師 專任三百九十九人」ヲ「地方技師 專任三百五十五人」ニ、「屬 專任二千八百五十九人」ヲ「屬 專任二千八百八十一人」ニ、「警部 專任千四百一十二人」ヲ「警部 專任千四百六十四人」ニ、「技師 專任千百三十三人」ヲ「技師 專任千二百二十五人」ニ改ム  
第十五條第二項中「前項ノ外」ノ下ニ「防空」ヲ加フ  
第十六條中第二號ヲ第三號トシ以下順次繰下ケ第一號ノ次ニ左ノ一號ヲ加フ  
二 防空ニ關スル事項  
附則  
本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス  
(參照)  
大正十五年六月四日勅令第四百七十七號地方官官制抄録  
第十五條 學務部ニ於テハ左ノ事務ヲ掌ル  
(左記略ス)  
東部府ノ學務部ニ於テハ前項ノ外衛生ニ關スル事務ヲ掌ル  
第十六條 警察部ニ於テハ左ノ事務ヲ掌ル  
(左記略ス)

朕陸軍航空本部令中改正ノ件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

御名 御璽

昭和十二年九月三十日  
内閣總理大臣 公爵 近衛 文麿  
陸軍大臣 杉山 元

陸軍航空本部令中左ノ通改正ス  
第七條 本部長ハ航空兵科專門ノ教育ニ關シテハ陸軍士官學校長ヲ經テ陸軍士官學校分校長ニ所要ノ指示ヲ爲ス  
附則  
本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス  
(參照)  
昭和十年七月三十日勅令第三百二十一號陸軍航空本部令抄録  
第七條 本部長ハ陸軍士官學校及陸軍醫科士官學校ヲ派員シ航空兵科學生生徒ノ教育ニ付責任アルトキハ之ヲ教育總監ニ通報ス  
本部長ハ第一部長ヲシテ前項ノ職務ヲ行ハシムルコトヲ得



省令

外務省令第九號

外務省警務部補選令施行細則中左ノ通改正ス

昭和十二年十月一日 外務大臣 廣田 弘毅

別表中百草溝、頭道溝、鄭家屯ノ項ヲ削ル

附則 本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

大藏省令第四十五號

昭和六年大藏省令第十六號中左ノ通改正シ本日ヨリ之ヲ施行ス

昭和十二年十月一日 大藏大臣 賀屋 興宜

地方專賣局煙草販賣所名稱位置中 名古屋地方專賣局ノ部半田ノ項ヲ削リ瀬戸ノ項ノ次ニ「半田」 半田市」ヲ加フ

鹿兒島地方專賣局ノ部「富高」 東白 杵郡富高町「ラ」富島 東白 杵郡富島町ニ改ム

地方專賣局專賣官吏派出所名稱位置中 鹿兒島地方專賣局ノ部細島ノ項「細島町」ヲ「富島町」ニ改ム

（參照） 昭和六年五月十六日大藏省令第十六號ハ地方專賣局ノ管轄區域專賣局ノ製作所、研究所及貯藏場、地方專賣局ノ工場、出所、煙草販賣所及專賣官吏派出所ノ名稱位置ノ件ナリ

第六條 委員會ニ幹事ヲ置ク選任大臣ノ奏請ニ依リ内閣ニ於テ之ヲ命ズ  
第七條 委員會ニ書記ヲ置ク選任大臣ノ奏命ズ  
書記ハ上司ノ指揮ヲ承ケ庶務ニ從事ス  
附則 本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

御名 御璽

昭和十二年九月三十日

内閣總理大臣 公爵 近衛 文麿

内務大臣 馬場 鉄一

勅令第五百七十一號

地方社會事業職員制中左ノ通改正ス

第一項中「社會事業主事 專任百十九人以內」ヲ「社會事業主事 專任百三十五人以內」ニ、「社會事業主事補 專任三百四十二人以內」ヲ「社會事業主事補 專任五百八十三人以內」ニ改ム

附則 本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

勅令第五百七十號

船舶管理委員會官制

第一條 船舶管理委員會ハ選任大臣ノ監督ニ屬シ臨時船舶管理法第十三條ノ規定ニ依リ其ノ權限ニ屬セシメタル事項ヲ調査審議ス

委員會ハ前項ノ外選任大臣ノ諮問ニ應ジ臨時船舶管理法ノ施行ニ關スル重要事項ヲ調査審議ス

委員會ハ臨時船舶管理法ノ施行ニ關スル事項ニ付選任大臣ニ建議スルコトヲ得

第二條 委員會ハ會長一人及委員三十五人以內ヲ以テ之ヲ組織ス

第三條 會長ハ選任大臣ヲ以テ之ニ充ツ委員ハ選任大臣ノ奏請ニ依リ左ニ掲グル者ノ中ヨリ内閣ニ於テ之ヲ命ズ

一 關係各處高等官

二 學識經驗アル者

第四條 會長ハ會務ヲ總理ス

會長事故アルトキハ會長ノ指名スル委員共ノ職務ヲ代理ス

第五條 委員會ニ專門委員ヲ置クコトヲ得選任大臣ノ奏請ニ依リ内閣ニ於テ之ヲ命ズ

專門委員ハ會長ノ命ヲ承ケ專門ノ事項ヲ調査ス

技師 專任一人  
屬 專任九人  
技手 專任二人  
第三條ニ左ノ一號ヲ加フ  
十 臨時船舶管理ノ事務ニ從事スル者  
技師 專任二人  
書記 專任四人  
技手 專任四人  
附則 本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス  
（參照） 大正九年五月十日勅令第五百二十七號選任大臣臨時職員官制抄錄  
第一條 選任大臣ノ左ノ職員ヲ置ク  
（左記略ス）  
第二條 選任大臣ノ左ノ職員ヲ置ク  
（左記略ス）

御名 御璽

昭和十二年九月三十日

内閣總理大臣 公爵 近衛 文麿

選任大臣 永井柳太郎

第六條 委員會ニ幹事ヲ置ク選任大臣ノ奏請ニ依リ内閣ニ於テ之ヲ命ズ  
第七條 委員會ニ書記ヲ置ク選任大臣ノ奏命ズ  
書記ハ上司ノ指揮ヲ承ケ庶務ニ從事ス  
附則 本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

勅令第五百七十號

船舶管理委員會官制

第一條 船舶管理委員會ハ選任大臣ノ監督ニ屬シ臨時船舶管理法第十三條ノ規定ニ依リ其ノ權限ニ屬セシメタル事項ヲ調査審議ス

委員會ハ前項ノ外選任大臣ノ諮問ニ應ジ臨時船舶管理法ノ施行ニ關スル重要事項ヲ調査審議ス

委員會ハ臨時船舶管理法ノ施行ニ關スル事項ニ付選任大臣ニ建議スルコトヲ得

第二條 委員會ハ會長一人及委員三十五人以內ヲ以テ之ヲ組織ス

第三條 會長ハ選任大臣ヲ以テ之ニ充ツ委員ハ選任大臣ノ奏請ニ依リ左ニ掲グル者ノ中ヨリ内閣ニ於テ之ヲ命ズ

一 關係各處高等官

二 學識經驗アル者

第四條 會長ハ會務ヲ總理ス

會長事故アルトキハ會長ノ指名スル委員共ノ職務ヲ代理ス

第五條 委員會ニ專門委員ヲ置クコトヲ得選任大臣ノ奏請ニ依リ内閣ニ於テ之ヲ命ズ

專門委員ハ會長ノ命ヲ承ケ專門ノ事項ヲ調査ス

地方長官保險契約ノ申込ヲ承諾セザルトキハ其ノ旨ヲ保險契約申込者ニ通知スベシ

第三條 保險證書ハ左ノ事項並ニ記載及番號ヲ記載シ地方長官記名捺印スベシ

一 保險ノ目的ノ所在地番

二 保險ノ目的ノ樹種、本數、林齡及面積

三 保險金額

四 保險期間

五 保險料

六 被保險者ノ氏名又ハ名稱及住所並ニ

七 保險證書作成ノ年月日

第四條 左ノ各號ノ一ニ該當スル場合ニ於テハ保險契約者ハ保險證書ノ再交付ヲ請求スルコトヲ得

一 保險證書ヲ亡失シタルトキ

二 保險證書汚損シテ不判明トナリタルトキ

保險契約者前項ノ請求ヲ爲サントスルトキハ保險證書再交付請求書ヲ地方長官ニ提出スベシ前項第二號ニ該當スル場合ニ於テハ其ノ保險證書ヲ添付スベシ

第五條 前條第一項ノ請求アリタル場合ニ於テ地方長官再度保險證書ヲ交付シタルトキハ原保險證書ハ之ヲ無効トス

前條第一項第一號ニ該當スル場合ニ於テ原保險證書ヲ發見シタルトキハ過滞ナク之ヲ地方長官ニ提出スベシ

第六條 保險契約者保險期間満了後保險契約ヲ繼續セントスルトキハ保險契約繼續申込書ニ繼續スベキ保險期間ヲ記載シ記

●農林省令第四十四號  
森林火災國營保險法施行規則左ノ通定ム  
昭和十二年十月一日  
農林大臣 伯爵 有馬 頼寧  
森林火災國營保險法施行規則  
第一條 保險契約ノ申込ヲ爲サントスル者ハ保險契約申込書ニ左ノ事項ヲ記載シ記名捺印ノ上保險料ト共ニ保險ノ目的ノ所在地タル市町村ヲ經由シテ之ヲ地方長官ニ提出スベシ  
一 保險ノ目的ノ所在地番  
二 保險ノ目的ノ樹種、本數、林齡及面積  
三 保險ノ目的ノ見取圖  
四 保險金額  
五 保險期間  
六 保險料  
七 被保險者ノ氏名又ハ名稱及住所並ニ  
八 保險責任ノ始期ニ付特約ヲ爲サントスル場合ニ於テハ其ノ始期及特約ヲ必要トスル事由  
九 保險ノ目的ニ付現ニ存スル他ノ保險契約ニ關スル事由  
十 特別ノ危險ニ關スル事項  
保險ノ目的ノ所在地ガ二以上ノ市町村ニ涉ル場合ニ於テハ前項ノ規定ニ依リ保險契約申込書ヲ經由スベキ市町村ハ保險契約申込者ニ於テ之ヲ選擇スルコトヲ得  
第二條 地方長官保險契約ノ申込ヲ承諾シタルトキハ保險證書ヲ保險契約申込者ニ交付スベシ

地方長官保險契約ノ申込ヲ承諾セザルトキハ其ノ旨ヲ保險契約申込者ニ通知スベシ  
第三條 保險證書ハ左ノ事項並ニ記載及番號ヲ記載シ地方長官記名捺印スベシ  
一 保險ノ目的ノ所在地番  
二 保險ノ目的ノ樹種、本數、林齡及面積  
三 保險金額  
四 保險期間  
五 保險料  
六 被保險者及被保險者又ハ其ノ代表者ノ氏名又ハ名稱  
七 保險證書作成ノ年月日  
第四條 左ノ各號ノ一ニ該當スル場合ニ於テハ保險契約者ハ保險證書ノ再交付ヲ請求スルコトヲ得  
一 保險證書ヲ亡失シタルトキ  
二 保險證書汚損シテ不判明トナリタルトキ  
保險契約者前項ノ請求ヲ爲サントスルトキハ保險證書再交付請求書ヲ地方長官ニ提出スベシ前項第二號ニ該當スル場合ニ於テハ其ノ保險證書ヲ添付スベシ  
第五條 前條第一項ノ請求アリタル場合ニ於テ地方長官再度保險證書ヲ交付シタルトキハ原保險證書ハ之ヲ無効トス  
前條第一項第一號ニ該當スル場合ニ於テ原保險證書ヲ發見シタルトキハ過滞ナク之ヲ地方長官ニ提出スベシ  
第六條 保險契約者保險期間満了後保險契約ヲ繼續セントスルトキハ保險契約繼續申込書ニ繼續スベキ保險期間ヲ記載シ記

名捺印ノ上保險證書ヲ添付シ保險料ト共ニ保險期間満了迄ニ保險契約申込書ヲ受理シタル市町村ヲ經由シテ之ヲ地方長官ニ提出スベシ  
第七條 地方長官前條ノ規定ニ依リ申込ヲ承諾シタルトキハ保險證書ノ記載ヲ更正シ之ヲ返還スベシ  
第八條 同一ノ保險ノ目的ニ付保險契約者又ハ被保險者數人アル場合ニ於テ其ノ代表者ヲ選定シタルトキハ保險證書ヲ添付シ其ノ旨ヲ地方長官ニ届出ツベシ代表者ノ變更アリタルトキ亦同シ  
地方長官必要アリト認ムルトキハ保險契約者又ハ被保險者ニ對シ前項ノ代表者ヲ選定スベキコトヲ命ズルコトヲ得  
第九條 保險契約者若ハ被保險者又ハ其ノ代表者氏名又ハ名稱ヲ變更シタルトキハ保險證書ヲ添付シ其ノ旨ヲ地方長官ニ届出ツベシ  
第十條 第八條及前條第一項ノ規定ニ依リ届出アリタルトキハ地方長官ハ保險證書ノ記載ヲ更正シ之ヲ返還スベシ  
第十一條 保險ノ目的タル森林ノ林齡ハ造林ノ年ヨリ曆年ニ從ヒ之ヲ計算ス  
造林ノ年ヨリ異ニスル樹木混生スル森林ノ林齡ハ各樹木ニ付造林ノ年ヨリ曆年ニ從ヒ計算シタル樹齡ノ平均ニ依リ之ヲ計算ス

第十二條 保險料期間ハ一年トス  
第十三條 保險料率ヲ異ニスル樹種混生スル森林ノ保險料ハ各樹種ニ付計算シタル保險料ヲ合算シタルモノトス  
第十四條 一年ヲ超ユル保險期間ニ對スル保險料一時ニ拂込ムトキハ第二回以後ノ保險料期間ニ對スル保險料ハ農林大臣ノ定ムル率ニ依リ之ヲ割引計算ス  
第十五條 森林火災國營保險法第五條第一項但書ノ規定ニ依リ保險料ヲ分割シテ拂込ム場合ニ於テハ第二回以後ノ拂込ハ保險契約申込書ヲ受理シタル市町村ヲ經由シテ之ヲ爲スベシ  
第十六條 市町村保險料ヲ受取リタルトキハ保險料領收證ヲ拂込者ニ交付スベシ  
第十七條 保險契約ノ申込後森林火災國營保險法第九條第一項ノ規定ニ依リ申告スベキ事項ハ書面ヲ以テ之ヲ地方長官ニ申告スベシ  
第十八條 保險金額ノ標準ヲ異ニスル樹種混生スル森林ノ標準金額ハ各樹種ニ付計算シタル標準金額ヲ合算シタルモノトス  
第十九條 保險契約者又ハ被保險者保險ノ目的ニ付損害ノ生ジタルコトヲ知リタルトキハ過滞ナク書面ヲ以テ其ノ旨ヲ地方長官ニ通知スベシ  
第二十條 被保險者保險金額ノ支拂ヲ請求セントスルトキハ保險金額支拂請求書ニ保險證書ヲ添付シ之ヲ地方長官ニ提出スベシ  
第二十一條 地方長官保險ノ目的ノ一部ニ付保險金額ノ支拂ヲ爲シタルトキハ保險證書ニ其ノ旨ヲ記載シ之ヲ保險契約者ニ返還スベシ

第二十二條 地方長官保險金額ヲ支拂フベカラズト認メタルトキハ其ノ旨ヲ被保險者ニ通知スベシ

第二十三條 保險ノ目的ノ承継ニ因リ被保險者ガ變更シタルトキハ被保險者及其ノ承継者連署シ保險證書ヲ添附シテ其ノ旨ヲ地方長官ニ届出ツベシ他人ノ爲ニスル保險契約ノ場合ニ於テハ保險契約者モ亦連署スベシ

第二十四條 保險契約者森林火災國營保險法第二十五條ノ規定ニ於テ從フコトヲ定メタル商法第三百九十二條ノ規定ニ依リ保險金額及保險料ノ減額ヲ請求セントスルトキハ保險金額及保險料減額請求書ニ保險證書ヲ添附シテ地方長官ニ提出スベシ

第二十五條 前條ノ規定ニ依リ請求ニ因リ保險金額及保險料ノ減額アリタルトキハ地方長官ハ保險證書ノ記載ヲ更正シ殘存保險期間ニ對スル既收保險料ノ中減額シタル金額ト共ニ之ヲ保險契約者ニ返還スベシ

第二十六條 保險契約者森林火災國營保險法第二十五條ノ規定ニ於テ從フコトヲ定メタル商法第四百條ノ規定ニ依リ保險料ノ減額ヲ請求セントスルトキハ保險料減額請求書ニ保險證書ヲ添附シテ地方長官ニ提出スベシ

第二十七條 左ノ各號ノ一ニ該當スル場合ニ於テハ地方長官ハ森林火災國營保險法第十九條第一項ノ規定ニ依リ保險契約ノ解除ヲ爲スコトヲ得

第二十八條 森林火災國營保險法第十九條第二項ノ規定ニ依リ通知ハ増加シタル危險ノ内容ヲ記載シテ地方長官ニ爲スベシ

第二十九條 森林火災國營保險法第二十條但書第一項ニ該當スル場合ニ於テ返還スベキ保險料ハ左ノ標準ニ依ル

第三十條 保險契約者森林火災國營保險法第二十條但書ノ規定ニ依リ保險料ノ返還ヲ請求セントスルトキハ保險料返還請求書ヲ地方長官ニ提出スベシ

第三十一條 森林火災國營保險法第二十一條第一項ノ規定ニ依リ拂戻ス金額(無事戻金)ハ政府ノ負擔ニ歸スベキ損害ノ發生ナクシテ保險契約ガ存続シタル期間ニ對シ受取リタル保險料ノ十分ノ一トス

第三十二條 森林火災國營保險法第二十一條第一項ノ規定ニ該當スル場合ト雖モ森林火災國營保險法第十五條第一號又ハ第二號ニ該當スル損害ガ發生シタル場合ニ於テハ無事戻金ノ之ヲ支拂ハズ

第三十三條 保險期間満了前ニ保險契約續行申込ヲ爲シタル場合ニ於テ保險期間満了後保險契約續行ノ承諾アリタルトキハ無事戻金ノ支拂ニ付テハ保險契約ハ引續キ存続シタルモノト看做ス

第三十四條 保險契約者無事戻金ノ支拂ヲ請求セントスルトキハ無事戻金支拂請求書ヲ地方長官ニ提出スベシ

第三十五條 市町村ハ毎年四月五日迄ニ前年度中ニ受取リタル保險料ニ對スル市町村交付金請求書ヲ地方長官ニ提出スベシ

第三十六條 府縣有林ヲ目的トスル保險契約ニ關スル保險契約申込書及保險契約續行申込書ノ提出並ニ保險料ノ拂込ハ市町村ヲ經由スルコトヲ要セス

第三十七條 本則中町村トアルハ町村制ヲ施行セザル地ニ在リテハ之ニ準ズベキモノトス

附則 本令ハ森林火災國營保險法施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

●商工省令第二十二號 昭和三十二年十月一日

商工大臣 吉野 信次

商工大臣ハ本則ニ依リ金鑛業者又ハ金鑛業者ニ對シ探鑛又ハ選鑛場若ハ製鑛場ノ設置ニ付毎年年度豫算ノ範圍内ニ於テ獎勵金ヲ交付シ又ハ金鑛業者ニ對シ探鑛ノ爲メ鑛用機械器具ヲ貸與ス

第二條 探鑛獎勵金ノ額ハ坑道掘鑿ニ要シタル費用ノ半額以內ニシテ左ノ各號ノ一ニ該當スル金額ヲ限度トス

第一條 商工大臣ハ本則ニ依リ金鑛業者又ハ金鑛業者ニ對シ探鑛又ハ選鑛場若ハ製鑛場ノ設置ニ付毎年年度豫算ノ範圍内ニ於テ獎勵金ヲ交付シ又ハ金鑛業者ニ對シ探鑛ノ爲メ鑛用機械器具ヲ貸與ス

第三條 探鑛獎勵金ノ額ハ坑道掘鑿ニ要シタル費用ノ半額以內ニシテ左ノ各號ノ一ニ該當スル金額ヲ限度トス

第四條 探鑛獎勵金ノ交付ヲ受ケントスル者ハ本則第一號ニ依リ申請書ヲ商工大臣ニ提出スベシ

第五條 選鑛場又ハ製鑛場ノ設置ニ付獎勵金ノ交付ヲ受ケントスル者ハ本則第二號ニ依リ申請書ヲ商工大臣ニ提出スベシ

第六條 獎勵金交付ノ指令ヲ受ケタル者前二條ノ申請書ニ記載シタル事項ヲ變更セシムルトキハ本則第三號ニ依リ申請書ヲ商工大臣ニ提出スベシ

第七條 獎勵金交付ノ指令ヲ受ケタル者前二條ノ申請書ニ記載シタル事項ヲ變更セシムルトキハ本則第三號ニ依リ申請書ヲ商工大臣ニ提出スベシ

第八條 獎勵金交付ノ指令ヲ受ケタル者前二條ノ申請書ニ記載シタル事項ヲ變更セシムルトキハ本則第三號ニ依リ申請書ヲ商工大臣ニ提出スベシ

第九條 獎勵金交付ノ指令ヲ受ケタル者前二條ノ申請書ニ記載シタル事項ヲ變更セシムルトキハ本則第三號ニ依リ申請書ヲ商工大臣ニ提出スベシ

第十條 獎勵金交付ノ指令ヲ受ケタル者前二條ノ申請書ニ記載シタル事項ヲ變更セシムルトキハ本則第三號ニ依リ申請書ヲ商工大臣ニ提出スベシ

第十一條 獎勵金交付ノ指令ヲ受ケタル者前二條ノ申請書ニ記載シタル事項ヲ變更セシムルトキハ本則第三號ニ依リ申請書ヲ商工大臣ニ提出スベシ

第十二條 獎勵金交付ノ指令ヲ受ケタル者前二條ノ申請書ニ記載シタル事項ヲ變更セシムルトキハ本則第三號ニ依リ申請書ヲ商工大臣ニ提出スベシ

第十三條 獎勵金交付ノ指令ヲ受ケタル者前二條ノ申請書ニ記載シタル事項ヲ變更セシムルトキハ本則第三號ニ依リ申請書ヲ商工大臣ニ提出スベシ

第十四條 獎勵金交付ノ指令ヲ受ケタル者前二條ノ申請書ニ記載シタル事項ヲ變更セシムルトキハ本則第三號ニ依リ申請書ヲ商工大臣ニ提出スベシ

第十五條 獎勵金交付ノ指令ヲ受ケタル者前二條ノ申請書ニ記載シタル事項ヲ變更セシムルトキハ本則第三號ニ依リ申請書ヲ商工大臣ニ提出スベシ

第十六條 獎勵金交付ノ指令ヲ受ケタル者前二條ノ申請書ニ記載シタル事項ヲ變更セシムルトキハ本則第三號ニ依リ申請書ヲ商工大臣ニ提出スベシ

第十七條 獎勵金交付ノ指令ヲ受ケタル者前二條ノ申請書ニ記載シタル事項ヲ變更セシムルトキハ本則第三號ニ依リ申請書ヲ商工大臣ニ提出スベシ

第十八條 獎勵金交付ノ指令ヲ受ケタル者前二條ノ申請書ニ記載シタル事項ヲ變更セシムルトキハ本則第三號ニ依リ申請書ヲ商工大臣ニ提出スベシ

第十九條 獎勵金交付ノ指令ヲ受ケタル者前二條ノ申請書ニ記載シタル事項ヲ變更セシムルトキハ本則第三號ニ依リ申請書ヲ商工大臣ニ提出スベシ

第二十條 獎勵金交付ノ指令ヲ受ケタル者前二條ノ申請書ニ記載シタル事項ヲ變更セシムルトキハ本則第三號ニ依リ申請書ヲ商工大臣ニ提出スベシ

第二十一條 獎勵金交付ノ指令ヲ受ケタル者前二條ノ申請書ニ記載シタル事項ヲ變更セシムルトキハ本則第三號ニ依リ申請書ヲ商工大臣ニ提出スベシ

第二十二條 獎勵金交付ノ指令ヲ受ケタル者前二條ノ申請書ニ記載シタル事項ヲ變更セシムルトキハ本則第三號ニ依リ申請書ヲ商工大臣ニ提出スベシ

第二十三條 獎勵金交付ノ指令ヲ受ケタル者前二條ノ申請書ニ記載シタル事項ヲ變更セシムルトキハ本則第三號ニ依リ申請書ヲ商工大臣ニ提出スベシ

第二十四條 獎勵金交付ノ指令ヲ受ケタル者前二條ノ申請書ニ記載シタル事項ヲ變更セシムルトキハ本則第三號ニ依リ申請書ヲ商工大臣ニ提出スベシ

第二十五條 獎勵金交付ノ指令ヲ受ケタル者前二條ノ申請書ニ記載シタル事項ヲ變更セシムルトキハ本則第三號ニ依リ申請書ヲ商工大臣ニ提出スベシ

第二十六條 獎勵金交付ノ指令ヲ受ケタル者前二條ノ申請書ニ記載シタル事項ヲ變更セシムルトキハ本則第三號ニ依リ申請書ヲ商工大臣ニ提出スベシ

第二十七條 獎勵金交付ノ指令ヲ受ケタル者前二條ノ申請書ニ記載シタル事項ヲ變更セシムルトキハ本則第三號ニ依リ申請書ヲ商工大臣ニ提出スベシ

第二十八條 獎勵金交付ノ指令ヲ受ケタル者前二條ノ申請書ニ記載シタル事項ヲ變更セシムルトキハ本則第三號ニ依リ申請書ヲ商工大臣ニ提出スベシ

第二十九條 獎勵金交付ノ指令ヲ受ケタル者前二條ノ申請書ニ記載シタル事項ヲ變更セシムルトキハ本則第三號ニ依リ申請書ヲ商工大臣ニ提出スベシ

第三十條 獎勵金交付ノ指令ヲ受ケタル者前二條ノ申請書ニ記載シタル事項ヲ變更セシムルトキハ本則第三號ニ依リ申請書ヲ商工大臣ニ提出スベシ

第三十一條 獎勵金交付ノ指令ヲ受ケタル者前二條ノ申請書ニ記載シタル事項ヲ變更セシムルトキハ本則第三號ニ依リ申請書ヲ商工大臣ニ提出スベシ

第三十二條 獎勵金交付ノ指令ヲ受ケタル者前二條ノ申請書ニ記載シタル事項ヲ變更セシムルトキハ本則第三號ニ依リ申請書ヲ商工大臣ニ提出スベシ

第三十三條 獎勵金交付ノ指令ヲ受ケタル者前二條ノ申請書ニ記載シタル事項ヲ變更セシムルトキハ本則第三號ニ依リ申請書ヲ商工大臣ニ提出スベシ

第三十四條 獎勵金交付ノ指令ヲ受ケタル者前二條ノ申請書ニ記載シタル事項ヲ變更セシムルトキハ本則第三號ニ依リ申請書ヲ商工大臣ニ提出スベシ

第三十五條 獎勵金交付ノ指令ヲ受ケタル者前二條ノ申請書ニ記載シタル事項ヲ變更セシムルトキハ本則第三號ニ依リ申請書ヲ商工大臣ニ提出スベシ

第三十六條 獎勵金交付ノ指令ヲ受ケタル者前二條ノ申請書ニ記載シタル事項ヲ變更セシムルトキハ本則第三號ニ依リ申請書ヲ商工大臣ニ提出スベシ

第三十七條 獎勵金交付ノ指令ヲ受ケタル者前二條ノ申請書ニ記載シタル事項ヲ變更セシムルトキハ本則第三號ニ依リ申請書ヲ商工大臣ニ提出スベシ

第三十八條 獎勵金交付ノ指令ヲ受ケタル者前二條ノ申請書ニ記載シタル事項ヲ變更セシムルトキハ本則第三號ニ依リ申請書ヲ商工大臣ニ提出スベシ

第三十九條 獎勵金交付ノ指令ヲ受ケタル者前二條ノ申請書ニ記載シタル事項ヲ變更セシムルトキハ本則第三號ニ依リ申請書ヲ商工大臣ニ提出スベシ

第四十條 獎勵金交付ノ指令ヲ受ケタル者前二條ノ申請書ニ記載シタル事項ヲ變更セシムルトキハ本則第三號ニ依リ申請書ヲ商工大臣ニ提出スベシ

第四十一條 獎勵金交付ノ指令ヲ受ケタル者前二條ノ申請書ニ記載シタル事項ヲ變更セシムルトキハ本則第三號ニ依リ申請書ヲ商工大臣ニ提出スベシ

第四十二條 獎勵金交付ノ指令ヲ受ケタル者前二條ノ申請書ニ記載シタル事項ヲ變更セシムルトキハ本則第三號ニ依リ申請書ヲ商工大臣ニ提出スベシ

第四十三條 獎勵金交付ノ指令ヲ受ケタル者前二條ノ申請書ニ記載シタル事項ヲ變更セシムルトキハ本則第三號ニ依リ申請書ヲ商工大臣ニ提出スベシ

第四十四條 獎勵金交付ノ指令ヲ受ケタル者前二條ノ申請書ニ記載シタル事項ヲ變更セシムルトキハ本則第三號ニ依リ申請書ヲ商工大臣ニ提出スベシ

第四十五條 獎勵金交付ノ指令ヲ受ケタル者前二條ノ申請書ニ記載シタル事項ヲ變更セシムルトキハ本則第三號ニ依リ申請書ヲ商工大臣ニ提出スベシ

第四十六條 獎勵金交付ノ指令ヲ受ケタル者前二條ノ申請書ニ記載シタル事項ヲ變更セシムルトキハ本則第三號ニ依リ申請書ヲ商工大臣ニ提出スベシ

第四十七條 獎勵金交付ノ指令ヲ受ケタル者前二條ノ申請書ニ記載シタル事項ヲ變更セシムルトキハ本則第三號ニ依リ申請書ヲ商工大臣ニ提出スベシ

第四十八條 獎勵金交付ノ指令ヲ受ケタル者前二條ノ申請書ニ記載シタル事項ヲ變更セシムルトキハ本則第三號ニ依リ申請書ヲ商工大臣ニ提出スベシ

第四十九條 獎勵金交付ノ指令ヲ受ケタル者前二條ノ申請書ニ記載シタル事項ヲ變更セシムルトキハ本則第三號ニ依リ申請書ヲ商工大臣ニ提出スベシ

第五十條 獎勵金交付ノ指令ヲ受ケタル者前二條ノ申請書ニ記載シタル事項ヲ變更セシムルトキハ本則第三號ニ依リ申請書ヲ商工大臣ニ提出スベシ

第五十一條 獎勵金交付ノ指令ヲ受ケタル者前二條ノ申請書ニ記載シタル事項ヲ變更セシムルトキハ本則第三號ニ依リ申請書ヲ商工大臣ニ提出スベシ

第五十二條 獎勵金交付ノ指令ヲ受ケタル者前二條ノ申請書ニ記載シタル事項ヲ變更セシムルトキハ本則第三號ニ依リ申請書ヲ商工大臣ニ提出スベシ

第五十三條 獎勵金交付ノ指令ヲ受ケタル者前二條ノ申請書ニ記載シタル事項ヲ變更セシムルトキハ本則第三號ニ依リ申請書ヲ商工大臣ニ提出スベシ

探礦費計算書

Table with columns for various expenses: 煤業費, 監督費, 電力費, etc. Includes rows for '合計' and '備考'.

様式第二號

探礦場(製鍊場)設置獎勵金交付申請書. Includes fields for 探礦場所在地, 探礦者, 申請人氏名, 住所, 年月日, 備考.

五 土木工事業

土木工事業及建物建設工事ノ概要. Includes fields for 探礦場出產山ニ付左ニ掲グル事項, 沿革, 現狀, 地質鑛床ノ状態及見込, etc.

一 土木工事業

Table for 土木工事業 with columns for 地形費, 土石盛切取, 土留工事, etc. Includes rows for '合計' and '備考'.

四 附帯工事業

Table for 附帯工事業 with columns for 鐵管, シヤフティング, 掘進延長, etc. Includes rows for '合計' and '備考'.

様式第三號ノ一

探礦作業状況報告書

昭和 年 月 分

Table for 探礦作業状況報告書 with columns for 指令番地, 鑛區番地, 鑛山名, etc.

三 機械器具類設置費

Table for 機械器具類設置費 with columns for 費目, 数量, 單價, 金額, etc.

備考. 機械類ノ運搬費, 基礎工事費及据付費ハ機械ノ種類毎ニ記載シ難キ場合ニ於テハ一括シテ之ヲ記載スルコト



實 渡 原 簿

局 所	局 所	十月		十一月		十二月		局 所 合計	受持局所數	無三 郵取 電取	
		日	金額	日	金額	日	金額				
局 所	局 所	日	金額	日	金額	日	金額	日	金額	日	金額
		計	果	計	果	計	果				
見 合 印	回 數										
備 考											
合計											

附録様式第三號

(一) 日欄に買受請求書(無料通常為差振出月日)ノ請求月日ヲ記入スルモノトス  
 (二) 第一次歩合ニ依ル買受ヨリ第二次歩合ニ依ル買受ニ移ルトキハ第一次歩合ニ依ル買受額ノ小計ヲ付シ運分計算スルモノトス  
 (三) 金額及累計欄ハ定價割ニ依ル額ヲ記入スルモノトス

郵便切手類買受請求書 昭和 年 月 日

附録様式第三號

局長		切手類及印紙會計官吏 検査		切手類出納簿登記	
主任		主任		主任	
種 類	買受枚數	買受代金(分厘引)	種 類	買受枚數	買受代金(分厘引)
五厘切手			貳錢切手帖		
壹 錢			四錢切手帖		
.....			切手代計		
.....			貳錢葉書		
			拾 錢 同		
			四錢封紙葉書		
			四錢往復葉書		
			貳拾錢同		
			葉書代計		
			貳錢等形封皮		
			無印小形封紙		
			代金小計		
			返信切手券		
			代金小計		
			代金合計		
			買受月額		買受累計額
			第一次歩合ニ依ルモノ		
			第二次歩合ニ依ルモノ		
			備 考		

現品確受

郵便局長殿 住所  
 局長名(氏名)印  
 (賣 割 人)

備考 買受請求書ハ記念特別ニ發行スル切手及割引歩合ノ異ナルモノ毎ニ別紙トスルコト



附錄樣式第四號

現品確受

收入印紙買受請求書 昭和 年 月 日

局長			
切手類及印紙會計官吏			
檢査主任		收入印紙出納簿登記	
拂出命令書第 號		昭和 年 月 日要拂出	
種	類	買受枚數	買受代金(分厘引)
壹	錢		
貳	錢		
參	錢		
五	錢		
拾	錢		
貳拾	錢		
五拾	錢		
壹	圓		
五	圓		
拾	圓		
五拾	圓		
百	圓		
合	計		
備考			

郵便局長殿

住所

局長名(氏名)印 (實 割 人)

(參照)

大正十二年三月十號選信省令第四十一號郵便切手類及收入印紙買受規則抄録

第九條 郵便切手類及收入印紙ハ郵便電氣 電話官署ニ於テハ郵便電氣又ハ電話加入事務若ハ電話官署取扱時間中之方買受スルハ但シ時間ニ拘ラス取扱ヲ爲ス(キ郵便電氣又ハ電話ニ要スル郵便切手類ハ此ノ限ニ在ラス)

第十條 郵便切手類及收入印紙ハ郵便電氣 電話官署ニ於テハ郵便電氣又ハ電話加入事務若ハ電話官署取扱時間中之方買受スルハ但シ時間ニ拘ラス取扱ヲ爲ス(キ郵便電氣又ハ電話ニ要スル郵便切手類ハ此ノ限ニ在ラス)

第十一條 郵便切手類及收入印紙ハ郵便電氣 電話官署ニ於テハ郵便電氣又ハ電話加入事務若ハ電話官署取扱時間中之方買受スルハ但シ時間ニ拘ラス取扱ヲ爲ス(キ郵便電氣又ハ電話ニ要スル郵便切手類ハ此ノ限ニ在ラス)

第十二條 郵便切手類及收入印紙ハ郵便電氣 電話官署ニ於テハ郵便電氣又ハ電話加入事務若ハ電話官署取扱時間中之方買受スルハ但シ時間ニ拘ラス取扱ヲ爲ス(キ郵便電氣又ハ電話ニ要スル郵便切手類ハ此ノ限ニ在ラス)

(參照)

ヨリ買受ヲ爲ス買受人ニ對シテハ郵便切手類ハ千分ノ二十五收入印紙ハ千分ノ二十トス

第十三條 郵便切手類及收入印紙ハ郵便電氣 電話官署ニ於テハ郵便電氣又ハ電話加入事務若ハ電話官署取扱時間中之方買受スルハ但シ時間ニ拘ラス取扱ヲ爲ス(キ郵便電氣又ハ電話ニ要スル郵便切手類ハ此ノ限ニ在ラス)

第十四條 郵便切手類及收入印紙ハ郵便電氣 電話官署ニ於テハ郵便電氣又ハ電話加入事務若ハ電話官署取扱時間中之方買受スルハ但シ時間ニ拘ラス取扱ヲ爲ス(キ郵便電氣又ハ電話ニ要スル郵便切手類ハ此ノ限ニ在ラス)

第十五條 郵便切手類及收入印紙ハ郵便電氣 電話官署ニ於テハ郵便電氣又ハ電話加入事務若ハ電話官署取扱時間中之方買受スルハ但シ時間ニ拘ラス取扱ヲ爲ス(キ郵便電氣又ハ電話ニ要スル郵便切手類ハ此ノ限ニ在ラス)

第十六條 郵便切手類及收入印紙ハ郵便電氣 電話官署ニ於テハ郵便電氣又ハ電話加入事務若ハ電話官署取扱時間中之方買受スルハ但シ時間ニ拘ラス取扱ヲ爲ス(キ郵便電氣又ハ電話ニ要スル郵便切手類ハ此ノ限ニ在ラス)

別表中甲號表ヲ左ノ如ク改ム

等級	一級	二級	三級	四級	五級	六級
年額	八百四十圓	七百二十圓	六百圓	五百四十圓	四百八十圓	四百二十圓

選信省令第七十二號 明治三十六年三月選信省令第十四號中左ノ通改正ス 昭和十二年十月一日 選信大臣 永井柳太郎

電話規則 第一章 總則 第二章 加入者 第三章 加入申込及受理 第四章 電話番號 第五章 電話ノ設備及維持 第六章 特殊裝置 第七節 増設機械 第八節 接續電話 第九節 車上電話 第十節 特別市外通話裝置 第十一節 發信及著信專用裝置

第七節 電話料金 第一節 通則 第一款 加入料 第二款 電話使用料 第三款 附加使用料 第四款 電話線設備料 第五款 機械移轉料 第六款 名義變更料 第七款 電話番號簿揭載料 第八款 臨時電話ニ關スル料金 第九款 雜則

第一章 總則 第一條 電話ノ加入ハ左ノ二種トス 一 單獨加入 一加入ニ付一回線ヲ有スルモノ 二 共同加入 二加入共同シテ一回線ヲ有スルモノ

附錄様式第四號

現品確受

收入印紙買受請求書 昭和 年 月 日

局長		切手類及印紙會計官吏	
検査	主任	收入印紙出納簿登記	
拂出命令書第 號		昭和 年 月 日 要拂出	
種	類	買受枚数	買受代金(分厘別)
壹	錢		
貳	錢		
參	錢		
五	錢		
拾	錢		
貳拾	錢		
伍拾	錢		
壹圓			
五圓			
拾圓			
伍拾圓			
百圓			
合	計		
備考			

郵便局長 殿

住所

局長名(氏名)印  
(實 割 人)

(参照)

大正十二年三月十四日 逓信省令第四十二號 郵便切手類及収入印紙買受規則抄録

第九條 第一項及第三項  
郵便切手類及収入印紙ハ郵便、電信、電話、電報等ニ於テハ郵便局長又ハ電信加入事務若ハ電話掛帳取扱時間中ノカ賣切ラズモシ但シ時間ニ拘ラス取扱フ爲スヘキ郵便局長又ハ電話ニ要スル郵便切手類ハ此ノ限ニ在ラス

第十條 郵便局長ノ他ノ事由ニ依リ前項ノ賣切時間ヲ變更スル必要アルトキハ所轄郵便局長又ハ二二等郵便局長ノ承認ヲ受テヘシ  
第十一條 集配三郵便局長ハ其ノ賣切手類及収入印紙ヲ無償ニ郵政局長ニ提出スルコトヲ得  
第十二條 郵便局長ハ其ノ賣切手類及収入印紙ヲ其ノ地ノ集配三郵便局長ニ提出スルコトヲ得

第十三條 郵便局長ハ其ノ賣切手類及収入印紙ヲ其ノ地ノ集配三郵便局長ニ提出スルコトヲ得  
第十四條 郵便局長ハ其ノ賣切手類及収入印紙ヲ其ノ地ノ集配三郵便局長ニ提出スルコトヲ得  
第十五條 郵便局長ハ其ノ賣切手類及収入印紙ヲ其ノ地ノ集配三郵便局長ニ提出スルコトヲ得

(参照)

ヨリ買受ラズモ賣切手類ニ對シテハ郵便切手類ハ千分ノ二十五收印紙ハ千分ノ二十トス

第十六條 郵便局長ハ其ノ賣切手類及収入印紙ヲ其ノ地ノ集配三郵便局長ニ提出スルコトヲ得  
第十七條 郵便局長ハ其ノ賣切手類及収入印紙ヲ其ノ地ノ集配三郵便局長ニ提出スルコトヲ得  
第十八條 郵便局長ハ其ノ賣切手類及収入印紙ヲ其ノ地ノ集配三郵便局長ニ提出スルコトヲ得

第十九條 郵便局長ハ其ノ賣切手類及収入印紙ヲ其ノ地ノ集配三郵便局長ニ提出スルコトヲ得  
第二十條 郵便局長ハ其ノ賣切手類及収入印紙ヲ其ノ地ノ集配三郵便局長ニ提出スルコトヲ得  
第二十一條 郵便局長ハ其ノ賣切手類及収入印紙ヲ其ノ地ノ集配三郵便局長ニ提出スルコトヲ得

郵便局長ノ承認ヲ受テ郵便局長ニ郵便切手類又ハ収入印紙ノ買受ラズモ賣切手類ハ千分ノ二十五收印紙ハ千分ノ二十トス  
第二十一條 郵便局長ハ其ノ賣切手類及収入印紙ヲ其ノ地ノ集配三郵便局長ニ提出スルコトヲ得  
第二十二條 郵便局長ハ其ノ賣切手類及収入印紙ヲ其ノ地ノ集配三郵便局長ニ提出スルコトヲ得

等級	一級	二級	三級	四級	五級	六級
年額	八百四十圓	七百二十圓	六百圓	五百四十圓	四百八十圓	四百二十圓

附則  
本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス  
明治三十六年三月十四日 逓信省令第四十四號 其三等郵便局長ノ承認ヲ受テ郵便局長ニ郵便切手類又ハ収入印紙ヲ提出スルコトヲ得  
第一項 郵便局長ハ其ノ賣切手類及収入印紙ヲ其ノ地ノ集配三郵便局長ニ提出スルコトヲ得

逓信省令第七十三號  
昭和十二年十月一日  
逓信大臣 永井柳太郎  
第一項中「特ニ指定シタル三等郵便局長」ヲ「郵便物集配事務ヲ取扱フ三等郵便局長」ニ改ム

第七章 電話料金  
第一節 通則  
第一款 加入料  
第二款 電話使用料  
第三款 附加使用料  
第四款 電話線設備料  
第五款 機械移轉料  
第六款 名義變更料  
第七款 電話番號揭載料  
第八款 臨時電話ニ關スル料金  
第九款 料金納付  
第四節 料金免除及還付  
第八章 通話停止及加入除名  
第九章 雜則  
附則  
第一章 總則  
第一條 電話ノ加入ハ左ノ二種トス  
一 單獨加入 一 加入ニ付一回線ヲ有スルモノ  
二 共同加入 二 加入共同シテ一回線ヲ有スルモノ

第二條 共同加入ノ電話機設置場所ノ相手方ノ電話線路ヨリ直線距離二百二十メートル以内タルベシ但シ所轄通信局長ニ於テ特別ノ事由アリト認ムルトキハ此ノ限ニ在ラズ

第三條 加入者ハ加入種類ノ變更ノ請求ヲ爲スコトヲ得

第四條 電話加入區域ハ普通加入區域及特別加入區域ノ二種トシ當該電話官署ニ之ヲ公示ス

第五條 本令ニ依リ電話官署ニ對シテ爲ス請求ハ別ニ定ムル書式ニ依ルベシ

第六條 加入者ハ加入ニ付一人タルベシ社寺、學校、組合又ハ團體ニシテ法人ニ非ザルモノハ電話官署ニ於テ適當ト認ムルモノニ限リ其ノ名ニ於テ加入セシムルコトアルベシ

第七條 加入者其ノ加入ヲ他人ニ讓渡セシトスルトキハ當事者ノ連署シタル請求書

第八條 加入者ハ加入種類ノ變更ノ請求ヲ爲スコトヲ得

第九條 加入者ハ加入種類ノ變更ノ請求ヲ爲スコトヲ得

第十條 所轄通信局長ニ於テ必要アリト認ムルトキハ電話官署ヲ指定シ開通ノ日ヨリ起算シ一年間當該電話官署所屬加入ノ讓渡ヲ禁止スルコトアルベシ但シ已ムラ得ザル事由アリト認メラルル加入ノ讓渡ニ付テハ特ニ之ヲ許可スルコトアルベシ

第十一條 加入申込及臨時電話ノ加入ハ之ヲ讓渡スルコトヲ得ズ

第十二條 電話ノ加入ヲ爲サントスル者ハ加入毎ニ加入申込書ヲ當該電話官署ニ提出スベシ

第十三條 共同加入ノ申込ヲ爲サントスル者ハ相手方ヲ選定シ加入申込書ニ雙方連署スベシ

第十四條 加入申込ノ受理期間ハ別ニ之ヲ公示ス

第十五條 加入申込ヲ受理セラレタル者ハ選任大臣ニ於テ別ニ定ムル設備費ヲ納ムベシ

第十六條 加入者ハ加入種類ノ變更ノ請求ヲ爲スコトヲ得

第十七條 加入者ハ加入種類ノ變更ノ請求ヲ爲スコトヲ得

第十八條 加入者ハ加入種類ノ變更ノ請求ヲ爲スコトヲ得

第十九條 加入者ハ加入種類ノ變更ノ請求ヲ爲スコトヲ得

第二十條 加入者ハ加入種類ノ變更ノ請求ヲ爲スコトヲ得

第二十一條 加入者ハ加入種類ノ變更ノ請求ヲ爲スコトヲ得

第二十二條 加入者ハ加入種類ノ變更ノ請求ヲ爲スコトヲ得

第二十三條 加入者ハ加入種類ノ變更ノ請求ヲ爲スコトヲ得

第二十四條 加入者ハ加入種類ノ變更ノ請求ヲ爲スコトヲ得

第二十五條 加入者ハ加入種類ノ變更ノ請求ヲ爲スコトヲ得

第二十六條 加入者ハ加入種類ノ變更ノ請求ヲ爲スコトヲ得

第二十七條 加入者ハ加入種類ノ變更ノ請求ヲ爲スコトヲ得

第二十八條 加入者ハ加入種類ノ變更ノ請求ヲ爲スコトヲ得

第二十九條 加入者ハ加入種類ノ變更ノ請求ヲ爲スコトヲ得

第三十條 加入者ハ加入種類ノ變更ノ請求ヲ爲スコトヲ得

第三十一條 加入者ハ加入種類ノ變更ノ請求ヲ爲スコトヲ得

第三十二條 加入者ハ加入種類ノ變更ノ請求ヲ爲スコトヲ得

第三十三條 加入者ハ加入種類ノ變更ノ請求ヲ爲スコトヲ得

第三十四條 加入者ハ加入種類ノ變更ノ請求ヲ爲スコトヲ得

第三十五條 加入者ハ加入種類ノ變更ノ請求ヲ爲スコトヲ得

第三十六條 加入者ハ加入種類ノ變更ノ請求ヲ爲スコトヲ得

第三十七條 加入者ハ加入種類ノ變更ノ請求ヲ爲スコトヲ得

第三十八條 加入者ハ加入種類ノ變更ノ請求ヲ爲スコトヲ得

第三十九條 加入者ハ加入種類ノ變更ノ請求ヲ爲スコトヲ得

第四十條 加入者ハ加入種類ノ變更ノ請求ヲ爲スコトヲ得

第四十一條 加入者ハ加入種類ノ變更ノ請求ヲ爲スコトヲ得

第四十二條 加入者ハ加入種類ノ變更ノ請求ヲ爲スコトヲ得

第四十三條 加入者ハ加入種類ノ變更ノ請求ヲ爲スコトヲ得

第四十四條 加入者ハ加入種類ノ變更ノ請求ヲ爲スコトヲ得

第四十五條 加入者ハ加入種類ノ變更ノ請求ヲ爲スコトヲ得

第四十六條 加入者ハ加入種類ノ變更ノ請求ヲ爲スコトヲ得

第四十七條 加入者ハ加入種類ノ變更ノ請求ヲ爲スコトヲ得

第四十八條 加入者ハ加入種類ノ變更ノ請求ヲ爲スコトヲ得

第四十九條 加入者ハ加入種類ノ變更ノ請求ヲ爲スコトヲ得

第五十條 加入者ハ加入種類ノ變更ノ請求ヲ爲スコトヲ得

第二十八條 加入者ハ加入種類ノ變更ノ請求ヲ爲スコトヲ得

第二十九條 加入者ハ加入種類ノ變更ノ請求ヲ爲スコトヲ得

第三十條 加入者ハ加入種類ノ變更ノ請求ヲ爲スコトヲ得

第三十一條 加入者ハ加入種類ノ變更ノ請求ヲ爲スコトヲ得

第三十二條 加入者ハ加入種類ノ變更ノ請求ヲ爲スコトヲ得

第三十三條 加入者ハ加入種類ノ變更ノ請求ヲ爲スコトヲ得

第三十四條 加入者ハ加入種類ノ變更ノ請求ヲ爲スコトヲ得

第三十五條 加入者ハ加入種類ノ變更ノ請求ヲ爲スコトヲ得

第三十六條 加入者ハ加入種類ノ變更ノ請求ヲ爲スコトヲ得

第三十七條 加入者ハ加入種類ノ變更ノ請求ヲ爲スコトヲ得

第三十八條 加入者ハ加入種類ノ變更ノ請求ヲ爲スコトヲ得

第三十九條 加入者ハ加入種類ノ變更ノ請求ヲ爲スコトヲ得

第四十條 加入者ハ加入種類ノ變更ノ請求ヲ爲スコトヲ得

第四十一條 加入者ハ加入種類ノ變更ノ請求ヲ爲スコトヲ得

第四十二條 加入者ハ加入種類ノ變更ノ請求ヲ爲スコトヲ得

第四十三條 加入者ハ加入種類ノ變更ノ請求ヲ爲スコトヲ得

第四十四條 加入者ハ加入種類ノ變更ノ請求ヲ爲スコトヲ得

第四十五條 加入者ハ加入種類ノ變更ノ請求ヲ爲スコトヲ得

第四十六條 加入者ハ加入種類ノ變更ノ請求ヲ爲スコトヲ得

第四十七條 加入者ハ加入種類ノ變更ノ請求ヲ爲スコトヲ得

第四十八條 加入者ハ加入種類ノ變更ノ請求ヲ爲スコトヲ得

第四十九條 加入者ハ加入種類ノ變更ノ請求ヲ爲スコトヲ得

第五十條 加入者ハ加入種類ノ變更ノ請求ヲ爲スコトヲ得

第五十一條 加入者ハ加入種類ノ變更ノ請求ヲ爲スコトヲ得

第五十二條 加入者ハ加入種類ノ變更ノ請求ヲ爲スコトヲ得

第五十三條 加入者ハ加入種類ノ變更ノ請求ヲ爲スコトヲ得

第五十四條 加入者ハ加入種類ノ變更ノ請求ヲ爲スコトヲ得

第五十五條 加入者ハ加入種類ノ變更ノ請求ヲ爲スコトヲ得

第五十六條 加入者ハ加入種類ノ變更ノ請求ヲ爲スコトヲ得

第五十七條 加入者ハ加入種類ノ變更ノ請求ヲ爲スコトヲ得

第五十八條 加入者ハ加入種類ノ變更ノ請求ヲ爲スコトヲ得

第五十九條 加入者ハ加入種類ノ變更ノ請求ヲ爲スコトヲ得

第六十條 加入者ハ加入種類ノ變更ノ請求ヲ爲スコトヲ得

第六十一條 加入者ハ加入種類ノ變更ノ請求ヲ爲スコトヲ得

第六十二條 加入者ハ加入種類ノ變更ノ請求ヲ爲スコトヲ得

第六十三條 加入者ハ加入種類ノ變更ノ請求ヲ爲スコトヲ得

第六十四條 加入者ハ加入種類ノ變更ノ請求ヲ爲スコトヲ得

第六十五條 加入者ハ加入種類ノ變更ノ請求ヲ爲スコトヲ得

第六十六條 加入者ハ加入種類ノ變更ノ請求ヲ爲スコトヲ得

第六十七條 加入者ハ加入種類ノ變更ノ請求ヲ爲スコトヲ得

第六十八條 加入者ハ加入種類ノ變更ノ請求ヲ爲スコトヲ得

第六十九條 加入者ハ加入種類ノ變更ノ請求ヲ爲スコトヲ得

第七十條 加入者ハ加入種類ノ變更ノ請求ヲ爲スコトヲ得

第七十一條 加入者ハ加入種類ノ變更ノ請求ヲ爲スコトヲ得

第七十二條 加入者ハ加入種類ノ變更ノ請求ヲ爲スコトヲ得

第七十三條 加入者ハ加入種類ノ變更ノ請求ヲ爲スコトヲ得

第七十四條 加入者ハ加入種類ノ變更ノ請求ヲ爲スコトヲ得

第七十五條 加入者ハ加入種類ノ變更ノ請求ヲ爲スコトヲ得

第七十六條 加入者ハ加入種類ノ變更ノ請求ヲ爲スコトヲ得

第七十七條 加入者ハ加入種類ノ變更ノ請求ヲ爲スコトヲ得

第七十八條 加入者ハ加入種類ノ變更ノ請求ヲ爲スコトヲ得

第七十九條 加入者ハ加入種類ノ變更ノ請求ヲ爲スコトヲ得

第八十條 加入者ハ加入種類ノ變更ノ請求ヲ爲スコトヲ得

第八十一條 加入者ハ加入種類ノ變更ノ請求ヲ爲スコトヲ得

第八十二條 加入者ハ加入種類ノ變更ノ請求ヲ爲スコトヲ得

第八十三條 加入者ハ加入種類ノ變更ノ請求ヲ爲スコトヲ得

第八十四條 加入者ハ加入種類ノ變更ノ請求ヲ爲スコトヲ得

第八十五條 加入者ハ加入種類ノ變更ノ請求ヲ爲スコトヲ得

第八十六條 加入者ハ加入種類ノ變更ノ請求ヲ爲スコトヲ得

第八十七條 加入者ハ加入種類ノ變更ノ請求ヲ爲スコトヲ得

第八十八條 加入者ハ加入種類ノ變更ノ請求ヲ爲スコトヲ得

第八十九條 加入者ハ加入種類ノ變更ノ請求ヲ爲スコトヲ得

第九十條 加入者ハ加入種類ノ變更ノ請求ヲ爲スコトヲ得

第九十一條 加入者ハ加入種類ノ變更ノ請求ヲ爲スコトヲ得

第九十二條 加入者ハ加入種類ノ變更ノ請求ヲ爲スコトヲ得

第九十三條 加入者ハ加入種類ノ變更ノ請求ヲ爲スコトヲ得

第九十四條 加入者ハ加入種類ノ變更ノ請求ヲ爲スコトヲ得

第九十五條 加入者ハ加入種類ノ變更ノ請求ヲ爲スコトヲ得

第九十六條 加入者ハ加入種類ノ變更ノ請求ヲ爲スコトヲ得

第九十七條 加入者ハ加入種類ノ變更ノ請求ヲ爲スコトヲ得

第九十八條 加入者ハ加入種類ノ變更ノ請求ヲ爲スコトヲ得

第九十九條 加入者ハ加入種類ノ變更ノ請求ヲ爲スコトヲ得

第一百條 加入者ハ加入種類ノ變更ノ請求ヲ爲スコトヲ得

第一百零一條 加入者ハ加入種類ノ變更ノ請求ヲ爲スコトヲ得

第一百零二條 加入者ハ加入種類ノ變更ノ請求ヲ爲スコトヲ得

第一百零三條 加入者ハ加入種類ノ變更ノ請求ヲ爲スコトヲ得

第一百零四條 加入者ハ加入種類ノ變更ノ請求ヲ爲スコトヲ得

第一百零五條 加入者ハ加入種類ノ變更ノ請求ヲ爲スコトヲ得

第一百零六條 加入者ハ加入種類ノ變更ノ請求ヲ爲スコトヲ得

第一百零七條 加入者ハ加入種類ノ變更ノ請求ヲ爲スコトヲ得

第一百零八條 加入者ハ加入種類ノ變更ノ請求ヲ爲スコトヲ得

第一百零九條 加入者ハ加入種類ノ變更ノ請求ヲ爲スコトヲ得

第一百一十條 加入者ハ加入種類ノ變更ノ請求ヲ爲スコトヲ得

三級局	同	二萬以上
四級局	同	五千以上
五級局	同	二千以上
六級局	同	八百以上
七級局	同	四百以上
八級局	同	二百以上
九級局	同	百以上
十級局	同	五十以上
十一級局	同	二十五以上
十二級局	同	二十四以下

第二節 料金種別

第一款 加入料

第五十條 加入申込ヲ受理セラレタル者ハ左ノ加入料ヲ納ムベシ  
一級局 二級局 三級局 四級局 五級局 六級局 七級局以下  
二十圓 二十圓 十五圓 十三圓 十圓 十圓 五圓

第二款 電話使用料  
第五十一條 四級局以上ノ電話官署ニハ度數料金制ヲ施行シ其ノ他ノ電話官署ニハ均一料金制ヲ施行ス  
第五十二條 度數料金制ヲ施行スル電話官署ノ加入者ハ左ノ電話使用料ヲ納ムベシ  
一級局 二級局 三級局 四級局 五級局 六級局 七級局以下  
四十圓 三十五圓 三十圓 二十九圓 二十五圓 二十圓

第四十七條 加入區域ノ設定ナキ電話官署  
所屬ノ加入ノ電話料金ハ當該電話官署ヨリ關係電話線路千二百メートル迄ハ普通加入區域内ニ又三キロメートル迄ハ特別加入區域内ニ在ルモノトシテ之ヲ課ス  
第四十八條 通信大臣ニ於テ通信事務上必要ト認ムル加入ニ對シテハ料金ヲ課セズ  
第四十九條 第二十七條第一項但書ノ規定ニ依ル場合ハ該加入ニ對スル料金ハ之ヲ特定又ハ免除スルコトアルベシ

第三款 附加使用料

第五十七條 均一料金制ヲ施行スル電話官署ノ加入者ハ年額左ノ電話使用料ヲ納ムベシ  
五級局 六級局 七級局 八級局 九級局 十級局 十一級 十二級  
九圓 八圓 七圓 六圓 五圓 四圓 四圓 四圓 四圓 四圓 四圓

第五十八條 加入區域ノ設定ナキ電話官署ノ加入者ハ年額七圓ニ當該電話官署ノ普通加入區域内關係電話線路百メートル迄毎ニ二圓四十錢ヲ加算シタル電話使用料ヲ納ムベシ

第五十九條 左ノ各號ノ一ニ該當スル加入者ハ附加使用料ヲ納ムベシ  
一 普通加入區域外ニ在ルモノ  
二 増設機械ヲ使用スルモノ  
三 接續電話機ヲ使用スルモノ  
四 卓上電話機ヲ使用スルモノ  
五 特別市外通話裝置ヲ使用スルモノ  
第六十條 普通加入區域外加入ノ距離ニ依ル附加使用料ハ年額左ノ如シ  
一 八級局以上 特別加入 四圓  
二 九級局以下 特別加入 四圓  
三 特別市外通話裝置 特別加入 五圓  
四 卓上電話機 特別加入 五圓  
五 接續電話機 特別加入 五圓

第六十一條 第四條第二項ノ規定ニ依ル加入シテ電話機設置場所ガ他ノ電話官署ノ加入區域内ニ在ルモノニ對シテハ前條ノ料金ノ外ニ年額左ノ特別ノ附加使用料ヲ課ス  
一 八級局以上 電話使用料ト同額ノ料金  
二 九級局以下 共同加入 四十圓  
三 共同加入 三十圓

第六十二條 増設機械ノ附加使用料ハ一箇年額左ノ如シ  
一 電話機 十二圓  
二 電話器 四圓  
三 電鈴 四圓  
四 同ノ加入同額ニ接續スル甲種増設電話機方同一ノ専用ニ屬セザルトキハ前項ノ料金ノ外ニ増設電話機全部ニ對シ一箇年額左ノ加算ス  
乙種増設電話機ニシテ二箇ノ加入同額ニ共通ニ接續スルモノニ對シテハ第一項ノ料金ノ外ニ電話機一箇毎ニ六圓ヲ加算ス  
甲種増設電話機ノ附屬交換機ニ對スル附加使用料ハ所轄通信局長ニ於テ申請許可ノ都度別ニ之ヲ定ム

第六十三條 接續電話機、卓上電話機及特別市外通話裝置ノ附加使用料ハ一箇年額左ノ如シ  
一 接續電話機 八圓  
二 卓上電話機 十圓  
三 特別市外通話裝置 七圓

第六十四條 電話線設備料  
第四條ノ規定ニ依ル加入區域外加入ノ申込ヲ受理セラレタル者ハ該電話官署ノ普通加入區域外ニ於テ電話線路ノ變更ヲ要スル電話機ノ移動若ハ加入種類ノ變更其ノ他ノ請求ヲ爲ス加入者ハ左ノ電話線設備料ヲ納ムベシ但シ單ニ電話線路ヲ短縮スル場合ハ此ノ限ニ在ラズ  
當該電話官署ノ特別加入 十八圓  
普通加入 十八圓  
加入區域内 十八圓  
加入區域外 二十三圓

第五十三條 左ノ各號ノ一ニ該當スル通話ニ對シテハ度數料ヲ課セズ  
一 電話ノ障礙又ハ交換ノ取扱ニ關シテ指定シタル電話官署ノ加入電話ニ對シテ爲スモノ  
二 電話ノ障礙又ハ電話官署ノ過失ニ因リ通話ノ中途ニ於テ不能トナリタルモノ  
三 市外通話等ノ取扱ニ付別ニ定ムル所ニ依リ電話官署ニ於テ中斷シタルモノ  
四 同一共同加入ノ加入者相互間ノモノ  
第五十四條 時事ニ關スル事項ヲ掲載スル日刊新聞紙ヲ發行スル新聞社又ハ新聞通信社ノ持主ノ名義ニ屬スル加入ニシテ當

第五款 機械移轉料

第六十五條 電話機ノ移轉又ハ一時撤去ノ請求ヲ爲ス加入者ハ一箇毎ニ左ノ機械移轉料ヲ納ムベシ  
一 同一ノ邸宅若ハ構内ニ於ケル移轉又ハ一時撤去ノ場合  
八級局 九級局 以上 以下  
四圓 三圓 三圓 二圓

第六十六條 加入讓渡ノ承認ヲ受ケントスル加入者ハ左ノ名義變更料ヲ納ムベシ  
五級局 六級局 七級局以下  
四圓 四圓 三圓

第六十七條 電話番號簿掲載料ハ一會計年度毎ニ之ヲ課ス  
前項ノ料金ハ第九條ノ規定ニ依リ加入承認ノ場合ニハ之ヲ課セズ

第六十八條 臨時電話ニ關シテハ機械移轉料ヲ除クノ外本章前各條ノ規定ニ依ラズ左ノ料金ヲ課ス  
一 電話架設料  
四級局 以上 二十圓  
三級局 以上 十圓  
二級局 以上 十圓  
一級局 以上 十圓

第六十九條 加入料、設備費、電話線設備料及臨時電話ニ關スル料金ハ當該電話官署ノ指定スル期日迄ニ之ヲ納ムベシ

第六十七條 左ノ各號ノ場合ニ於ケル加入料及設備費ハ之ヲ免除ス但シ既納ニ係ルトキハ請求ニ依リ之ヲ還付ス  
一 第十七條又ハ第九十條ノ規定ニ依リ加入申込ノ受理ヲ取消シタルトキ  
二 加入申込者ニ於テ該加入申込ヲ取消シ又ハ第十八條ノ規定ニ依リ加入申込ノ受理ヲ取消シタルトキ但シ所轄通信局長ニ於テ特ニ已ムラザル事由アリト認メタルモノニ限ル

第七十八條 左ノ各號ノ場合ニ於ケル電話使用料及附加使用料ハ年額料金ノ日割ヲ以テ之ヲ免除ス但シ其ノ料金既納ニ係ルトキハ請求ニ依リ之ヲ還付ス  
一 第九十條ノ規定ニ依リ加入ヲ取消シタルトキ其ノ加入取消ノ翌日以後ニ係ルモノ  
二 第九十一條ノ規定ニ依リ共同加入ノ通話ヲ休止シタルトキ其ノ休止ノ翌日以後ニ係ルモノ  
三 加入者ノ責ニ歸スベカラザル事由ニ因リ電話不通三日以上ニ及リタルトキ其ノ不通期間ニ係ルモノ

第七十九條 第七十條各期ノ中途ニ於テ電話使用料又ハ附加使用料ニ異動ヲ生ジタルトキハ其ノ期分ノ過不足額ハ異動ノ日ヨリ起算シ年額料金ノ差額ヲ基トシ日割ヲ以テ算出シ超過額ノ請求ニ依リ之ヲ還付シ不足額ハ之ヲ徵收ス  
前項ノ規定ハ加入者ノ請求ニ依リ附加使用料方増加シ又ハ普通加入區域外加入ニ對スル附加使用料方減少若ハ消滅スベキ場合及第四十一條ノ規定ニ依リ附加使用料方減少又ハ消滅スベキ場合ニ之ヲ適用ス

第六款 名義變更料

第六十六條 加入讓渡ノ承認ヲ受ケントスル加入者ハ左ノ名義變更料ヲ納ムベシ  
五級局 六級局 七級局以下  
四圓 四圓 三圓

第六十七條 電話番號簿掲載料ハ一會計年度毎ニ之ヲ課ス  
前項ノ料金ハ第九條ノ規定ニ依リ加入承認ノ場合ニハ之ヲ課セズ

第六十八條 臨時電話ニ關シテハ機械移轉料ヲ除クノ外本章前各條ノ規定ニ依ラズ左ノ料金ヲ課ス  
一 電話架設料  
四級局 以上 二十圓  
三級局 以上 十圓  
二級局 以上 十圓  
一級局 以上 十圓

第六十九條 加入料、設備費、電話線設備料及臨時電話ニ關スル料金ハ當該電話官署ノ指定スル期日迄ニ之ヲ納ムベシ

第七十條 電話使用料及附加使用料ハ年額料金ノ四分ノ左ニ掲グル四期ノ別ニ從ヒ每一期分ヲ其ノ期ノ初末日迄ニ當該電話官署ニ納ムベシ但シ度數料金制ヲ施行スル電話官署ニ於ケル度數料及通話度數ニ依リ課スベキ附加使用料ハ每一期分ヲ其ノ次期ノ初末日迄ニ納ムベシ  
第一期 四月一日ヨリ六月三十日迄  
第二期 七月一日ヨリ九月三十日迄  
第三期 十月一日ヨリ十二月三十一日迄  
第四期 一月一日ヨリ三月三十一日迄

第七十一條 電話ノ開通方前條各期ノ中途ナル場合ハ其ノ初期ノ電話使用料及附加



●選信省令第七十九號  
市内専用電話規則中左ノ通改正ス  
昭和十二年十月一日  
選信大臣 永井柳太郎

●選信省令第七十八號  
選信大臣 永井柳太郎  
昭和十二年十月一日

●選信省令第七十七號  
選信大臣 永井柳太郎  
昭和十二年十月一日

●選信省令第七十六號  
選信大臣 永井柳太郎  
昭和十二年十月一日

●選信省令第七十五號  
選信大臣 永井柳太郎  
昭和十二年十月一日

●選信省令第七十四號  
選信大臣 永井柳太郎  
昭和十二年十月一日

●選信省令第七十三號  
選信大臣 永井柳太郎  
昭和十二年十月一日

●選信省令第七十二號  
選信大臣 永井柳太郎  
昭和十二年十月一日

●選信省令第七十一號  
選信大臣 永井柳太郎  
昭和十二年十月一日

入者ニ關スル規定ノ規則第二十八條ハ之ヲ本令ニ依ル申請者ニ準用ス  
附則  
本令ハ昭和十三年一月一日ヨリ之ヲ施行ス  
（參照）  
大正十五年四月選信省令第十三號抄錄  
第六條 電話規則第六十一條第一項第七十條第七十一條第七十二條第七十三條第七十四條第七十五條第七十六條第七十七條第七十八條第七十九條第八十條第八十一條第八十二條第八十三條第八十四條第八十五條第八十六條第八十七條第八十八條第八十九條第九十條第九十一條第九十二條第九十三條第九十四條第九十五條第九十六條第九十七條第九十八條第九十九條第一百條

選信大臣 永井柳太郎

●選信省令第七十九號  
市内専用電話規則中左ノ通改正ス  
昭和十二年十月一日  
選信大臣 永井柳太郎

三 機械維持料  
電話機（普通） 一箇毎二年額 十六圓  
電話機（卓上） 一箇毎二年額 十四圓  
増設受話器 一箇毎二年額 二圓  
増設電鈴 一箇毎二年額 二圓  
交換機 一箇毎二年額 三十圓  
回線維持料 一箇毎二年額 二圓  
一回線五百メートル迄年額 十五圓  
五 附加費用料  
第一條第一項 電話機一箇毎 三十六圓  
第二條第一項 電話機一箇毎 三十六圓

選信大臣 永井柳太郎

●選信省令第七十九號  
市内専用電話規則中左ノ通改正ス  
昭和十二年十月一日  
選信大臣 永井柳太郎

●選信省令第八十號  
鑛業特設電話規則中左ノ通改正ス  
昭和十二年十月一日  
選信大臣 永井柳太郎

選信大臣 永井柳太郎

●選信省令第八十一號  
選信大臣 永井柳太郎  
昭和十二年十月一日

●選信省令第八十二號  
選信省令第八十二號  
選信大臣 永井柳太郎  
昭和十二年十月一日

●選信省令第八十二號  
選信大臣 永井柳太郎  
昭和十二年十月一日

●選信省令第八十二號  
選信大臣 永井柳太郎  
昭和十二年十月一日

●選信省令第八十二號  
選信大臣 永井柳太郎  
昭和十二年十月一日

四 遺族給付

殉職金  
死亡金  
遺族扶助金

第十八條 給付ノ事由併發シタルトキハ各  
種ノ給付ヲ併給ス但シ既退一時金ト退職  
年金、公傷一時金ト公傷年金トハ之ヲ併  
給セズ

第十九條 給付額ハ特種金、既退一時金、退  
職年金及死亡金ニ在リテハ既退前一年間  
ニ於ケル掛金ノ標準トナリタル給料ノ平  
均額ニ依リテ算定シ其ノ他ノ給付ニ  
在リテハ給付ノ事由發生ノトキノ掛金ノ  
標準トナリタル給料額ニ依リテ算定ス  
但シ第三十七條第三項及第五十九條乃至  
第六十一條ノ場合ニ於テ組合既退又ハ資  
格喪失後ノ給付ニ付テハ既退又ハ資格喪  
失ノトキノ掛金ノ標準トナル給料額ニ依  
ル

第二十條 給付額算定ノ基本トナルベキ給  
料ハ日給者ニ在リテハ其ノ三十倍ヲ以テ  
一月分ノ額トシ月給者ニ在リテハ其ノ三十  
分ノ一ヲ以テ一日分ノ額トシ以下ニ之ニ  
トス

第二十一條 給付額算定ノ場合ニ於テ錢位  
未滿ノ端數ヲ生ジタルトキハ四捨五入ス  
但シ年金ニ在リテハ圓位未滿ハ之ヲ圓位  
ニ滿タシム

第二十三條 年金ハ月割ニ依リ二月、六月、  
九月及十二月ニ於テ各共ノ前月分迄ヲ支  
給ス但シ給付ヲ停止シ又ハ給付ノ事由消  
滅シタルトキハ當該月分迄ヲ期月ニ拘ラ  
ズ支給ス

第二十八條 組合員犯罪行為ニ因リ死亡シ  
タルトキハ懲戒處分ニ因リ解職セラレ  
タルトキハ給付ヲ爲サズ但シ既ニ拂込ミ  
タル掛金ニ相當スル額ニ付テハ此ノ限ニ  
在ラズ

第一 配偶者  
第二 直系卑屬  
第三 内縁ノ夫婦關係ニ在ル者  
第四 直系尊屬  
第五 兄弟姉妹  
第六 戸主  
第七 他家ニ在ル直系卑屬  
第八 他家ニ在ル直系尊屬  
第九 他家ニ在ル兄弟姉妹  
第十 扶養ヲ受ケタル者

甲 種

兩眼ヲ盲シ若ハ二肢以上ノ用ヲ失ヒ終  
身自用ヲ辨ズルコト能ハザルニ至リタ  
ルトキ又ハ之ニ準ズルトキ

給料七月分乃至九月分ニ相當スル額  
乙 種  
一 肢ノ用ヲ失ヒ自用ヲ辨ジ得ルモ終身  
業務ニ就クコト能ハザルニ至リタルト  
キ又ハ之ニ準ズルトキ

給料三月分乃至六月分ニ相當スル額  
第三十七條 公傷給付又ハ職務上ノ事由ニ  
因ル療養ノ給付ヲ受ケタル者其ノ給付ヲ  
受ケタル事由ニ起シ給付額ヲ増額スベ  
キ事由アルニ至リタル時ハ一時金ニ在リ  
テハ既ニ支給シタル給付額ト増額セラレ  
タル給付額トノ差額ヲ支給シ年金ニ在リ  
テハ其ノ事由アルニ至リタル月ノ翌月ヨ  
リ其ノ差額ニ付キ給付額ヲ増額シ之ヲ支  
給ス

前項ノ場合ニ於テ一時金ヲ年金ニ改定ス  
ルノ必要アルトキハ該年金額ハ既退ノ翌  
月ヨリ之ヲ積算シ該一時金ノ額ニ達スル  
迄其ノ支給ヲ停止ス

第三十八條 公傷年金ヲ受ケタル者ニシテ傷  
痍又ハ疾病ノ程度輕減シタルトキハ該年  
金ノ全部又ハ一部ノ給付ヲ爲サザルコト  
アルベシ

第三十九條 休養手当金ハ組合ニ加入後一  
年以上ヲ經過シタル者療養ノ爲引續キ七  
日以上勤務スルコト能ハザルトキ其ノ七  
日ヲ超ニタル日ヨリ一日ニ付給料日額ノ  
百分ノ六十ニ相當スル額ヲ支給ス

前項ノ給付ハ缺勤中給料ヲ受ケタル者ニハ  
之ヲ支給セズ但シ缺勤ノ爲給料ヲ減額支  
給セラレタル者ニ對シテハ其ノ給料額方

甲 種

前項ノ給付額ノ額ヨリ小ナルトキハ其ノ  
差額ヲ支給ス

前二項ノ給付ハ一事業年度ヲ通ジ九十日  
ヲ超ニテ之ヲ爲サズ

第四十條 特種金ハ組合ニ加入後一年以上  
ヲ經過シタル者結核性疾患又ハ癩ニ因リ  
退職シタルトキ左ノ區別ニ從ヒ之ヲ支給  
ス但シ公傷年金ヲ受ケタル場合ハ此ノ限ニ  
在ラズ

一 加入期間一年以上ノ者 給料三月分  
ニ相當スル額  
二 加入期間二年以上ノ者 給料四月分  
ニ相當スル額  
三 加入期間三年以上ノ者 給料五月分  
ニ相當スル額  
四 加入期間四年以上ノ者 前號ノ額ニ  
加入期間四年以上ヲ經過シタル年數一  
年毎ニ給料十五日分ニ相當スル額ヲ加  
算シ最高一年分ヲ以テ之ヲ止ム

第四十一條 既退一時金ハ組合員既退シタ  
ルトキ左ノ區別ニ從ヒ之ヲ支給ス

一 加入期間三年未滿ノ者 掛金總額ニ  
相當スル額  
二 加入期間三年以上ノ者 加入期間六  
月毎ニ給料十五日分ニ相當スル額  
前項第一號ノ掛金總額ハ乙種組合員ニ付  
テハ甲種組合員ノ掛金ト同率ノ額ニ依リ  
甲種特別組合員ニ付テハ給料月額ノ千分  
ノ十三ニ相當スル掛金ヲ除キ之ヲ算定ス

第四十二條 退職年金ハ組合ニ加入後二十  
年以上ヲ經過シタル者年給四十歳ヲ超ニタル者  
既退シタルトキ左ノ區別ニ從ヒ之ヲ支給ス  
一 加入期間二十年ノ者 給料ノ百百分  
ニ相當スル額  
二 加入期間二十年ヲ經過シタル者 前  
號ノ額ニ加入期間二十年ヲ經過シタル

甲 種

年數一年毎ニ給料四分ニ相當スル額  
ヲ加算シタル額

第四十三條 殉職金ハ組合員職務上傷痍ヲ  
受ケ又ハ疾病ニ罹リ死亡シタルトキ給料  
二年六月分乃至三年分ニ相當スル額ヲ遺  
族ニ支給ス

第四十四條 死亡金ハ組合員死亡シタルト  
キ左ノ區別ニ從ヒ遺族ニ之ヲ支給ス

一 加入期間一年未滿ノ者 給料三月分  
ニ相當スル額  
二 加入期間一年以上ノ者 前號ノ額ニ  
加入期間一年以上ヲ經過シタル年數一  
年毎ニ給料十五日分ニ相當スル額ヲ加  
算シタル額

第四十五條 遺族扶助金ハ公傷年金又ハ退  
職年金ヲ受ケタル者既退後公傷年金ニ在リ  
テハ五年以内、退職年金ニ在リテハ七年  
以内ニ死亡シタルトキ左ノ區別ニ從ヒ遺  
族ニ之ヲ支給ス

一 公傷年金  
年金五年分ニ相當スル額ヨリ既ニ支給  
シタル年金ノ額ヲ控除シタル殘額  
二 退職年金  
年金七年分ニ相當スル額ヨリ既ニ支給  
シタル年金ノ額ヲ控除シタル殘額

第六節 災害給付  
第四十六條 災害見舞金ハ組合員水火震災  
其ノ他非常ノ災害ニ罹リタルトキ給料二  
月分ニ相當スル額ヲ支給ス  
第五節 甲種特別組合員ニ關スル給  
付  
第四十七條 甲種特別組合員ニハ前章ニ依  
ル給付ノ外左ノ給付ヲ加フ

甲 種

第四十八條 療養ノ給付ハ甲種特別組合員  
傷痍ヲ受ケ又ハ疾病ニ罹リタルトキ左ノ  
範圍ニ於テ之ヲ爲ス

一 診察  
二 藥劑又ハ治療材料ノ支給  
三 處置、手術其ノ他ノ治療  
四 看護  
五 組合員ノ移送

前項ノ給付ハ同一ノ傷痍又ハ疾病及之ニ  
因リ發シタル疾病ニ付其ノ給付ヲ始メタ  
ル日ヨリ起算シ百八十日ヲ經過シタルト  
キハ之ヲ爲サズ但シ職務上ノ傷痍又ハ疾  
病ニ付テハ此ノ限ニ在ラズ

第一項第三號ノ給付ハ緊急ノ場合其ノ他  
組合必要アリト認ムル場合ヲ除クノ外之  
ニ要スル費用一回二十圓限リトス但シ職  
務上ノ傷痍又ハ疾病ニ付テハ此ノ限ニ在  
ラズ

第一項第四號及第五號ノ給付ハ組合必要  
アリト認ムル場合ニ於テ爲スモノニ限ル  
組合必要アリト認ムル場合ハ組合員ヲ病  
院ニ收容スルコトヲ得

第四十九條 前條第一項第一號乃至第三號  
ノ給付ニ付テハ甲種特別組合員ハ組合ノ  
指定シタル醫師以下ノ之ニ依リ 中自己ノ  
選定シタル者ニ就テ之ヲ受ケタルコトヲ得  
但シ前條第五項ノ規定ニ依リ病院ニ收容  
セラレタルトキハ此ノ限ニ在ラズ

甲種特別組合員前項ノ規定ニ依リ醫師ヲ  
選定シタルトキハ組合ノ承認アリタル場  
合ヲ除クノ外同一ノ傷痍又ハ疾病ノ療養  
ニ付テハ之ヲ變更スルコトヲ得ズ但シ組  
合ハ正當ノ事由アルニ在ラザレバ其ノ承  
認ヲ拒ムコトヲ得ズ  
第五十條 前條ニ規定スル醫師處方箋ヲ交  
付シタルトキハ甲種特別組合員ハ組合ノ  
指定シタル藥劑師中自己ノ選定シタル者  
ニ就キ藥劑ヲ受ケタルコトヲ得

第五十一條 甲種特別組合員第四十八條第二項ニ規定スル期間ヲ超エテ療養ヲ必要トスル場合ニ於テ療養ノ給付ニ要スル費用ノ償還ニ付擔保ヲ提供シ其ノ他確實ナル方法ヲ定メ本人又ハ第三者ヨリ申請スルトキハ組合ハ繼續シテ療養ノ給付ヲ爲スコトアルベシ

第五十二條 組合ハ左ノ場合ニ於テ療養ノ給付ニ代ヘ療養費ヲ支給ス

一 組合ニ於テ療養ノ給付ヲ爲スコト困難ナリト認めタルトキ

二 甲種特別組合員組合ノ承認ヲ受ケ其ノ指定セザル醫師ノ診療ヲ受ケタル場合ニ於テ其ノ組合員ノ請求アリタルトキ

三 甲種特別組合員緊急ノ場合ニ於テ組合ノ指定セザル醫師其ノ他ノ者ノ手當ヲ受ケタル場合ニ於テ其ノ組合員ノ請求アリタルトキ

第三十九條ノ規定ハ本條ノ給付ヲ受ケル者ニハ之ヲ適用セズ

第五十四條 病院ニ收容シタル甲種特別組合員ニ對シテハ左ノ區別ニ從ヒ傷病手当金ヲ支給ス

一 主トシテ甲種特別組合員ニ依リ生計ヲ維持スル者ナキ場合

給付日額ノ百分ノ二十

二 前號ニ掲グル者二人以内ナル場合

給付日額ノ百分ノ四十

三 第一號ニ掲グル者三人以上ナル場合

給付日額ノ百分ノ六十

第五十五條 分擔費ハ分擔前一年內ニ於テ九十日以上甲種特別組合員タリシ者分擔シタルトキ二十圓ヲ支給ス

組合必要アリト認めタル場合ハ前項ノ組合員ヲ産院ニ收容シ又ハ助産ノ手當ヲ爲スコトヲ得此ノ場合ニ於テ支給スベキ分擔費ノ額ハ十圓トス

第五十六條 出產手当金ハ分擔前一年內ニ於テ百八十日以上甲種特別組合員タリシ者分擔ノ日前二十八日分擔ノ日以後四十二日以内ニ於テ勤務ニ服セザリシ期間一日ニ付給料日額ノ百分ノ六十ニ相當スル額ヲ支給ス但シ分擔ノ日ガ其ノ豫定日ヨリ後レタルトキハ分擔ノ日前ノ期間ヲ七日以内延長スルコトヲ得

前項ノ組合員ヲ産院ニ收容シタルトキハ第五十四條ノ規定ヲ準用ス

第五十七條 規定ヲ準用ス

第五十八條 埋葬金ハ甲種特別組合員死亡シタルトキ埋葬ヲ行フ遺族ニ對シ其ノ甲種特別組合員ノ給料日額ノ三十日分ニ相當スル額ヲ支給ス但シ其ノ額ガ三十圓ニ滿タザルトキハ之ヲ三十圓トス

前項ノ遺族ナキ場合ニ於テハ埋葬ヲ行ヒタル者ニ對シ前項ノ額ノ範圍內ニ於テ其ノ埋葬ニ要シタル費用ニ相當スル額ヲ支給ス

第五十九條 甲種特別組合員其ノ資格ヲ喪失シタル日以後九十日以内ニ死亡シタルトキ又ハ前條ノ規定ニ依リ給付ヲ受ケタル者死亡シタルトキ若ハ前條ノ規定ニ依リ給付ヲ受ケタル者其ノ支給ヲ受ケザルニ至リタル日以後九十日以内ニ死亡シタルトキ埋葬ヲ行フ者ハ第五十八條ノ規定ニ準ジ埋葬金ノ支給ヲ受ケルコトヲ得

第六十一條 甲種特別組合員タリシ者其ノ資格ヲ喪失シタル日以後百八十日以内ニ分擔シタルトキハ分擔費及出產手当金ノ支給ヲ受ケルコトヲ得

第六十二條 第十四條第二號乃至第五號ノ場合ニ在リテハ甲種特別組合員又ハ甲種特別組合員タリシ者ニ對シ本章ノ給付ハ之ヲ爲サズ

他ノ法令ノ規定ニ依リ國又ハ公共團體ノ負擔ニ於テ病院、病舎又ハ療養所ニ收容セザレタル者ニ對シテハ療養ノ給付ヲ爲サズ

前項ニ掲グル者ニ付テハ第五十四條ノ規定ヲ準用ス

第六十三條 組合ハ正當ノ理由ナクシテ療養ニ關スル指揮ニ從ハザル者ニ對シ之ニ支給スベキ傷病手当金ノ一部ヲ支給セザルコトアルベシ

第六十四條 加入、既退、給付金額ノ決定其ノ他給付ニ關スル處分ニ付異議アル者ハ其ノ處分ノ通知ヲ受ケタル日ヨリ三十日以内ニ別ニ定ムル所ニ依リ選信大臣ニ申告シテ審査會ノ審査ヲ求ムルコトヲ得

第六十五條 審査會ハ議長一名委員十名ヲ以テ之ヲ組織ス

第六十六條 議長及委員ハ選信部内ノ高等官及學識經驗アル者ノ中ヨリ選信大臣ノヲ指定ス

第六十七條 議長ハ審査會ヲ召集シ議事ヲ整理ス

議長事故アルトキハ委員中ノ上席者之ヲ代理ス

第六十八條 審査會ニ幹事一名ヲ置キ選信部内高等官ノ中ヨリ選信大臣ノヲ指定ス

幹事ハ議長ノ指揮ヲ承ケ庶務ヲ整理ス

第六十九條 審査會ニ書記一名ヲ置キ選信部内判任官ノ中ヨリ選信大臣ノヲ命ズ

書記ハ議長及幹事ノ指揮ヲ承ケ庶務ニ從事ス

第七十條 審査會ハ委員半数以上出席シ出席員ノ過半数ヲ以テ決議ヲ爲ス可否同數ナルトキハ議長之ヲ決ス

第七十一條 審査會ハ第六十四條ノ審査請求及之ニ對スル證明ニ付審査ス

審査會ハ必要ト認めタル書類ヲ徵スルコトヲ得

第七十二條 審査ノ請求ガ成規ノ手續ニ違反シタルモノナルトキハ決議ヲ以テ之ヲ却下スベシ但シ審査請求手續ノ方式ニ欠缺アルモノハ審査會之ヲ補正セシムルコトヲ妨ゲズ

第七十三條 議長又ハ委員ハ自己ニ關スル審査ニ與ルコトヲ得ズ

第七十四條 審査會ノ決議ハ議長之ヲ選信大臣ニ具申シ且之ヲ選信次官及審査請求者ニ通知スベシ

第七十五條 選信大臣ハ審査會ノ決議ヲ不當ト認めタルトキハ再審査ヲ命ズ

第七十六條 審査會ノ決議ハ組合ヲ羈束ス

第七章 會計

第七十七條 本組合ノ事業年度ハ政府ノ會計年度ニ依ル

第七十八條 本組合ノ財産ハ郵便貯金若ハ銀行預金ニ預入シ又ハ之ヲ以テ國債券若ハ地方債券ヲ購入スルコトヲ得

前項ニ依ルモノノ外組合財産ノ管理方法ハ選信大臣ノ認可ヲ經ルコトヲ要ス

第七十九條 組合財産ノ管理ニ付テハ共濟組合財産管理委員ニ關シテハ別ニ之ヲ定ム

前項ノ審査ヲ經ベキ財産管理ノ範圍及共濟組合財産管理委員ニ關シテハ別ニ之ヲ定ム

第八十條 組合ハ毎事業年度ノ終ニ於テ既退一時金、公傷年金及退職年金ニ對シ責任準備金ヲ計算シ之ヲ積立ツルコトヲ要ス

第八十一條 組合ハ其ノ附屬事業トシテ組合員ノ保護救済ニ必要ナル施設ヲ爲スコトヲ得

附則

第八十二條 本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

第八十三條 大正九年十月省令第七號選信部内職員共濟組合規則ハ之ヲ廢止ス

第八十四條 大正九年十月省令第七號選信部内職員共濟組合規則ニ依ル組合及組合員ハ本令施行ト同時ニ本令ニ依ル組合及組合員トナル

組合員ノ加入期間ニ付テハ本令施行前後ノ期間ヲ通算ス

第八十五條 本令施行前ニ給付ノ事由發生シタルモノニ付テハ仍從前ノ規定ニ依ル

第八十六條 本令施行前ニ加入シタル者ノ既退一時金ハ左ノ區別ニ從ヒ算定シタル額ノ合算額トス但シ本令施行前後ヲ通ジ加入期間三年未滿ノ者ニ對シテハ第四十一條第一項第一號ノ規定ニ依ル額ヲ支給ス

一 本令施行前ノ分ニ付テハ仍從前ノ規定ニ依リ算定シタル既退給與金及勤積給與金ノ合算額ニ本令施行後ノ加入期間ノ區別ニ從ヒ別表第一號ノ給付乘率ヲ乘ジタル額

二 本令施行後ノ分ニ付テハ第四十一條第一項第二號ノ規定ニ依リ算定シタル額

第八十七條 大正九年十月三十一日以前ニ加入シタル者ノ既退年金ニ付テハ第四十二條ノ規定ニ依リ算定シタル額ヨリ既職前一年間ノ掛金ノ標準トナリタル給料平均額ノ二分ニ大正九年十月三十一日以前ノ加入年數ヲ乘ジタル額ヲ控除シタル額トス

第八十八條 本令施行ノ際從前ノ規定ニ依リ既職年金ヲ受ケタル者ノ本令施行後ニ於ケル年金額ハ本令ニ依リ算定シタル額トス

第八十九條 本令施行前ニ年金ノ一時支拂ヲ受ケタル者ノ本令施行後ノ前渡期間ニ對スル年金前渡額及其ノ割利率ハ本令ニ依ル

第九十條 三等郵便局所屬組合員ノ既退一時金ハ第四十一條ノ規定ニ拘ラズ當分ノ内左ノ區別ニ從ヒ之ヲ支給ス

一 加入期間三年未滿ノ者 掛金總額ニ相當スル額

二 加入期間三年以上ノ者 加入期間六月毎ノ掛金總額ニ加入期間ノ區別ニ從ヒ別表第二號ノ給付乘率ヲ乘ジタル額

第九十一條 本令施行前ニ加入シタル三等郵便局所屬組合員ノ既退一時金ハ左ノ區別ニ從ヒ算定シタル額ノ合算額トス但シ本令施行前後ヲ通ジ加入期間三年未滿ノ者ニ對シテハ前條第一號ノ規定ニ依ル額ヲ支給ス

一 本令施行前ノ分ニ付テハ第八十六條第一號ノ規定ニ依リ算定シタル額

二 本令施行後ノ分ニ付テハ前條第二號ノ規定ニ依リ算定シタル額

第九十二條 三等郵便局所屬組合員ノ退職年金ハ第四十二條ノ規定ニ拘ラズ當分ノ内仍從前ノ規定ニ依ル

第九十三條 大正九年十月三十一日以前ニ加入シタル三等郵便局所屬組合員ノ退職年金ハ前條ノ規定ニ依リ算定シタル額ヨリ平均給料年額ノ二分ノ一ニ大正九年十月三十一日以前ノ加入年數ヲ乘ジタル額ヲ控除シタル額トス

第九十四條 本令施行ニ關スル細則ハ別ニ之ヲ定ム

支給スベキ傷病手当金ノ一部ヲ支給セザルコトアルベシ

第六章 審査會

第六十四條 加入、既退、給付金額ノ決定其ノ他給付ニ關スル處分ニ付異議アル者ハ其ノ處分ノ通知ヲ受ケタル日ヨリ三十日以内ニ別ニ定ムル所ニ依リ選信大臣ニ申告シテ審査會ノ審査ヲ求ムルコトヲ得

第六十五條 審査會ハ議長一名委員十名ヲ以テ之ヲ組織ス

第六十六條 議長及委員ハ選信部内ノ高等官及學識經驗アル者ノ中ヨリ選信大臣ノヲ指定ス

第六十七條 議長ハ審査會ヲ召集シ議事ヲ整理ス

議長事故アルトキハ委員中ノ上席者之ヲ代理ス

第六十八條 審査會ニ幹事一名ヲ置キ選信部内高等官ノ中ヨリ選信大臣ノヲ指定ス

幹事ハ議長ノ指揮ヲ承ケ庶務ヲ整理ス

第六十九條 審査會ニ書記一名ヲ置キ選信部内判任官ノ中ヨリ選信大臣ノヲ命ズ

書記ハ議長及幹事ノ指揮ヲ承ケ庶務ニ從事ス

第七十條 審査會ハ委員半数以上出席シ出席員ノ過半数ヲ以テ決議ヲ爲ス可否同數ナルトキハ議長之ヲ決ス

第七十一條 審査會ハ第六十四條ノ審査請求及之ニ對スル證明ニ付審査ス

審査會ハ必要ト認めタル書類ヲ徵スルコトヲ得

第七十二條 審査ノ請求ガ成規ノ手續ニ違反シタルモノナルトキハ決議ヲ以テ之ヲ却下スベシ但シ審査請求手續ノ方式ニ欠缺アルモノハ審査會之ヲ補正セシムルコトヲ妨ゲズ

第七十三條 議長又ハ委員ハ自己ニ關スル審査ニ與ルコトヲ得ズ

第七十四條 審査會ノ決議ハ議長之ヲ選信大臣ニ具申シ且之ヲ選信次官及審査請求者ニ通知スベシ

第七十五條 選信大臣ハ審査會ノ決議ヲ不當ト認めタルトキハ再審査ヲ命ズ

第七十六條 審査會ノ決議ハ組合ヲ羈束ス

第七章 會計

第七十七條 本組合ノ事業年度ハ政府ノ會計年度ニ依ル

第七十八條 本組合ノ財産ハ郵便貯金若ハ銀行預金ニ預入シ又ハ之ヲ以テ國債券若ハ地方債券ヲ購入スルコトヲ得

前項ニ依ルモノノ外組合財産ノ管理方法ハ選信大臣ノ認可ヲ經ルコトヲ要ス

第七十九條 組合財産ノ管理ニ付テハ共濟組合財産管理委員ニ關シテハ別ニ之ヲ定ム

前項ノ審査ヲ經ベキ財産管理ノ範圍及共濟組合財産管理委員ニ關シテハ別ニ之ヲ定ム

第八十條 組合ハ毎事業年度ノ終ニ於テ既退一時金、公傷年金及退職年金ニ對シ責任準備金ヲ計算シ之ヲ積立ツルコトヲ要ス

第八十一條 組合ハ其ノ附屬事業トシテ組合員ノ保護救済ニ必要ナル施設ヲ爲スコトヲ得

附則

第八十二條 本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

第八十三條 大正九年十月省令第七號選信部内職員共濟組合規則ハ之ヲ廢止ス

第八十四條 大正九年十月省令第七號選信部内職員共濟組合規則ニ依ル組合及組合員ハ本令施行ト同時ニ本令ニ依ル組合及組合員トナル

組合員ノ加入期間ニ付テハ本令施行前後ノ期間ヲ通算ス

第八十五條 本令施行前ニ給付ノ事由發生シタルモノニ付テハ仍從前ノ規定ニ依ル

第八十六條 本令施行前ニ加入シタル者ノ既退一時金ハ左ノ區別ニ從ヒ算定シタル額ノ合算額トス但シ本令施行前後ヲ通ジ加入期間三年未滿ノ者ニ對シテハ第四十一條第一項第一號ノ規定ニ依ル額ヲ支給ス

一 本令施行前ノ分ニ付テハ仍從前ノ規定ニ依リ算定シタル既退給與金及勤積給與金ノ合算額ニ本令施行後ノ加入期間ノ區別ニ從ヒ別表第一號ノ給付乘率ヲ乘ジタル額

二 本令施行後ノ分ニ付テハ第四十一條第一項第二號ノ規定ニ依リ算定シタル額

第八十七條 大正九年十月三十一日以前ニ加入シタル者ノ既退年金ニ付テハ第四十二條ノ規定ニ依リ算定シタル額ヨリ既職前一年間ノ掛金ノ標準トナリタル給料平均額ノ二分ニ大正九年十月三十一日以前ノ加入年數ヲ乘ジタル額ヲ控除シタル額トス

第八十八條 本令施行ノ際從前ノ規定ニ依リ既職年金ヲ受ケタル者ノ本令施行後ニ於ケル年金額ハ本令ニ依リ算定シタル額トス

第八十九條 本令施行前ニ年金ノ一時支拂ヲ受ケタル者ノ本令施行後ノ前渡期間ニ對スル年金前渡額及其ノ割利率ハ本令ニ依ル

第九十條 三等郵便局所屬組合員ノ既退一時金ハ第四十一條ノ規定ニ拘ラズ當分ノ内左ノ區別ニ從ヒ之ヲ支給ス

一 加入期間三年未滿ノ者 掛金總額ニ相當スル額

二 加入期間三年以上ノ者 加入期間六月毎ノ掛金總額ニ加入期間ノ區別ニ從ヒ別表第二號ノ給付乘率ヲ乘ジタル額

第九十一條 本令施行前ニ加入シタル三等郵便局所屬組合員ノ既退一時金ハ左ノ區別ニ從ヒ算定シタル額ノ合算額トス但シ本令施行前後ヲ通ジ加入期間三年未滿ノ者ニ對シテハ前條第一號ノ規定ニ依ル額ヲ支給ス

一 本令施行前ノ分ニ付テハ第八十六條第一號ノ規定ニ依リ算定シタル額

二 本令施行後ノ分ニ付テハ前條第二號ノ規定ニ依リ算定シタル額

第九十二條 三等郵便局所屬組合員ノ退職年金ハ第四十二條ノ規定ニ拘ラズ當分ノ内仍從前ノ規定ニ依ル

第九十三條 大正九年十月三十一日以前ニ加入シタル三等郵便局所屬組合員ノ退職年金ハ前條ノ規定ニ依リ算定シタル額ヨリ平均給料年額ノ二分ノ一ニ大正九年十月三十一日以前ノ加入年數ヲ乘ジタル額ヲ控除シタル額トス

第九十四條 本令施行ニ關スル細則ハ別ニ之ヲ定ム

第一號表 加入期間別給付乘率表

加入期間	給付乘率	加入期間	給付乘率
一年未滿	一・〇二	十年以上	二・二三
一年以上	一・〇六	十一年以上	二・二七
二年以上	一・一〇	十二年以上	二・三二
三年以上	一・一五	十三年以上	二・三六
四年以上	一・二〇	十四年以上	二・四〇
五年以上	一・二五	十五年以上	二・四四
六年以上	一・三〇	十六年以上	二・四八
七年以上	一・三五	十七年以上	二・五二
八年以上	一・四〇	十八年以上	二・五六
九年以上	一・四五	十九年以上	二・六〇
十年以上	一・五〇	二十年以上	二・六四
十一年以上	一・五五	二十一年以上	二・六八
十二年以上	一・六〇	二十二年以上	二・七二
十三年以上	一・六五	二十三年以上	二・七六
十四年以上	一・七〇	二十四年以上	二・八〇
十五年以上	一・七五	二十五年以上	二・八四
十六年以上	一・八〇	二十六年以上	二・八八
十七年以上	一・八五	二十七年以上	二・九二
十八年以上	一・九〇	二十八年以上	二・九六
十九年以上	一・九五	二十九年以上	三・〇〇
二十年以上	一・〇〇	三十一年以上	三・〇四

備考

一 本表ノ給付乘率ハ從前ノ規定ニ依リ算定シタル既退給與金及勤積給與金ノ合算額ニ對シ

昭和十二年十月一日以後ノ加入期間ノ區別ニ從ヒ之ヲ乘ズルモノトス

二 加入期間三十年以上ノ給付乘率ハ二十九年ニ對スル給付乘率ニ一年ニ付一・〇四ヲ乘ジ算定スルモノトス但シ小数第三位ニ於テ四捨五入ス



第二號表 三等郵便局所屬組合員退一時金給付率表

Table with 4 columns: 加入期間 (加入期間), 給付率 (給付率), 加入期間 (加入期間), 給付率 (給付率). Rows show rates for various years from 1913 to 1922.

備考 加入期間三十年以上ノ給付率ハ六月毎ニ〇.〇三ヲ加フ

訓令

鐵道省訓令第一號 應 府 縣 昭和八年鐵道省訓令第一號中左ノ通知改正ス

内務省告示第五百七十八號 都市計畫法第一條ノ規定ニ依リ佐賀縣杵島郡武雄町ヲ指定ス

内務省告示第五百七十九號 都市計畫法第二條第一項ノ規定ニ依リ佐賀縣杵島郡武雄町ノ區域ヲ以テ武雄都市計畫區域トス

内務省告示第五百八十號 左ノ區域ニ市街地建築物法ヲ適用シ其ノ區域ヲ同法施行規則第四百九條ノ二ノ規定ニ依リ指定ス

大藏省告示第二百五十四號 若松市中川通八丁目地先埋立地所在合資會社田邊商店私設保稅工場ハ昭和十二年九月二十二日特許期限満了シタルニ因リ特許消滅セリ

陸軍省告示第三十九號 陸軍省告示第三十九號 陸軍省告示第三十九號

陸軍大臣 馬場 鐵一 陸軍省告示第五十七號 陸軍省告示第五十七號

達

陸軍省告示第五十七號 陸軍省告示第五十七號 陸軍省告示第五十七號

- List of names and locations: 昭和三十二年十月一日, 昭和三十二年十月一日, etc.

告示

外務省告示第八十二號 昭和三十二年十月一日在「ボローラント」國帝國公使館ヲ帝國大使館ニ昇格セリ

特別賜金ハ航空勤務者保護賜金令 若ハ潜水艇勤務者保護賜金令ニ依リ保護賜金大正二年勅令第九號 同年勅令第十號

陸軍省告示第五十七號 陸軍省告示第五十七號 陸軍省告示第五十七號

共ノ正當受給者タル證明ヲ受ケ直接臨時  
陸軍東京經理部ニ差出スベシ  
第十一條 特別賜金ハ臨時陸軍東京經理部  
ヨリ之ヲ本人ニ交付スルモノトス

第一書式(用紙美濃白紙)  
特別賜金願書  
第何師團何兵第何隊第何中隊(何々部附)  
故陸軍何兵何等兵(軍屬)(賜託員)(工員) 氏 名

右者何年何月何日何地ニ於テ職死(何々)ノ爲傷病ヲ受ケ(何病ニ罹リ)爲ニ何年何月何日何地何病  
院ニ於テ死亡(何々)致候間昭和十二年陸軍省告示第三十九號第一條ノ規定ニ依リ特別賜金賜與相成度  
證據書類相添此段願上候也

年 月 日  
本籍 何府(縣)何市(郡)町(村)番地  
現住地 何府(縣)何市(郡)町(村)番地  
故 名 妻(長男、父母……)

陸軍大臣宛  
第二書式(用紙美濃白紙)  
特別賜金願書  
第何師團何兵第何隊第何中隊(何々部附)  
故陸軍何兵何等兵(軍屬)(賜託員)(工員) 氏 名

右者何年何月何日何地ニ於テ職死(何々)ノ爲傷病ヲ受ケ(何病ニ罹リ)爲ニ何年何月何日何地何病  
院ニ於テ死亡(何々)致候間昭和十二年陸軍省告示第三十九號第一條ノ規定ニ依リ故氏名妻特別賜金賜  
與出願中ノ處何年何月何日死亡致候ニ付同告示第八條ノ規定ニ依リ特別賜金賜與相成度證據書類  
相添此段願上候也

年 月 日  
本籍 何府(縣)何市(郡)町(村)番地  
現住地 何府(縣)何市(郡)町(村)番地  
故 名 長男(父、母……)

陸軍大臣宛  
第三書式(用紙半紙野紙)  
身分證明書  
第何師團何兵第何隊第何中隊(何々部附)  
本籍 何府(縣)何市(郡)町(村)番地  
(元)第何師團何兵第何隊第何中隊(何々部附) 氏 名  
(元)第何師團何兵第何隊第何中隊(何々部附) 氏 名

一 最後ノ俸給(給料)金何圓也  
但シ内地給料ニ算定シタル額  
右證明候也  
年 月 日  
所屬部長 氏 名  
名 氏 氏 氏

別表ヲ左ノ如ク改ム

選信局工務出張所名稱、位置及管轄區域表

Table with columns: 名稱 (Name), 位置 (Location), 管轄區域 (Jurisdictional Area). Lists various post office branches and their respective areas across different prefectures and cities.

注意

最後ノ俸給(給料)額ハ左記ニ依リ記載ス  
ルモノトス  
軍屬賜託員及工員ニシテ日給ヲ受ケタル者  
ハ其ノ三十日分ヲ以テ月額トシ内地以外  
ニ於テ給料ヲ受ケタル者別ニ加算スハ之ニ  
相當スル給與ノ支給ヲ受ケザルトキハ其  
ノ受ケベキ給料額ヨリ加算相當額ヲ控除  
シタル金額ヲ以テ本表ノ給料トス

(参照)

明治二十三年三月七號法律第三十號ハ傳染病防疫法  
ニ從事スル者ノ手當金ニ關スル件大正二年四月二十  
勅令第九號ハ軍用ノ航空機ニ乘シ航空講習ニ從事ス  
ル者ニ一時賜金ヲ給與スルノ件同第十號ハ潜水艦  
勤務者ニ一時賜金ヲ給與スルノ件昭和二年四月勅  
令第五十七號ハ支那ニ於ケル帝國臣民ノ生命及財産  
ノ安寧ヲ保持スル爲メ其ノ屬地ニ於テ直接警備ニ關  
スル勤務ニ從事シ其ノ職務ニ因リ死亡シタル陸海軍  
軍人等ノ遺族ニ一時賜金給與ノ件同第六號令第百  
六十四號ハ化學兵器ニ關スル研究ノ爲メ其ノ試驗、製  
造検査及取扱ニ從事スル者ニ一時賜金ヲ給與スルノ  
件明治十九年七月十號勅令第二十三號ハ官吏公務ニ依  
リ傳染病防疫法ニ從事シ感傷死ハ死亡シテ手當金  
給與方ナリ

文部省告示第三百二十六號

小學校教科用圖書翻刻發行ニ關スル規程ニ  
依リ新ニ翻刻發行ヲ許可スル小學校教科用  
圖書中左ノ通定價ヲ定ム  
昭和十二年十月一日  
文部大臣 安井 英二

文部省告示第三百二十七號

東京府東京市牛込區ニ設置セル私立成城中  
學校ヲ昭和十二年九月ヨリ成城中學校ト改  
稱セリ  
昭和十二年十月一日  
文部大臣 安井 英二

文部省告示第三百二十八號

東京府東京市麹町區ニ設置セル私立曉星中  
學校ヲ昭和十二年九月ヨリ曉星中學校ト改  
稱セリ  
昭和十二年十月一日  
文部大臣 安井 英二

農林省告示第三百二十四號

森林火災國營保險法施行規則第十四條ノ規  
定ニ依ル保險料ノ割引計算ノ率左ノ通定ム  
昭和十二年十月一日  
農林大臣 伯爵 有馬 頼寧

農林省告示第三百二十四號

昭和十二年十月一日

商工省告示第六六號

度量衡法施行令第九條第一項第一號ノ規定  
ニ依リ檢定ヲ受ケタルコトヲ要セザル度量衡  
器ヲ左ノ通指定ス  
昭和十二年十月一日  
商工大臣 吉野 信次

選信省告示第三千七號

大正十二年三月選信省告示第四百八十九號中  
「郵便取扱所」ヲ削リ本日ヨリ之ヲ施行ス  
昭和十二年十月一日  
選信大臣 永井柳太郎

選信省告示第三千八號

昭和九年選信省告示第七百九十八號中左  
ノ通改正ス  
昭和十二年十月一日  
選信大臣 永井柳太郎

選信省告示第四百八十八號

本文中「選信局工務出張所」ヲ「選信局工  
務出張所」ニ改ム  
昭和十二年十月一日

Table with columns: 名稱 (Name), 位置 (Location), 管轄區域 (Jurisdictional Area). Lists various post office branches and their respective areas across different prefectures and cities.

Table of administrative appointments and dismissals, including names, ranks, and locations. Columns include names like 小倉, 大分, 佐賀, etc., and their respective positions.

Table of administrative appointments and dismissals, including names, ranks, and locations. Columns include names like 小倉, 大分, 佐賀, etc., and their respective positions.

叙任及辭令

Table of administrative appointments and dismissals, including names, ranks, and locations. Columns include names like 小島, 德永, 吉郎, etc., and their respective positions.

札轉運信局局長後工務出張所 國後郡泊村 千島國ノ内 國後郡 紗那郡 櫻井郡 櫻井郡

昭和九年三月三日 昭示第七百九十八號 運信局長工務出張所 國後郡 櫻井郡 櫻井郡

鐵道省告示第三百六十六號 大正八年九號鐵道院告示第六十七號 鐵道省委託小荷物取扱所規程第三條中澤上同ノ行ヲ左ノ通改正ス

昭和十二年十月一日 鐵道大臣 中島知久平 鐵道大臣 中島知久平

鐵道省告示第三百六十七號 甲種爆藥ニ對スル割引運賃左ノ通定ム

昭和十二年十月一日 鐵道大臣 中島知久平

鐵道省告示第三百六十八號 甲種爆藥ニ對スル割引運賃左ノ通定ム

昭和十二年十月一日 鐵道大臣 中島知久平

鐵道省告示第三百六十九號 甲種爆藥ニ對スル割引運賃左ノ通定ム

昭和十二年十月一日 鐵道大臣 中島知久平

鐵道省告示第三百七十號 甲種爆藥ニ對スル割引運賃左ノ通定ム

昭和十二年十月一日 鐵道大臣 中島知久平

鐵道省告示第三百七十一號 甲種爆藥ニ對スル割引運賃左ノ通定ム

昭和十二年十月一日 鐵道大臣 中島知久平

鐵道省告示第三百七十二號 甲種爆藥ニ對スル割引運賃左ノ通定ム

昭和十二年十月一日 鐵道大臣 中島知久平

鐵道省告示第三百七十三號 甲種爆藥ニ對スル割引運賃左ノ通定ム

昭和十二年十月一日 鐵道大臣 中島知久平

鐵道省告示第三百七十四號 甲種爆藥ニ對スル割引運賃左ノ通定ム

昭和十二年十月一日 鐵道大臣 中島知久平



Table of personnel for various departments including 內務技師, 社會局事務官, and others. Lists names like 町田保, 秋葉朝一郎, 宇佐美毅, etc.

Table of personnel for various departments including 朝鮮道立醫院醫官, 朝鮮總督府道署, and others. Lists names like 重松尙義, 山本義一郎, 岩男省三, etc.



朝鮮咸鏡南道公立普通學校校長 田村 清治	朝鮮咸鏡北道公立普通學校校長 水田 牛治	朝鮮咸鏡北道公立普通學校校長 清 傳吾	朝鮮咸鏡北道公立普通學校校長 大田保太郎	朝鮮咸鏡北道公立普通學校校長 山本菊太郎	朝鮮咸鏡北道公立普通學校校長 佐々木政一	朝鮮咸鏡北道公立普通學校校長 植田 政芳	朝鮮咸鏡北道公立普通學校校長 石田 但藤	朝鮮咸鏡北道公立普通學校校長 長澤 利作	朝鮮咸鏡北道公立普通學校校長 帆足 勇	朝鮮咸鏡北道公立普通學校校長 大久保 一	朝鮮咸鏡北道公立普通學校校長 徐 榮 鎬	朝鮮咸鏡北道公立普通學校校長 塚崎 清明	朝鮮咸鏡北道公立普通學校校長 邊 錫 潤	朝鮮咸鏡北道公立普通學校校長 金原辰五郎	朝鮮咸鏡北道公立普通學校校長 濱中 清一	朝鮮咸鏡北道公立普通學校校長 趙 重 核	朝鮮咸鏡北道公立普通學校校長 江藤 節男	朝鮮咸鏡北道公立普通學校校長 河本 卯一	朝鮮咸鏡北道公立普通學校校長 任 宜 準	朝鮮咸鏡北道公立普通學校校長 岩淵 秀雄	朝鮮咸鏡北道公立普通學校校長 山路 勝雄	朝鮮咸鏡北道公立普通學校校長 片岡 秀雄	朝鮮咸鏡北道公立普通學校校長 倉元熊次郎	朝鮮咸鏡北道公立普通學校校長 梶間 八郎	朝鮮咸鏡北道公立普通學校校長 服部 貞雄	朝鮮咸鏡北道公立普通學校校長 中島 新一	朝鮮咸鏡北道公立普通學校校長 益田 新一	朝鮮咸鏡北道公立普通學校校長 林 實治	朝鮮咸鏡北道公立普通學校校長 吉田 英人	朝鮮咸鏡北道公立普通學校校長 野口 鎮雄	朝鮮咸鏡北道公立普通學校校長 本石 一夫	朝鮮咸鏡北道公立普通學校校長 飯村七治郎	朝鮮咸鏡北道公立普通學校校長 金 鶴 桐	朝鮮咸鏡北道公立普通學校校長 長岡福太郎	朝鮮咸鏡北道公立普通學校校長 朴 龍 彦
朝鮮咸鏡南道公立普通學校校長 田村 清治	朝鮮咸鏡北道公立普通學校校長 水田 牛治	朝鮮咸鏡北道公立普通學校校長 清 傳吾	朝鮮咸鏡北道公立普通學校校長 大田保太郎	朝鮮咸鏡北道公立普通學校校長 山本菊太郎	朝鮮咸鏡北道公立普通學校校長 佐々木政一	朝鮮咸鏡北道公立普通學校校長 植田 政芳	朝鮮咸鏡北道公立普通學校校長 石田 但藤	朝鮮咸鏡北道公立普通學校校長 長澤 利作	朝鮮咸鏡北道公立普通學校校長 帆足 勇	朝鮮咸鏡北道公立普通學校校長 大久保 一	朝鮮咸鏡北道公立普通學校校長 徐 榮 鎬	朝鮮咸鏡北道公立普通學校校長 塚崎 清明	朝鮮咸鏡北道公立普通學校校長 邊 錫 潤	朝鮮咸鏡北道公立普通學校校長 金原辰五郎	朝鮮咸鏡北道公立普通學校校長 濱中 清一	朝鮮咸鏡北道公立普通學校校長 趙 重 核	朝鮮咸鏡北道公立普通學校校長 江藤 節男	朝鮮咸鏡北道公立普通學校校長 河本 卯一	朝鮮咸鏡北道公立普通學校校長 任 宜 準	朝鮮咸鏡北道公立普通學校校長 岩淵 秀雄	朝鮮咸鏡北道公立普通學校校長 山路 勝雄	朝鮮咸鏡北道公立普通學校校長 片岡 秀雄	朝鮮咸鏡北道公立普通學校校長 倉元熊次郎	朝鮮咸鏡北道公立普通學校校長 梶間 八郎	朝鮮咸鏡北道公立普通學校校長 服部 貞雄	朝鮮咸鏡北道公立普通學校校長 中島 新一	朝鮮咸鏡北道公立普通學校校長 益田 新一	朝鮮咸鏡北道公立普通學校校長 林 實治	朝鮮咸鏡北道公立普通學校校長 吉田 英人	朝鮮咸鏡北道公立普通學校校長 野口 鎮雄	朝鮮咸鏡北道公立普通學校校長 本石 一夫	朝鮮咸鏡北道公立普通學校校長 飯村七治郎	朝鮮咸鏡北道公立普通學校校長 金 鶴 桐	朝鮮咸鏡北道公立普通學校校長 長岡福太郎	朝鮮咸鏡北道公立普通學校校長 朴 龍 彦
朝鮮咸鏡南道公立普通學校校長 田村 清治	朝鮮咸鏡北道公立普通學校校長 水田 牛治	朝鮮咸鏡北道公立普通學校校長 清 傳吾	朝鮮咸鏡北道公立普通學校校長 大田保太郎	朝鮮咸鏡北道公立普通學校校長 山本菊太郎	朝鮮咸鏡北道公立普通學校校長 佐々木政一	朝鮮咸鏡北道公立普通學校校長 植田 政芳	朝鮮咸鏡北道公立普通學校校長 石田 但藤	朝鮮咸鏡北道公立普通學校校長 長澤 利作	朝鮮咸鏡北道公立普通學校校長 帆足 勇	朝鮮咸鏡北道公立普通學校校長 大久保 一	朝鮮咸鏡北道公立普通學校校長 徐 榮 鎬	朝鮮咸鏡北道公立普通學校校長 塚崎 清明	朝鮮咸鏡北道公立普通學校校長 邊 錫 潤	朝鮮咸鏡北道公立普通學校校長 金原辰五郎	朝鮮咸鏡北道公立普通學校校長 濱中 清一	朝鮮咸鏡北道公立普通學校校長 趙 重 核	朝鮮咸鏡北道公立普通學校校長 江藤 節男	朝鮮咸鏡北道公立普通學校校長 河本 卯一	朝鮮咸鏡北道公立普通學校校長 任 宜 準	朝鮮咸鏡北道公立普通學校校長 岩淵 秀雄	朝鮮咸鏡北道公立普通學校校長 山路 勝雄	朝鮮咸鏡北道公立普通學校校長 片岡 秀雄	朝鮮咸鏡北道公立普通學校校長 倉元熊次郎	朝鮮咸鏡北道公立普通學校校長 梶間 八郎	朝鮮咸鏡北道公立普通學校校長 服部 貞雄	朝鮮咸鏡北道公立普通學校校長 中島 新一	朝鮮咸鏡北道公立普通學校校長 益田 新一	朝鮮咸鏡北道公立普通學校校長 林 實治	朝鮮咸鏡北道公立普通學校校長 吉田 英人	朝鮮咸鏡北道公立普通學校校長 野口 鎮雄	朝鮮咸鏡北道公立普通學校校長 本石 一夫	朝鮮咸鏡北道公立普通學校校長 飯村七治郎	朝鮮咸鏡北道公立普通學校校長 金 鶴 桐	朝鮮咸鏡北道公立普通學校校長 長岡福太郎	朝鮮咸鏡北道公立普通學校校長 朴 龍 彦

大分縣南區 武藤市郎治	佐伯町 月本 小策	川野 雄一	都市計畫大分地方委員會委員 正雄	宮崎縣西諸郡真幸村助役 濱崎 正雄	都市計畫宮崎地方委員會幹事 命ス	道路技師兼土木技師 都留 哲雄	京都府道路技師兼京都府土木技師 命ス	防疫醫 蜂須賀重之	十一級俸下賜	官崎縣防疫醫ニ補ス(以上陸軍省)	陸軍中將 笠井平十郎	豫備役被仰付(陸軍省)	海軍教授 小林 賢藏	大谷 小助	生山 忠雄	齋藤 明親	服部 保	海軍法務官 樋口 芳包	海軍教授 早野 良平	金森 齊	鈴木 佳一	鈴木 只重	海軍法務官 仁禮 愛之	海軍技師 吉田憲太郎	池谷 増太	田邊 一雄	江角 金市	遠藤 進	西村 浩	小田 茂雄	吉岡 晉藏	海軍監獄長 吉岡 晉藏					
海軍教授 伊藤 庸雄	海軍技師 鈴木 爲文	水野壯太郎	佐野 重一	末松 茂	谷田部 二郎	小副川 要作	本村 由三	柴田 壽正	丹羽 賢次	但馬 平司	齋藤 芳男	兒島 綱彦	田中 豊	小泉藤治郎	海軍理事官 田中 豊	海軍監獄長 小泉藤治郎	海軍教授 前田 武雄	海軍技師 西 武雄	淡近 尠夫	中村 壽	海軍教授 辻 藤吉	海軍技師 林 邦雄	伊藤 重一	岡藤 一雄	片山連次郎	三品 博爾	古川 哲一	根岸 秀夫	山内 正男	田中 潤二	圓光寺 正	金子又三郎	伊東 憲士	溝部 浩	福地 敦	松倉 武雄	古賀 米作
海軍教授 伊藤 庸雄	海軍技師 鈴木 爲文	水野壯太郎	佐野 重一	末松 茂	谷田部 二郎	小副川 要作	本村 由三	柴田 壽正	丹羽 賢次	但馬 平司	齋藤 芳男	兒島 綱彦	田中 豊	小泉藤治郎	海軍理事官 田中 豊	海軍監獄長 小泉藤治郎	海軍教授 前田 武雄	海軍技師 西 武雄	淡近 尠夫	中村 壽	海軍教授 辻 藤吉	海軍技師 林 邦雄	伊藤 重一	岡藤 一雄	片山連次郎	三品 博爾	古川 哲一	根岸 秀夫	山内 正男	田中 潤二	圓光寺 正	金子又三郎	伊東 憲士	溝部 浩	福地 敦	松倉 武雄	古賀 米作

**廣島文理科大学助教授** 瀧野 一  
 滿洲國及中華民國へ出張ヲ免ス(註)文部省  
 六級俸下賜 文部省社會教育官不破 祐俊  
 教學局教育官石井 晶  
 四級俸下賜 小樽高等商業學校校長 吉米地英俊  
 佐賀高等學校校長 森岡善三郎  
 弘前高等學校校長 安齋 宏栄  
 賜二級俸 東京帝國大學教授 橋本 進吉  
 賜本俸七級俸 航空研究所事務官 水口 吉藏  
 四級俸下賜 京都帝國大學教授 野瀧 隆治  
 補京都帝國大學理學部長 松山 基範  
 職務俸金七百九拾八圓下賜 依願京都帝國大學理學部長ヲ免ス  
 正路倫之助  
 賜本俸二級俸 成瀬 清  
 賜本俸三級俸 宇野 傳三  
 賜本俸六級俸 櫻田 一郎  
 本俸九級俸下賜 京都帝國大學助教授 小牧 實繁  
 本俸五級俸下賜 同 松下 進  
 同 宮地傳三郎  
 同 木村和三郎  
 同 井上 吉之  
 同 藤 直幹  
 本俸八級俸下賜 東北帝國大學助教授 中澤 房吉  
 本俸六級俸下賜 同

**大阪帝國大學助教授** 小野 正敏  
 本俸九級俸下賜 名古屋醫科大學教授 吉川 伸  
 賜本俸三級俸 名古屋醫科大學助教授 山田和麻呂  
 本俸八級俸下賜 同 松岡 修吉  
 本俸九級俸下賜 福岡高等商業學校教授 吉松 武通  
 二級俸下賜 山口高等學校教授 西田 直  
 同 原田 純藏  
 四級俸下賜 宮崎高等農林學校教授 北尾淳一郎  
 六級俸下賜 弘前高等學校教授 水野 忠敏  
 九級俸下賜 松山高等學校教授 川端直太郎  
 十級俸下賜 廣島文理科大学學生主事 藤村 利常  
 二級俸下賜 佐賀高等學校教授 高橋 碧  
 四級俸下賜 姫路高等學校教授 小野田萬壽  
 六級俸下賜 師範學校校長 長谷川龜太郎  
 四級俸下賜 同 成田 千里  
 五級俸下賜 師範學校含監 小野 義吉  
 新潟縣高田師範學校含監ニ補ス 公立中學校校長ニ補ス 羽栗 賢孝  
 滋賀縣立水口中學校校長ニ補ス 公立中學校教諭 阿佐 美高  
 德島縣立池田中學校教諭ニ補ス 白川 大吉  
 香川縣立三豐中學校教諭ニ補ス 横山伊勢男  
 宮崎縣立宮崎中學校教諭ニ補ス

**鐵道局參事北** 敏  
 門司鐵道局經理部長ヲ命ス 鐵道局副參事 大槻 實  
 二級俸下賜 東京鐵道局經理部主計課長ヲ命ス(以上註)鐵道省  
 同 鈴木 留吉  
 同 中原 宇藏  
 同 平佐京太郎  
 五級俸下賜(以上註)同 菅野 宗吉  
 名古屋鐵道局靜岡運輸事務所長ヲ命ス 鐵道局技師 田代 透  
 東京鐵道局勤務ヲ命ス(以上註)同 樺太廳支廳長 堀 安次郎  
 二級俸下賜 樺太廳支廳長 堀 安次郎  
 同 樺太廳支廳長 堀 安次郎  
 同 樺太廳支廳長 堀 安次郎  
 同 樺太廳支廳長 堀 安次郎  
 同 樺太廳支廳長 堀 安次郎  
 同 樺太廳支廳長 堀 安次郎

**公立實業學校教諭** 栗飯原重三  
 昭和十二年八月十六日ヨリ年功加俸年額金貳百五拾貳圓下賜  
 同 石井清之助  
 昭和十二年八月十七日ヨリ年功加俸年額金百六拾八圓下賜(以上註)兵庫縣  
 公立實業學校校長 春田 光治  
 年功加俸年額金二百十六圓下賜(註)宮城縣  
 公立高等女學校教諭 西村千代子  
 年功加俸年額金九十六圓下賜(註)同  
 地方農林技師 石井 泰吉  
 十二級俸下賜(註)岩手縣  
 公立實業學校教諭 西村 信雄  
 八級俸下賜(註)同  
 年功加俸年額金百四拾四圓下賜(註)青森縣  
 七級俸下賜(註)同  
 年功加俸年額金百四拾四圓下賜(註)同

**宮廷錄事**  
 ●東宮還啓仰出 皇太子殿下へ明日二日神奈川縣葉山ヨリ還啓アラセラルヘキ旨仰出サレタリ御發着期左ノ如シ  
 午後一時五十分 葉山御用邸附屬邸御出門  
 二時五分 返子御發車  
 三時五分 東京御發車  
 ●御親電並答電 去月二十八日希臘國皇帝陛下ヨリ 天皇 皇后兩陛下へ同國皇太子殿下ノ結婚成約ヲ報セラル、御親電ヲ寄セラレ同二十九日 天皇 皇后兩陛下へ之ニ對シ御祝電ヲ御發送アラセラレタリ

**彙報**  
 ○官廳事項  
 ●稅關分課規程中改正 大藏省ニ於テ今般稅關分課規程申左ノ通改正シ今日ヨリ之ヲ施行ス  
 附則中「函館稅關」ヲ「名古屋稅關及函館稅關」ニ改ム  
 ●官吏族籍變更 北海道平民朝鮮總督府判事高島幸悅郎ハ昭和五年一月二十日其本籍ヲ東京府ニ變更セリ  
 ●兼任 朝鮮黃海道公立小學校校長(兼任)朝鮮公立小學校訓導長青木哲ハ本年八月三十一日朝鮮公立普通學校訓導ヲ兼任セリ  
 ●退官 朝鮮黃海道公立普通學校校長(兼任)朝鮮公立普通學校訓導長山崎一ハ本年八月三十一日願ニ依リ本官ヲ免セラレタリ  
 ○警務  
 ●在留禁止 在中華民國天津帝國總領事ハ左記ノ者ニ對シ明治二十九年法律第八十號清國及朝鮮國在留帝國臣民取締法第一條ニ依リ頭書ノ期間中中華民國在留禁止ノ命令ヲ發セリ(外務省)  
 昭和十二年八月十二日 當時中華民國北平東城崇文門大街九九號 無職  
 九日ヨリ 當時中華民國北平東城崇文門大街九九號 無職  
 八日ヨリ 當時中華民國北平東城崇文門大街九九號 無職  
 向フ三年 八日ヨリ 當時中華民國北平東城崇文門大街九九號 無職  
 向フ二年 八日ヨリ 當時中華民國北平東城崇文門大街九九號 無職  
 向フ一年 八日ヨリ 當時中華民國北平東城崇文門大街九九號 無職  
 八日ヨリ 當時中華民國北平東城崇文門大街九九號 無職  
 八日ヨリ 當時中華民國北平東城崇文門大街九九號 無職  
 八日ヨリ 當時中華民國北平東城崇文門大街九九號 無職



Table of weather forecasts for various locations, including temperature, wind direction, and precipitation. Locations listed include 石狩, 札幌, 旭川, 釧路, etc.

Table of weather observations for various locations, including temperature, wind direction, and precipitation. Locations listed include 石狩, 札幌, 旭川, 釧路, etc.

Table of weather forecasts for various locations, including temperature, wind direction, and precipitation. Locations listed include 石狩, 札幌, 旭川, 釧路, etc.

Table of weather observations for various locations, including temperature, wind direction, and precipitation. Locations listed include 石狩, 札幌, 旭川, 釧路, etc.

土地收用公告
左ノ事業ハ土地收用法ニ依リ土地ヲ收用スルコトヲ得ルモノト認定ス
起業者 滋賀縣知事
事業ノ種類 道路改築
起業地 滋賀縣神崎郡八日市町、建部村地内

昭和三十二年九月七日内務大臣ノ事業認定公告ニ係ル大阪府堺市起業事業改築ノ爲メ收用スヘキ所有權以外ノ權利ノ存スル土地ノ細目左ノ如シ
昭和三十二年十月一日 大阪府知事 池田 清



一取締役ノ氏名住所  
水谷 淳 大坂市住吉區 阪南町中三丁目十番地  
二番地  
丹羽太一郎 西宮市若松町三十四番地  
恩田繁太郎 兵庫縣武庫郡精進村 廣屋字岸の  
下五十五番地  
杉山 義夫 大阪府南河内郡 大草村大栗野十  
九番地  
溝口忠次郎 大坂市天王寺區上本町一丁目十  
番地  
村地久治郎 兵庫縣武庫郡精進村 廣屋字岸の  
千八百五十四番地  
溝口庄太郎 同所廣屋字西新田四百七十七番  
地  
會社ヲ代表スヘキ取締役 村地久治郎 溝口庄  
太郎

一監査役ノ氏名住所  
上田源三郎 兵庫縣武庫郡 御影町字城ノ前千  
四百四十番地  
竹村清次郎 同郡同村住吉村 字高林千八百  
七十六番地  
大谷 力 大阪府西區江戶堀通二丁目十  
七番地  
一增加資本總額 金五百五十萬圓  
一資本增加決議年月日 大正六年九月五日  
一各株持込額 金三十七萬圓五十五錢  
一當額高率株式會社變更  
昭和十二年五月四日商號ヲ左ノ如ク變更ス  
一商號 福上商事株式會社  
一目的 石炭ノ採掘及ヒ販賣運送業及ヒ運送取  
扱業倉庫業及ヒ金貸付有價證券ノ買賣右ニ  
限リ一切ノ業務ヲ行フ可ク要スルモノヲ  
附帶スルモノヲ除ク  
一同日公告方法ヲ本店店頭ニ揭示スト變更ス  
一同日本店ヲ福上郡若松市七丁目四百三十一番  
地ニ移轉ス  
一昭和三十二年四月三十日目的ヲ左ノ如ク變更ス  
目的 金貸付不動産管理及買賣保險代理木  
材ノ製材販賣燃料ノ製造販賣右ニ附帶スル  
一切ノ業務ヲ行フ可ク要スルモノヲ  
附帶スルモノヲ除ク  
一昭和三十二年四月三十日公告方法ヲ東京市ニ於  
テ發行スル中外商業新報ニ廣告ストコトニ依  
リ之ヲ爲スト變更ス  
一左者同日取締役ニ就任ス  
谷谷隆良 東京市澁谷區百人町三丁目三百三  
十九番地

一合資會社トキヤ商會清算終了  
一清算終了年月日 昭和十二年四月三十日  
一清算後久保正吉ハ昭和十二年四月十五日辭任  
シ左者同年四月三十日取締役ニ就任ス  
海津一男 東京市大森區北千束町五百六十一  
番地  
一監査役左者ハ同日重任ス  
淺川眞砂 東京市小石川區 小日向水道町百八  
番地  
小林廣治 同市同區小日向町一丁目三十四  
番地  
一沙彌運送事業株式會社變更  
一監査役左者ハ昭和十二年四月二十八日重任ス  
藤井謙一 東京市芝區新橋三丁目一番地  
平井義則 同所五丁目一番地  
一合資會社設立  
一商號 合資會社トキヤ商店  
一本店 東京市下谷區南町八十四番地  
一目的 業務機ヲオモ機器機械針及附属品製造  
販賣右ニ附帶スル一切ノ業務ヲ  
一設立年月日 昭和十二年五月四日  
一代表社員 折田治郎  
一社員ノ氏名住所及ヒ出資責任  
折田 無限 折田治郎 東京市下谷區 南町荷  
町八十四番地  
金千圓 有限 川河清次 同所  
金千圓 有限 西澤一 同市澁谷區 北清島  
三丁目十六番地  
金五百圓 同 折田くわ 同市下谷區 南町荷  
町八十四番地  
一株式會社設立  
一商號 三愛地所株式會社  
一本店 東京市町田區丸ノ内二丁目二番地  
一目的 不動産ノ所有買賣及ヒ賃借不動産ノ管  
理並ニ賃借ノ受託建物ノ設計賃借前各號ニ掲  
ケタル事業ヘノ投資前各號ニ掲ケタルモノノ  
附帶事業  
一設立年月日 昭和十二年五月七日  
一資本總額 金五百萬圓  
一各株持込額 金二十五萬圓  
一昭和三十二年四月三十日公告方法ヲ東京市ニ於  
テ發行スル中外商業新報ニ廣告ストコトニ依  
リ之ヲ爲スト變更ス  
一左者同日取締役ニ就任ス  
永原伸雄 東京市世田谷區玉川田園調布二丁  
目七百二番地  
赤星隆治 同市同區深澤町二丁目六百五十番  
地  
山室宗文 同市澁谷區向山町十番地

一合資會社トキヤ商會清算終了  
一清算終了年月日 昭和十二年四月三十日  
一清算後久保正吉ハ昭和十二年四月十五日辭任  
シ左者同年四月三十日取締役ニ就任ス  
海津一男 東京市大森區北千束町五百六十一  
番地  
一監査役左者ハ同日重任ス  
淺川眞砂 東京市小石川區 小日向水道町百八  
番地  
小林廣治 同市同區小日向町一丁目三十四  
番地  
一沙彌運送事業株式會社變更  
一監査役左者ハ昭和十二年四月二十八日重任ス  
藤井謙一 東京市芝區新橋三丁目一番地  
平井義則 同所五丁目一番地  
一合資會社設立  
一商號 合資會社トキヤ商店  
一本店 東京市下谷區南町八十四番地  
一目的 業務機ヲオモ機器機械針及附属品製造  
販賣右ニ附帶スル一切ノ業務ヲ  
一設立年月日 昭和十二年五月四日  
一代表社員 折田治郎  
一社員ノ氏名住所及ヒ出資責任  
折田 無限 折田治郎 東京市下谷區 南町荷  
町八十四番地  
金千圓 有限 川河清次 同所  
金千圓 有限 西澤一 同市澁谷區 北清島  
三丁目十六番地  
金五百圓 同 折田くわ 同市下谷區 南町荷  
町八十四番地  
一株式會社設立  
一商號 三愛地所株式會社  
一本店 東京市町田區丸ノ内二丁目二番地  
一目的 不動産ノ所有買賣及ヒ賃借不動産ノ管  
理並ニ賃借ノ受託建物ノ設計賃借前各號ニ掲  
ケタル事業ヘノ投資前各號ニ掲ケタルモノノ  
附帶事業  
一設立年月日 昭和十二年五月七日  
一資本總額 金五百萬圓  
一各株持込額 金二十五萬圓  
一昭和三十二年四月三十日公告方法ヲ東京市ニ於  
テ發行スル中外商業新報ニ廣告ストコトニ依  
リ之ヲ爲スト變更ス  
一左者同日取締役ニ就任ス  
永原伸雄 東京市世田谷區玉川田園調布二丁  
目七百二番地  
赤星隆治 同市同區深澤町二丁目六百五十番  
地  
山室宗文 同市澁谷區向山町十番地

一合資會社トキヤ商會清算終了  
一清算終了年月日 昭和十二年四月三十日  
一清算後久保正吉ハ昭和十二年四月十五日辭任  
シ左者同年四月三十日取締役ニ就任ス  
海津一男 東京市大森區北千束町五百六十一  
番地  
一監査役左者ハ同日重任ス  
淺川眞砂 東京市小石川區 小日向水道町百八  
番地  
小林廣治 同市同區小日向町一丁目三十四  
番地  
一沙彌運送事業株式會社變更  
一監査役左者ハ昭和十二年四月二十八日重任ス  
藤井謙一 東京市芝區新橋三丁目一番地  
平井義則 同所五丁目一番地  
一合資會社設立  
一商號 合資會社トキヤ商店  
一本店 東京市下谷區南町八十四番地  
一目的 業務機ヲオモ機器機械針及附属品製造  
販賣右ニ附帶スル一切ノ業務ヲ  
一設立年月日 昭和十二年五月四日  
一代表社員 折田治郎  
一社員ノ氏名住所及ヒ出資責任  
折田 無限 折田治郎 東京市下谷區 南町荷  
町八十四番地  
金千圓 有限 川河清次 同所  
金千圓 有限 西澤一 同市澁谷區 北清島  
三丁目十六番地  
金五百圓 同 折田くわ 同市下谷區 南町荷  
町八十四番地  
一株式會社設立  
一商號 三愛地所株式會社  
一本店 東京市町田區丸ノ内二丁目二番地  
一目的 不動産ノ所有買賣及ヒ賃借不動産ノ管  
理並ニ賃借ノ受託建物ノ設計賃借前各號ニ掲  
ケタル事業ヘノ投資前各號ニ掲ケタルモノノ  
附帶事業  
一設立年月日 昭和十二年五月七日  
一資本總額 金五百萬圓  
一各株持込額 金二十五萬圓  
一昭和三十二年四月三十日公告方法ヲ東京市ニ於  
テ發行スル中外商業新報ニ廣告ストコトニ依  
リ之ヲ爲スト變更ス  
一左者同日取締役ニ就任ス  
永原伸雄 東京市世田谷區玉川田園調布二丁  
目七百二番地  
赤星隆治 同市同區深澤町二丁目六百五十番  
地  
山室宗文 同市澁谷區向山町十番地

一合資會社トキヤ商會清算終了  
一清算終了年月日 昭和十二年四月三十日  
一清算後久保正吉ハ昭和十二年四月十五日辭任  
シ左者同年四月三十日取締役ニ就任ス  
海津一男 東京市大森區北千束町五百六十一  
番地  
一監査役左者ハ同日重任ス  
淺川眞砂 東京市小石川區 小日向水道町百八  
番地  
小林廣治 同市同區小日向町一丁目三十四  
番地  
一沙彌運送事業株式會社變更  
一監査役左者ハ昭和十二年四月二十八日重任ス  
藤井謙一 東京市芝區新橋三丁目一番地  
平井義則 同所五丁目一番地  
一合資會社設立  
一商號 合資會社トキヤ商店  
一本店 東京市下谷區南町八十四番地  
一目的 業務機ヲオモ機器機械針及附属品製造  
販賣右ニ附帶スル一切ノ業務ヲ  
一設立年月日 昭和十二年五月四日  
一代表社員 折田治郎  
一社員ノ氏名住所及ヒ出資責任  
折田 無限 折田治郎 東京市下谷區 南町荷  
町八十四番地  
金千圓 有限 川河清次 同所  
金千圓 有限 西澤一 同市澁谷區 北清島  
三丁目十六番地  
金五百圓 同 折田くわ 同市下谷區 南町荷  
町八十四番地  
一株式會社設立  
一商號 三愛地所株式會社  
一本店 東京市町田區丸ノ内二丁目二番地  
一目的 不動産ノ所有買賣及ヒ賃借不動産ノ管  
理並ニ賃借ノ受託建物ノ設計賃借前各號ニ掲  
ケタル事業ヘノ投資前各號ニ掲ケタルモノノ  
附帶事業  
一設立年月日 昭和十二年五月七日  
一資本總額 金五百萬圓  
一各株持込額 金二十五萬圓  
一昭和三十二年四月三十日公告方法ヲ東京市ニ於  
テ發行スル中外商業新報ニ廣告ストコトニ依  
リ之ヲ爲スト變更ス  
一左者同日取締役ニ就任ス  
永原伸雄 東京市世田谷區玉川田園調布二丁  
目七百二番地  
赤星隆治 同市同區深澤町二丁目六百五十番  
地  
山室宗文 同市澁谷區向山町十番地

一合資會社トキヤ商會清算終了  
一清算終了年月日 昭和十二年四月三十日  
一清算後久保正吉ハ昭和十二年四月十五日辭任  
シ左者同年四月三十日取締役ニ就任ス  
海津一男 東京市大森區北千束町五百六十一  
番地  
一監査役左者ハ同日重任ス  
淺川眞砂 東京市小石川區 小日向水道町百八  
番地  
小林廣治 同市同區小日向町一丁目三十四  
番地  
一沙彌運送事業株式會社變更  
一監査役左者ハ昭和十二年四月二十八日重任ス  
藤井謙一 東京市芝區新橋三丁目一番地  
平井義則 同所五丁目一番地  
一合資會社設立  
一商號 合資會社トキヤ商店  
一本店 東京市下谷區南町八十四番地  
一目的 業務機ヲオモ機器機械針及附属品製造  
販賣右ニ附帶スル一切ノ業務ヲ  
一設立年月日 昭和十二年五月四日  
一代表社員 折田治郎  
一社員ノ氏名住所及ヒ出資責任  
折田 無限 折田治郎 東京市下谷區 南町荷  
町八十四番地  
金千圓 有限 川河清次 同所  
金千圓 有限 西澤一 同市澁谷區 北清島  
三丁目十六番地  
金五百圓 同 折田くわ 同市下谷區 南町荷  
町八十四番地  
一株式會社設立  
一商號 三愛地所株式會社  
一本店 東京市町田區丸ノ内二丁目二番地  
一目的 不動産ノ所有買賣及ヒ賃借不動産ノ管  
理並ニ賃借ノ受託建物ノ設計賃借前各號ニ掲  
ケタル事業ヘノ投資前各號ニ掲ケタルモノノ  
附帶事業  
一設立年月日 昭和十二年五月七日  
一資本總額 金五百萬圓  
一各株持込額 金二十五萬圓  
一昭和三十二年四月三十日公告方法ヲ東京市ニ於  
テ發行スル中外商業新報ニ廣告ストコトニ依  
リ之ヲ爲スト變更ス  
一左者同日取締役ニ就任ス  
永原伸雄 東京市世田谷區玉川田園調布二丁  
目七百二番地  
赤星隆治 同市同區深澤町二丁目六百五十番  
地  
山室宗文 同市澁谷區向山町十番地

一合資會社トキヤ商會清算終了  
一清算終了年月日 昭和十二年四月三十日  
一清算後久保正吉ハ昭和十二年四月十五日辭任  
シ左者同年四月三十日取締役ニ就任ス  
海津一男 東京市大森區北千束町五百六十一  
番地  
一監査役左者ハ同日重任ス  
淺川眞砂 東京市小石川區 小日向水道町百八  
番地  
小林廣治 同市同區小日向町一丁目三十四  
番地  
一沙彌運送事業株式會社變更  
一監査役左者ハ昭和十二年四月二十八日重任ス  
藤井謙一 東京市芝區新橋三丁目一番地  
平井義則 同所五丁目一番地  
一合資會社設立  
一商號 合資會社トキヤ商店  
一本店 東京市下谷區南町八十四番地  
一目的 業務機ヲオモ機器機械針及附属品製造  
販賣右ニ附帶スル一切ノ業務ヲ  
一設立年月日 昭和十二年五月四日  
一代表社員 折田治郎  
一社員ノ氏名住所及ヒ出資責任  
折田 無限 折田治郎 東京市下谷區 南町荷  
町八十四番地  
金千圓 有限 川河清次 同所  
金千圓 有限 西澤一 同市澁谷區 北清島  
三丁目十六番地  
金五百圓 同 折田くわ 同市下谷區 南町荷  
町八十四番地  
一株式會社設立  
一商號 三愛地所株式會社  
一本店 東京市町田區丸ノ内二丁目二番地  
一目的 不動産ノ所有買賣及ヒ賃借不動産ノ管  
理並ニ賃借ノ受託建物ノ設計賃借前各號ニ掲  
ケタル事業ヘノ投資前各號ニ掲ケタルモノノ  
附帶事業  
一設立年月日 昭和十二年五月七日  
一資本總額 金五百萬圓  
一各株持込額 金二十五萬圓  
一昭和三十二年四月三十日公告方法ヲ東京市ニ於  
テ發行スル中外商業新報ニ廣告ストコトニ依  
リ之ヲ爲スト變更ス  
一左者同日取締役ニ就任ス  
永原伸雄 東京市世田谷區玉川田園調布二丁  
目七百二番地  
赤星隆治 同市同區深澤町二丁目六百五十番  
地  
山室宗文 同市澁谷區向山町十番地

一合資會社トキヤ商會清算終了  
一清算終了年月日 昭和十二年四月三十日  
一清算後久保正吉ハ昭和十二年四月十五日辭任  
シ左者同年四月三十日取締役ニ就任ス  
海津一男 東京市大森區北千束町五百六十一  
番地  
一監査役左者ハ同日重任ス  
淺川眞砂 東京市小石川區 小日向水道町百八  
番地  
小林廣治 同市同區小日向町一丁目三十四  
番地  
一沙彌運送事業株式會社變更  
一監査役左者ハ昭和十二年四月二十八日重任ス  
藤井謙一 東京市芝區新橋三丁目一番地  
平井義則 同所五丁目一番地  
一合資會社設立  
一商號 合資會社トキヤ商店  
一本店 東京市下谷區南町八十四番地  
一目的 業務機ヲオモ機器機械針及附属品製造  
販賣右ニ附帶スル一切ノ業務ヲ  
一設立年月日 昭和十二年五月四日  
一代表社員 折田治郎  
一社員ノ氏名住所及ヒ出資責任  
折田 無限 折田治郎 東京市下谷區 南町荷  
町八十四番地  
金千圓 有限 川河清次 同所  
金千圓 有限 西澤一 同市澁谷區 北清島  
三丁目十六番地  
金五百圓 同 折田くわ 同市下谷區 南町荷  
町八十四番地  
一株式會社設立  
一商號 三愛地所株式會社  
一本店 東京市町田區丸ノ内二丁目二番地  
一目的 不動産ノ所有買賣及ヒ賃借不動産ノ管  
理並ニ賃借ノ受託建物ノ設計賃借前各號ニ掲  
ケタル事業ヘノ投資前各號ニ掲ケタルモノノ  
附帶事業  
一設立年月日 昭和十二年五月七日  
一資本總額 金五百萬圓  
一各株持込額 金二十五萬圓  
一昭和三十二年四月三十日公告方法ヲ東京市ニ於  
テ發行スル中外商業新報ニ廣告ストコトニ依  
リ之ヲ爲スト變更ス  
一左者同日取締役ニ就任ス  
永原伸雄 東京市世田谷區玉川田園調布二丁  
目七百二番地  
赤星隆治 同市同區深澤町二丁目六百五十番  
地  
山室宗文 同市澁谷區向山町十番地







合資會社引地工所(移轉)
昭和十二年五月二十日本店ヲ長崎市浪ノ平町六
十番地ニ移轉ス

合資會社設立
一商店 合資會社九大洋飯店
一商店 佐世保市本島町六十一番地

合資會社引地工所(變更)
一商店 佐世保市下京町九十三番地

合資會社引地工所(變更)
一商店 佐世保市下京町九十三番地

合資會社引地工所(變更)
一商店 佐世保市下京町九十三番地

合資會社引地工所(變更)
一商店 佐世保市下京町九十三番地

工業組合登記

名古屋輸出毛織工業組合變更
理事本又次郎ハ昭和十二年五月十八日辭任ス

名古屋輸出毛織工業組合變更
理事本又次郎ハ昭和十二年五月十八日辭任ス

名古屋輸出毛織工業組合變更
理事本又次郎ハ昭和十二年五月十八日辭任ス

合資會社引地工所(變更)
一商店 佐世保市下京町九十三番地

合資會社引地工所(變更)
一商店 佐世保市下京町九十三番地

合資會社引地工所(變更)
一商店 佐世保市下京町九十三番地

產業組合登記

日本自轉車輸出組合變更(從タル事務所)
理事赤井久義ハ昭和十二年五月十七日辭任ス

日本自轉車輸出組合變更(從タル事務所)
理事赤井久義ハ昭和十二年五月十七日辭任ス

日本自轉車輸出組合變更(從タル事務所)
理事赤井久義ハ昭和十二年五月十七日辭任ス

合資會社引地工所(變更)
一商店 佐世保市下京町九十三番地

合資會社引地工所(變更)
一商店 佐世保市下京町九十三番地

合資會社引地工所(變更)
一商店 佐世保市下京町九十三番地

有限責任信用購買組合變更

有限責任信用購買組合變更
理事本又次郎ハ昭和十二年五月十八日辭任ス

有限責任信用購買組合變更
理事本又次郎ハ昭和十二年五月十八日辭任ス

有限責任信用購買組合變更
理事本又次郎ハ昭和十二年五月十八日辭任ス

公示催告

昭和十二年九月九日 東京裁判所 判事 仁井田秀穂
右法律上代理人代表社員 岡部 貞助
別紙表示ノ小切手ニ付前記申立人ヨリ公示催告

YOKOHAMA MADE IN USA INTENSO
YOKOHAMA MADE IN USA EXCELLO
一陸揚港 日本横濱
一船名 日本丸

別紙目録記載ノ證券ニ付申立人ヨリ公示催告
申立人 株式会社トナリヤ
右代表者取締役 ユー、ブルジョ

昭和十二年九月六日 横濱裁判所 判事 中西辰
(別紙)
一證券 船荷證券番號五一
一船積港 亞米利加合衆國ルイジアナ州ニユー、

YOKOHAMA MADE IN USA INTENSO
YOKOHAMA MADE IN USA EXCELLO
一運送品ノ重量 一一〇〇三五五封度
一運送品ノ容積 七二二八立方呎

旅行死亡人

本籍住所氏名不詳 推定年齢二十五六歳
身長五尺三寸 細面 髪五分 刺青アリ

本籍住所氏名不詳 推定年齢二十七八歳位
本籍商人風 身長五尺二寸 中肉色 髪五分

本籍住所氏名不詳 推定年齢五十五歳前後
男 身長五尺二寸 位 髪五分 刺青アリ

本籍住所氏名不詳 推定年齢五十五歳前後
男 身長五尺二寸 位 髪五分 刺青アリ

朝鮮銀行券發行週報

昭和十二年九月十九日 朝鮮銀行券發行平均高
自昭和十二年九月三日止 朝鮮銀行券發行平均高

去月二十日廣告ニ別刷商業登記ノ項中東京裁判所ノ部四六頁四段八行「東京商工」ハ「東洋商工」ニ誤

外國郵便物東京中央郵便局
通 常 小包 郵便
普通 雷 雷 小包 郵便

第拾八回割増金附割引勸業債券賣出公告

第一、發行券面額貳千萬元此ノ割引賣出價格壹千萬元ニシテ之ヲ債券十萬通宛ノ十組ニ分テ賣出ス但シ賣出期間内ニ賣了ラサル債券ハ社債原簿ニ於テ之ヲ缺番トナ

Table with columns: 價還期月, 割引歩合, 價還期月, 割引歩合. Rows list dates from 昭和十三年二月 to 昭和十四年八月 and corresponding discount rates.

第五、昭和十三年一月三十一日迄据置キ同年同月第一回、同年七月第二回ノ償還抽籤ヲ爲シ其ノ後毎年二回(一月、七月)抽籤ニ依リ毎回十組分ニテ券面總額六萬圓(債券

Table with columns: 等級, 金額, 第一回, 第二回以後毎回. Rows show amounts for different grades and return periods.

右割増金添附ノ方法ハ第一回抽籤ニ於テハ第一番目乃至第三番目ニ當籤シタル番號ノ債券(十組ニテ券拾通)ニ一割増金ヲ、第四番目乃至第三十三番目(十組ニテ



### 第拾九回割増金附割引勸業債券賣出公告

第一、發行券面總額壹千萬圓此ノ割引賣出價格五百萬圓ニシテ之ヲ債券十萬通宛ノ五組ニ分テ賣出ス但シ賣出期間内ニ賣リ了ラサル債券ハ社債原簿ニ於テ之ヲ缺番トナスモノトス

第二、債券一通ノ券面金額貳拾圓此ノ割引賣出價格拾圓ニシテ無記名券トス但シ請求ニ依リ記名トナスコトヲ得

第三、昭和十二年十月二十五日ヨリ同年同月三十日迄當行本支店出張所ニ於テ賣出スモノトス

第四、此ノ債券ノ割引金額拾圓ハ償還ノ時期ヲ異ニスルニ從ヒ其割引ノ方法ニ依リ左表ニ示ス年利率ノ半高年複利ニ相當ス

償還期月	割引歩合	償還期月	割引歩合
昭和十三年八月	四〇・〇〇	昭和二十九年八月	四一・八
昭和十四年八月	一一・三三	昭和三十年八月	四〇・六
昭和十五年八月	六・九二	昭和三十一年八月	三九・四
昭和十六年八月	三・四七	昭和三十二年八月	三八・三
昭和十七年八月	一・九三	昭和三十三年八月	三七・三
昭和十八年八月	一・四二	昭和三十四年八月	三六・三
昭和十九年八月	一・二四	昭和三十五年八月	三五・五
昭和二十年八月	一・一四	昭和三十六年八月	三四・七
昭和二十一年八月	一・〇九	昭和三十七年八月	三四・一
昭和二十二年八月	一・〇六	昭和三十八年八月	三三・七
昭和二十三年八月	一・〇四	昭和三十九年八月	三三・四
昭和二十四年八月	一・〇三	昭和四十年八月	三三・二
昭和二十五年八月	一・〇二	昭和四十一年八月	三三・一
昭和二十六年八月	一・〇一	昭和四十二年八月	三二・九
昭和二十七年八月	一・〇〇	昭和四十三年八月	三二・八
昭和二十八年八月	一・〇〇	昭和四十四年八月	三二・七
昭和二十九年八月	一・〇〇	昭和四十五年八月	三二・七

第五、昭和十三年一月三十一日迄據置キ同年同月第一回、同年七月第二回ノ償還抽籤ヲ爲シ其ノ後毎年二回（一月、七月）抽籤ニ依リ毎回五組分ニテ券面總額參萬圓（債券壹千五百通）以上ヲ定期ニ償還シ昭和四十五年一月最終ノ償還抽籤ヲ執行ス但シ買入消却ヲ爲シ又ハ抽籤ニ依リ臨時ニ償還スルコトアルヘシ

第六、償還抽籤ハ債券一組ノ籤數ニ依リ執行シ其ノ當籤シタル番號ヲ各組ニ通用ス例ヘハ第百番ニ當籤シタルトキハ一ノ組ヨリ五ノ組迄各組ノ第百番ノ債券ヲ何レモ當籤トスルカ如シ

第七、定期償還ノ都度添附スヘキ割増金（五組分）左ノ如シ

等級	一箇ノ金額	第一回	第二回以後毎回
一等	參千圓	拾圓	五圓
二等	壹千圓	四圓	貳圓
三等	五百圓	貳圓	拾圓
計	六百六拾五箇	貳百八拾箇	

右割増金添附ノ方法ハ第一回抽籤ニ於テハ第一番目乃至第三番目ニ當籤シタル番號ノ債券（五組ニテ拾五通）ニ一等割増金ヲ、第四番目乃至第三十三番目（五組ニテ百五拾通）ニ二等割増金ヲ、第三十四番目乃至第三百三十三番目（五組ニテ五百通）ニ三等割増金ヲ添附スルモノトス

第二回以後モ此ノ例ニ準ス

臨時償還ヲ爲ス場合ニ於テハ五組分ニテ債券券面總額參萬圓（債券拾五萬通）又ハ其ノ未滿毎ニ前表末段一箇ノ割増金ヲ添附ス

第八、當籤債券ノ券面金額及割増金ハ各其ノ抽籤ノ翌月之ヲ支拂フ

臨時償還ノ場合ニ於ケル券面金額及割増金支拂ノ時期ハ其ノ都度之ヲ定ム

第九、商號、株式會社日本勸業銀行


東京市麹町區內山下町壹丁目壹番地  
株式會社 日本勸業銀行

### 社債償還公告

當會社昭和十年十月三十一日發行第一回社債總額五百萬圓也ノ内來ル十月二十五日第一回償還トシテ當會社所有下記番號ノ社債金參拾萬圓也ヲ銷却可致候間此段公告候也

壹百圓券	號	自34至48・
五百圓券	號	自18至26・自28至31・51・148・自305至314・
壹千圓券	號	自72至74・自273至280・自300至322・自324至349・自1101至1108・自1128至1127・
		1177・自1209至1218・1509・1510・
		自1572至1576・自1581至1585・自1927至1936・自2033至2042・
五千圓券	號	自53至62・自74至77・自82至90・499・自516至526・536・537・

昭和十二年十月一日  
名古屋鐵道株式會社



### ライツ製品

顯微鏡 (生物學、金屬用)  
顯微鏡寫眞裝置 (偏光用、其他各種)  
顯微鏡用附屬品  
理化學光學器械  
小型カメラ、ライカ

品名御指定御申越次第型錄贈呈

東洋總代理店 株式會社 シュミット商店  
大阪市東區北久太郎町二ノ十三  
東京市日本橋區區町三ノ二

出張所  
東京市日本橋區日本橋北詰  
廣町市宿屋町一八  
京城市南大門通三丁目  
吳、佐世保、横須賀、舞鶴

### 赤尾保商店

角一、コム製品  
消防ポンプ  
大坂西區立賣場南通六丁目  
會社 赤尾保商店  
電話新町五八八・五四九

### 東洋拓殖債券

#### 償還當籤公告

當社社債定期償還抽籤九月廿二日施行ノ處下記番號當籤ニ付債券引換ニ御支拂可致候

昭和十二年十月一日 東洋拓殖株式會社

第九拾六回社債	第四次償還	元金拾五萬圓
償還期日	昭和十二年十月十日	朝鮮銀行
支拂場所		

五百圓券	壹千圓券	五千圓券	壹萬圓券
號	號	號	號
自1至14	自586至595 646至655 1,346至1,355 1,466至1,468	151 152 343 344	225 361 420 455
		479 504 512 537	643

第百五回社債	第三次償還	元金拾六萬圓
償還期日	昭和十二年十月二十日	
支拂場所	日本興業銀行・朝鮮銀行・第一銀行・三井銀行・三菱銀行・安田銀行・第百銀行・住友銀行・三和銀行及日本信託銀行ノ各本支店（除在外國支店）	

五千圓券	壹萬圓券
號	號
自 811 至 820	1 18 411 599
自 481 至 490	3 188 535
自 991 至 1,000	987 980 537
自 2,551 至 2,570	988 994 569



### 株式第一銀行

資本金 五千七百五十萬圓（拂込済）  
諸積立金 七千貳百五十萬圓

東京市麹町區丸の内一丁目一番地

高等商業科 貿易科 法學科  
給費生募集 橫濱専門學校  
試驗地 橫濱、名古屋、京都、廣島、福岡  
（詳細ハ給費生ト明記シ切手三錢封入願會） 橫濱市六角橋

支店 東京、大阪、神戶、廣島、福岡、名古屋、四日市、京橋、小倉、山崎、足利、利根、木下、桐生、館林、東京

### 速記講座

速記は諸君の生活を豊かにし、活動を敏捷に、能率を高め、諸君に成功の門戸を開く、本講座に依れば誰でも三ヶ月の勉強で演説でも學校の講義でもラヂオでもスラスラ速記が出来る

規則進呈 東京市麹町區三ノ二 日本速記學會

日本特許  
特許番號 發明ノ名稱 特許年月日 特許權者  
七一〇四 自動裝填機 昭和九年 特許權者  
七八五號 光ノ改良機 昭和九年 ケレニエウイナ、イバ、ニ、右特許ヲ讓渡シ又ハ其使用ヲ許可致候間御希望者ハ下名ヘ  
東京市神田區錦町三丁目十一番地 鈴木都賀三郎事務所

陸海軍・諸官衙用

特長 石炭、無煙炭、ピッチ煉炭等何んでも焚け  
給炭量と調節で半日でも一日でも自由に放熱

最新型

# センター型丸ストーブ



大中小三

輝く榮譽

帝國發明協會より「昭和八年」被表彰  
大阪府知事より「昨世紀五節」被表彰

製造元 株式会社 山本最商店

大阪 西區南船場  
東京 日本橋區本町一丁目  
川口 市川區市川一丁目

在來型 炊事兼用型  
燃焼効率 90% 以上

特許 ビクタール衛生ストーブ

○理學博士松井元典先生(帝大總長)著、教科書「現代中等化學」現代女子化學ニ教材トシテ本爐ガ掲載サレテオリマス  
○軍部上納一万六千個ヲ突破致シマシタ



!! 構機ノ壁完ル有ノ爐本

會社 絹田商會

本店 神戸市葺合區八雲通一丁目  
電話 葺合九二三番

三月三十一日第三種郵便物認可

# 官報

號外 昭和十二年十月一日

## 告示

●宮内省告示第二十三號

神宮祭主大勳位多嘉王殿下本日午後二時三十分  
十五分京都市上京區東櫻町二十七番地久通宮別邸ニ於テ薨去セララル

昭和十二年十月一日

宮内大臣 松平 恒雄

●宮内省告示第二十四號

神宮祭主大勳位多嘉王殿下薨去ニ付今日ヨリ三日迄三日間宮中喪仰出サラル

昭和十二年十月一日

宮内大臣 松平 恒雄

●宮内省告示第二十五號

神宮祭主大勳位多嘉王殿下薨去ノ爲宮中喪仰出サレタルニ依リ宮中ニ參内スル者ハ左ノ通喪服着用スヘシ

昭和十二年十月一日

宮内大臣 松平 恒雄

皇室喪服規程男子喪服制式及女子喪服制式第一號第二號第三號各第三期ニ依リ

## 宮廷錄事

●皇后宮御服喪 神宮祭主大勳位多嘉王殿下薨去ニ付 皇后陛下ニハ皇室服喪令ノ規定ニ依リ定式ノ喪ヲ服セラル

官報號外 昭和十二年十月一日 金曜日

●皇族王族御服喪

神宮祭主大勳位多嘉王殿下本日薨去ニ付家彦王、徳彦王、恭仁子女王各殿下ニハ父ノ御積ヲ以テ靜子殿下ニハ夫ノ御積ヲ以テ平彦王、湛子女王、盛厚王、彰常王、俊彦王各殿下ニハ父ノ兄ノ御積ヲ以テ恒憲王、朝融王、方子女王各殿下ニハ父ノ弟ノ御積ヲ以テ鳩彦王、稔彦王兩殿下ニハ兄ノ御積ヲ以テ守正王殿下ニハ弟ノ御積ヲ以テ博恭王、春仁王兩殿下ニハ父ノ兄ノ子ノ御積ヲ以テ載仁親王殿下ニハ兄ノ子ノ御積ヲ以テ各定式ノ喪ヲ服セラル

●多嘉王殿下御容態 神宮祭主大勳位多嘉王殿下ニハ兩三年來御輕度ノ腎臟炎ニ罹ラセラレ御養生ニ御留意アラセラレシカ本年四月中旬ヨリ御症狀稍、重ラセラレ約二週間前ヨリ急ニ御全身ニ御浮腫ヲ發生御尿ノ所見亦増悪ヲ拜シ遂ニ尿毒症ノ御徵候ヲ拜スルニ至リ御憂慮申上ケタル處十月一日午後二時二十五分俄ニ御危篤ニ陥ラセラレ同二時三十五分薨去遊ハサル

MARUZEN・MARUZEN・MARUZEN

## 丸善の事務用文房具

# オリオン レターファイル



金具は堅牢  
抜き差し圓滑

多角的効果を擧げる各種ファイル  
を取揃へて居ります

東京・日本橋區  
丸善株式會社  
其他各地支店出張所

定価 一ヶ月 九十五錢 一箇月八十錢(依リ地域) 各送料共  
本會社 八ボイスト 一三三號 九ボイスト 一四五號  
發行所 東京市神田區千代田 丸善印刷局  
支店 東京市日本橋區本町一丁目 丸善印刷局

昭和十二年三月三十一日  
第三種郵便物認可

# 官報

昭和十二年十月二日  
第三千二百二十六號 土曜日

## 勅令

朕支那事變ノ爲從軍シタル軍人及軍屬ニ對スル關東州及南滿洲鐵道附屬地ニ於ケル租稅ノ減免、徵收猶豫等ニ關スル件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

## 御名 御璽

昭和十二年十月一日  
內閣總理大臣 公爵 近衛 文麿

勅令第五百七十二號

第一條 滿洲國駐特命全權大使ハ其ノ定ムル所ニ依リ支那事變ノ爲從軍シタル軍人及軍屬ノ納付スル昭和十二年以降ノ分ノ三種所得稅及南滿洲鐵道附屬地ニ於ケル營業稅ヲ輕減又ハ免除スルコトヲ得  
第二條 大使ハ其ノ定ムル所ニ依リ支那事變ノ爲從軍シタル軍人及軍屬ノ昭和十三年以降ノ分ノ三種所得稅ニ付課稅標準ノ決定ニ關スル特例ヲ設クルコトヲ得  
第三條 大使ハ其ノ定ムル所ニ依リ支那事變ノ爲從軍シタル軍人及軍屬ノ本令施行

後ニ於テ納付スベキ租稅ノ徵收ヲ猶豫スルコトヲ得

第四條 前三條ノ規定ハ同居ノ戶主又ハ家族中ニ支那事變ノ爲從軍シタル軍人及軍屬アル者ノ租稅ニ付之ヲ準用ス  
第五條 第一條又ハ前條ノ規定ニ依リ輕減又ハ免除セラルル租稅ハ法令上ノ納稅資格要件ニ關シテハ輕減又ハ免除セラレザルモノト看做ス  
前項ノ規定ハ地方稅ニシテ支那事變ノ爲從軍シタルニ因リ輕減又ハ免除セラルルモノニ付之ヲ準用ス  
附則  
本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

## 省令

●選信省令第八十三號

明治三十二年六月選信省令第二十六號中左ノ通改正ス  
昭和十二年十月二日

愛知縣ノ項中「知多郡半田町長」ヲ「半田市長」ニ、宮崎縣ノ項中「東臼杵郡細島町長」ヲ「東臼杵郡富島町長」ニ改ム  
附則  
本令ハ昭和十二年十月一日ヨリ之ヲ適用ス  
（參照）  
明治三十二年六月選信省令第二十六號ハ附員法第七十九條ニ依リ選信省ノ事務ヲ行ハシムヘキ市町村長指定ノ件ナリ

## 府令

●朝鮮總督府令第九十號

私立學校規則中左ノ通改正ス  
昭和十二年七月二十二日

第二條 第一項中第四號ヲ第五號トシ以下順次繰下ゲ第三號ノ次ニ左ノ一號ヲ加フ  
四 開校年月日  
同條第二項中「又ハ第二號」ヲ「第二號又ハ第七號」ニ、「第六號」ヲ「第四號」ニ改ム  
第三條 第二項中「又ハ第五號」ヲ「第五號又ハ第八號」ニ、「乃至第十號」ヲ「第七號、第九號又ハ第十號」ニ改ム  
第五條 私立學校ヲ廢止セントスルトキハ其ノ事由、生徒ノ處分方法及廢止期日ヲ具シ朝鮮總督ノ認可ヲ受クヘシ  
附則  
本令ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス  
●朝鮮總督府令第九十一號  
朝鮮家畜傳染病豫防令中家畜コレラニ關スル規定ハ家畜コレラニ之ヲ適用ス  
昭和十二年七月二十二日  
朝鮮總督 南 次郎  
本令ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス  
●朝鮮總督府令第九十二號  
朝鮮總督府專賣局專賣醫及專賣藥劑師ノ定員ニ關スル件左ノ通定ム  
昭和十二年七月二十三日  
朝鮮總督 南 次郎

## 告示

●外務省告示第八十三號

滿洲帝國駐特命全權大使及滿洲帝國國務總理大臣ハ昭和十一年六月十日新京ニ於テ署名セラレタル滿洲國ニ於ケル日本國臣民ノ居住及滿洲國ノ課稅等ニ關スル日本國滿洲國間條約附屬協定第二條及第四條ノ規定ニ基キ康德四年勅令第二百八十八號支那事變ノ爲國軍又ハ日本國軍ニ從軍シタル者ニ對スル租稅ノ減免等ニ關スル件並ニ康德四年經濟部令第二十一號康德四年勅令第二百八十八號ノ施行ニ關スル件及康德四年國務院令第二十二號經濟部令第二十二號康德四年勅令第二百八十八號ノ施行ニ關スル件ヲ昭和十二年十月二日ヨリ日本國臣民ニ對シ適用スルコト但シ南滿洲鐵道附屬地ニ施行セラレザルベキコトヲ協議決定セリ  
昭和十二年十月二日  
外務大臣 廣田 弘毅

抄目  
●勅令 支那事變ノ爲從軍シタル軍人及軍屬ノ納付スル昭和十二年以降ノ分ノ三種所得稅及南滿洲鐵道附屬地ニ於ケル營業稅ヲ輕減又ハ免除スルコトヲ得  
●省令 選信省令第八十三號  
●府令 朝鮮總督府令第九十號  
●告示 外務省告示第八十三號  
●選信省令第八十三號  
●朝鮮總督府令第九十號  
●朝鮮總督府令第九十一號  
●朝鮮總督府令第九十二號  
●外務省告示第八十三號

●内務省告示第五百八十一號  
都市計畫法第一條ノ規定ニ依リ神奈川県高座郡座間村ヲ指定ス  
昭和十二年十月二日  
内務大臣 馬場 鏞一

●内務省告示第五百八十二號  
國籍法第二十條ノ第二項ノ規定ニ依リ日本國籍ノ離脱ヲ爲シタル者左ノ如シ  
昭和十二年十月二日  
内務大臣 馬場 鏞一

原籍 山口縣玖波郡柳井町大字柳井津  
第九十五番地  
現住地 北米合衆國加州ウオナタグロ  
ブ野四四五八  
藤井 アヤ

原籍 福岡縣三井郡本郷村大字本郷四  
千六百九十二番地  
現住地 北米合衆國加州ワッソビル市  
ユニオン街一〇〇  
橋本 博

原籍 長野縣北佐久郡小諸町無番地  
現住地 北米合衆國加州バークレー市カ  
ルフオルニア街二八〇九  
平野 二郎

原籍 愛知縣寶飯郡御津町大字下佐脇  
十番地  
現住地 北米合衆國加州ビニエテ郡チ  
コ市フルム街七〇九  
生田 春夫

原籍 島根縣八束郡木庄村大字新庄四  
百十三番地  
現住地 北米合衆國加州モントレー市  
コステツズ街一一五  
加藤 昇

原籍 滋賀縣甲賀郡柏木村大字北脇千  
四十四番地  
現住地 北米合衆國加州サンフランシス  
コラダナ街一七〇一  
川嶋美津雄

原籍 和歌山縣日高郡和田村千三百二  
十番地  
現住地 北米合衆國加州モントレー市ワ  
シントン街四三八  
田端 次美

原籍 茨城縣新治郡中家村大字中高津  
三番屋敷  
現住地 英領加奈陀ブリチヤシユ、コロソ  
ビア州ソルトスタブリング島ガソ  
ゼス  
沼尻 一郎

原籍 山口縣鹿毛郡伊保庄村第四千九  
百四十八番地  
現住地 英領加奈陀ブリチヤシユ、コロソ  
ビア州ポートアリス  
山本 敏二

●大藏省告示第二百五十五號  
外國爲替管理法ニ基キ命令ノ件第十七條第  
三項ニ基キ株式会社第百銀行ヨリ昭和十二  
年九月二十七日以後銀座支店ノ位置ヲ東京  
府東京市京橋區銀座六丁目一番地十一ニ變  
更スヘキ旨届出アリタリ  
昭和十二年十月二日  
大藏大臣 賀屋 興宣

●司法省告示第十六號  
指定倉庫營業者島根縣松江市大字松江分五  
百四十一番地松江倉庫株式會社ヘ株主總會  
ノ決議ニ依リ解散シタリ  
昭和十二年十月二日  
司法大臣 鹽野 季彦

●逓信省告示第三千九號  
昭和十二年十月三日ヨリ福岡電話局ヲ福岡  
中央電話局ト改稱ス  
昭和十二年十月二日  
逓信大臣 永井柳太郎

●逓信省告示第三千十號  
昭和十二年十月三日ヨリ左記電話分局ヲ設  
置シ電話交換業務ヲ取扱フ  
逓信大臣 永井柳太郎

昭和十二年十月二日  
選信大臣 永井柳太郎

●逓信省告示第三千十一號  
明治四十年ノ逓信省告示第二百二十三號別  
表第三號中熊本逓信局管轄ノ項「福岡電話  
局」ヲ「福岡中央電話局」ニ改メ昭和十二年  
十月三日ヨリ之ヲ施行ス  
昭和十二年十月二日  
選信大臣 永井柳太郎

●逓信省告示第三千十二號  
昭和十二年十月四日ヨリ外國電報取扱ノ爲  
東京中央電信局ト伊太利國羅馬ニ於ケル無  
線電信局及瑞西國壽府ニ於ケル無線電信局  
トノ間ニ直通無線電信連絡ヲ開始ス  
名古屋郵便局ト壽府ニ於ケル無線電  
信局トノ間ニ無線電信連絡ハ昭和十二年十  
月三日限リ之ヲ廢止ス  
昭和十二年十月二日  
選信大臣 永井柳太郎

●逓信省告示第三千十三號  
昭和十二年十月四日ヨリ昭和十一年ハ逓信  
省告示第二千十五號外國電報料金表第一表  
及第二表中「名古屋馬關無線」ヲ「東京羅  
馬馬關無線」ニ改メ「名古屋壽府間無線」ヲ「東京  
壽府間無線」ニ改メ  
昭和十二年十月二日  
選信大臣 永井柳太郎

●逓信省告示第三千十四號  
昭和九年ハ逓信省告示第三千二百七十八  
號國際電信條約附屬電報規則ニ基キ外  
國電信主管廳ニ於テ定ムル隨意規定事項中  
左ノ通改正ス  
昭和十二年十月二日  
選信大臣 永井柳太郎

●逓信省告示第三千十五號  
昭和十二年十月四日ヨリ大正十四年ハ逓信  
省告示第三千五百十號無線局及託送發受所  
名等中「固定局」ノ部ヲ左ノ通改正ス  
昭和十二年十月二日  
選信大臣 永井柳太郎

第二其ノ他ノ事項中亞細亞地方ノ部「ピル  
マ」ノ項第十欄「英吉利語」ハ「ポルトガル語」  
ヲ「英吉利語」ニ改メ  
同部「ベリム」ノ項第二欄、第四欄、第五欄、  
第八欄乃至第十一欄、第十三欄及第十四欄  
ヲ「アフリカ」ニ改メ  
同部「フランスス」ノ部「ブルグニア」ノ項第十二欄  
「アフリカ」ニ改メ  
「アメリカ」地方「北アメリカ」ノ部「ラフ  
ラドル」ノ項第十二欄「ラ」ヲ「許三」ニ、第十  
三欄「ラ」ヲ「許四」ニ改メ  
太平洋地方ノ部「ニュー、ジブラント」ノ項  
第十一欄「許一」ヲ「許二」ニ改メ  
同部「ロイツマ」島ノ項第四欄「ラ」ヲ「許二」  
ニ改メ  
同部「サロモン」群島ノ項第八欄「許六」ヲ  
「一」ニ、第十欄「英吉利語」ヲ「一」ニ改メ  
同部「アフリカ」地方ノ部「リベリヤ」國ノ項第十  
三欄「許一」ヲ「許二」ニ改メ  
備考中本邦ニ於テ定ムル隨意規定事項「ラ  
左ノ如ク改メ  
(一)標準時  
内地「グリニチ」時ヨリ九時半  
朝鮮 内地ニ同ジ  
臺灣 内地ニ同ジ  
南洋羣島 内地ニ同ジ  
南洋羣島 内地ニ同ジ  
●逓信省告示第三千十五號  
昭和十二年十月四日ヨリ大正十四年ハ逓信  
省告示第三千五百十號無線局及託送發受所  
名等中「固定局」ノ部ヲ左ノ通改正ス  
昭和十二年十月二日  
選信大臣 永井柳太郎

●昭及十二年九月三十日  
專賣局書記正七位勳七等 平賀宇兵衛  
任專賣局副參事  
絳高等官六等  
●昭及十二年十月一日  
正四位勳四等子爵 戸田 忠庸  
正四位男爵 川口 武和  
從四位伯爵 柳澤 保承  
從四位勳三等 里見 寛二  
同 本間 孝義  
同 原田 繁藏  
正五位勳四等 太田原豊一  
同 小宮 悦造  
同 朱 榮 煥  
正五位勳三等 山根 甚信  
同 奥田 或  
正五位勳五等 中林 朝吉  
同 堀川 冬弘  
同 大塚 辰雄  
從五位子爵 三浦 矢一  
從五位男爵 金 正 祿  
同 伊達 康夫  
從五位勳五等 丹澤 美助  
從五位勳三等 宮城 篤珍  
從五位勳五等 安井 万次  
同 川上 達吉  
同 島田 満  
同 中田 満藏  
同 池内覺太郎  
同 大野 初熊  
同 小八重直三郎  
同 武山 敏二  
同 村上 省悟  
同 益子源四郎

叙任及辭令

●昭及十二年九月三十日  
專賣局書記正七位勳七等 平賀宇兵衛  
任專賣局副參事  
絳高等官六等  
●昭及十二年十月一日  
正四位勳四等子爵 戸田 忠庸  
正四位男爵 川口 武和  
從四位伯爵 柳澤 保承  
從四位勳三等 里見 寛二  
同 本間 孝義  
同 原田 繁藏  
正五位勳四等 太田原豊一  
同 小宮 悦造  
同 朱 榮 煥  
正五位勳三等 山根 甚信  
同 奥田 或  
正五位勳五等 中林 朝吉  
同 堀川 冬弘  
同 大塚 辰雄  
從五位子爵 三浦 矢一  
從五位男爵 金 正 祿  
同 伊達 康夫  
從五位勳五等 丹澤 美助  
從五位勳三等 宮城 篤珍  
從五位勳五等 安井 万次  
同 川上 達吉  
同 島田 満  
同 中田 満藏  
同 池内覺太郎  
同 大野 初熊  
同 小八重直三郎  
同 武山 敏二  
同 村上 省悟  
同 益子源四郎





Table listing various officials and their positions. Columns include names, titles, and locations. Key entries include: 宮内次官男爵 白根 松介, 豫算委員長被仰付, 大臣官房秘書課長 白根 敦, 補大官房秘書課長 白根 敦, 補大官房秘書課長 白根 敦, etc.

Table listing various officials and their positions, continuing from the previous page. Columns include names, titles, and locations. Key entries include: 關稅官 江瀧 晋松, 六級俸下賜, 補大官房秘書課長 白根 敦, 補大官房秘書課長 白根 敦, etc.

公立高等女學校教諭 石馬 あま  
年功加俸年額金貳百拾參圓下賜(以上)愛知縣)  
公立中學校教諭 石田 雄一  
年功加俸年額金百四拾四圓下賜(同上)  
公立聖徳學校教諭 國分謙次郎  
十一級俸當分下賜  
年功加俸年額九拾六圓下賜(滋賀縣)  
公立中學校教諭 武田 光信  
四級俸下賜(宮城縣)  
地方農林技師 伊藤 信之  
十二級俸下賜(和歌山縣)

### 宮廷録事

幣帛下賜 錦織朝臣候原田貞介薨去ニ付  
昨日幣帛ヲ下賜セラレタリ

### 彙報

#### 官廳事項

●内務省分課規程中改正 内務省ニ於テ昨  
一日分課規程中左ノ通改正セリ  
警保局ノ部中保安課ノ項第二號ヲ削リ同項ノ  
次ニ左ノ一項ヲ加フ  
外事課  
一 外事警察ニ關スル事項  
一 大臣官房ノ部中都市計畫課ノ項ヲ削リ衛生局  
ノ部ノ次ニ左ノ一部ヲ加フ  
計畫局  
一 都市計畫及防空ニ關スル特別ノ調査ニ關ス  
ル事項  
一 都市計畫委員會及防空委員會ニ關スル事項  
一 防空思想ノ普及ニ關スル事項  
一 他課ノ主管ニ關セサル事項  
一 都市計畫課  
一 都市計畫法施行ニ關スル事項  
一 市街地建築物法施行ニ關スル事項  
一 防火地區建築補助ニ關スル事項

一復興事業ノ殘務ニ關スル事項  
防空課  
一 防空法施行ニ關スル事項  
●新任在本邦佛國大使館參事官著任 新任  
在本邦佛國大使館參事官ジャン・パティスト・バル  
ビエハ去月二十三日著任セル旨本邦駐佛國大使  
使ヨリ同日附書附テ以テ通知アリタリ

●在本邦メキシコ國公使館附陸軍武官歸  
國 在本邦メキシコ國公使館附陸軍武官陸軍航  
空兵大佐ロベルト・ライエロハ去月二十四日本邦  
發歸國スヘキ旨在本邦同國臨時代理公使ヨリ同  
二十日附書附テ以テ通知アリタリ

●官吏改姓 海軍中尉池田武博ハ大友ト  
改姓ノ旨去月三十日届出テタリ

●專任 稅務署屬關稅官江崎善松ハ昨日  
本官ヲ免セラレ關稅官專任ト爲レリ

●兼任 朝鮮總督府道警視田柳助ハ去月二日  
朝鮮總督府屬ヲ兼任セリ

●轉勤 朝鮮忠清南道公立普通學校校長(兼任  
特選)朝鮮公立普通學校調導馬場三郎ハ鳥致院  
公立普通學校勤務同校長ト、同池邊保ハ洪城公立  
普通學校勤務同校長ヲ執モ本年八月三十一日命  
セラレタリ

●官吏死去 專賣局關參事正七位勳七等平賀  
宇兵衛ハ去月三十日死去セリ

●警察  
●預約出版届出 預約出版法ニ依リ去月二十  
七日警視廳へ預約出版ヲ届出テタルモノ左ノ如  
シ(警視廳)

●著者 號 二葉亭四迷全集  
著者 故長谷川辰之助  
發行所 東京市神田區一ツ橋二丁目三番  
地岩波書店  
著者年月日 昭和十二年十月八日

●預約出版届出 本年二月九日堀梅吉ヨリ警  
視廳へ届出テタル(全日本公(私)職婦人録)ノ豫  
約出版ハ廢絶セリ(警視廳)

●預約出版届出事項中變更 昨十一年七月  
二十日福谷元次ヨリ愛知縣へ届出テタル校訂増  
補豐橋市史談ノ預約出版事項中題號ヲ「國史上  
より觀たる豐橋地方」ニ變更セリ(愛知縣)

●褒賞  
●特例銀杯下賜 公同ノ事務ニ勤勉セシ廉ヲ  
以テ昭和十二年九月二十九日特例銀杯ヲ下賜セ  
ラレタル者左ノ如シ(賞勳局)

●追賞銀杯下賜 公衆ノ利益ヲ興セシ廉ヲ以  
テ昭和十二年九月二十九日追賞銀杯ヲ下賜セラ  
レタル者左ノ如シ(賞勳局)

●故戸倉惣兵衛遺族  
戸倉惣兵衛  
夙ニ養蠶業ノ改良發達ニ努メ就中經濟的  
飼育法ニ付試驗研究スルコト多年途ニ萬  
難ヲ排シテ條桑育ノ法ヲ全國ニ普及セシ  
メ努力並ニ用桑量ノ低減蠶兒ノ生理衛生  
收購量ノ増加等ニ寄與スルコト大ナルモ  
ノアリ又全國蠶業同業組合中央會議員  
全國蠶業組合聯合會議員副會長其ノ他  
ノ要職ニ就キ蠶絲業組合法ノ制定原種  
國家管理法ノ實現等ニ盡ス所アリ昭和四  
年袋井町長ニ就任シ衛生産業教育等ノ發  
達ニ盡瘁スル等其ノ勞效夥カラス仍テ褒  
賞條例ニ依リ銀杯壹個ヲ賜ヒ以テ之ヲ表  
彰セラル

●特別銀杯下賜 公同ノ事務ニ勤勉セシ廉ヲ以テ昭和十二年九月二十九日特例銀杯ヲ下賜セラレタル者左ノ如シ(賞勳局)

### ○遊樂事

●水鏡宮祭三十八日  
(10:00-10:00)  
區民十二時三十分

1. 艦船水鏡宮祭受領シタルトキハ遊ニ其ノ關係圖誌ヲ改補スルヲ要ス但シ一時關係改補後告示ノ新圖誌ヲ入ラズカ又ハ告示紙片ヲ適當ノ箇所ニ貼付シ置クモノトス
2. 方位ハ眞方位(0°ヨリ360°ニ至ル)ヲ用ヒ要スレバ之ニ對シテ方位ヲ括弧内ニ記ス
3. 時刻ハ秒位ヲ示ス必要ナルモノノ外0000ヨリ2400ニ至ル數字4個ヲ以テ示ス24時式ヲ使用ス
4. 豫數ニ附記セル\*符ハ數事項ニ關シテ既ニ告示(豫數改補)一時關係セルモノナルコトヲ示ス
5. 注意改補ノ種類ニ關シテ符ヲ附記セルハ該關係書能改補用トシテ別紙ヲ使用スヘキヲ示ス
6. 表紙上現行圖誌ノ改補ヲ必要トスル事項又ハ海上ノ危險ヲ豫見シタルトキハ遊ニ其ノ當事者ヨリ水路部(東京市京橋區寒地五丁目)ニ直接通報ヲラソコトヲ希シ
7. 水路告示(合符セルモノ)ハ特ニ指示スルモノヲ除キ其ノ保存期間ヲ6箇年トシ該期間ヲ經過セルモノハ受領者ニ於テ適宜之ヲ處分スルモノトス

地名	場所
Hongkong (S. China)	Harbour Department
Bangkok (Siam)	The Harbour Master
Manila (Luzon)	U. S. Coast and Geodetic Survey Field Station, Intea-landia Building, Manila
Balik Papan (Borneo)	The Harbour Master
Tanjong Priok (Java)	The Harbour Master
Burabaya (Java)	The Harbour Master
Bombay (India)	Headquarters Royal Indian Marine
Karachi (India)	The Principal Officer, Mercantile Marine Department
Madras (India)	The Principal Officer, Mercantile Marine Department, Old High Court Building, 1st Line Beach

### 注意

○水路告示ノ每週土曜日(公休日ニ當ルトキハ金曜日)ノ官報ニ掲載ス但シ別紙ノ官報掲載ハ之ヲ省略ス  
○當部刊行ノ圖誌類ハ下記ニ於テ販賣ス  
日本郵船株式會社東京本社○横浜、名古屋、大阪、神戸、門司、長崎、上海ノ7支店○函館、基郡、小樽、釜山ノ4代理店及大連出張所○日本郵船協會(神戸)  
○本告示印刷物、水路報告用紙及航海報告用紙ハ上記ノ圖誌販賣所ニ備ヘ置キ無代價ニテ要領ニ應ス  
○下記各港ノ各圖水路告示 閱覽所ニハ一般航海者ノ閱覽ニ供スル爲當部 水路告示ヲ送付シタリ

地名	場所
橫濱	横濱税關港務部
大阪	大阪税關港務部
神戸	神戸税關港務部
門司	門司税關港務部
長崎	長崎税關港務部
函館	札幌運信局港務部
小樽	室蘭市役所
釜山	釜山北州港務部
大連	朝鮮總督府通信局釜山辦事出張所 同仁川辦事出張所 關東港務局

### Shipping Master at the Point Custom, Point, Port Natal.

Port	Shipping Master at the Point Custom, Point, Port Natal.
Durban (Port Natal), (South Africa).	The Port Captain, Cape Town.
Cape Town (South Africa).	Deputy Director of Navigation & Lighthouses, W. A. Fremantle.
Fremantle (Australia).	Deputy Director of Navigation & Lighthouses, N. S. W., Custom House, Sydney.
Sydney (Australia).	Mercantile Marine Government Build., Customs' Str.
Ankland (New Zealand).	Old Naval Station.
Wellington (New Zealand).	Pilotage Office.
Honolulu (U. S. A.).	Collector of National Revenue.
Vancouver (B. C.).	Branch Hydrographic Office.
Victoria (B. C.).	Branch Hydrographic Office.
Prince Rupert (B. C.).	Branch Hydrographic Office.
Seattle (U. S. A.).	Secretaria de Comunicaciones y Obras Publicas, Departamento de Marins Mercante y Faros de Mexico, Mexico.
Portland, Oreg. (U. S. A.).	Port Captain, Cristobal, Canal Zone.
San Francisco (U. S. A.).	Oficina de Informaciones Para la Marina Mercante.
San Pedro (U. S. A.).	Secretoria de Navegabo Ilha Fiscal.
Mexique (Mexico).	Port Office.
Cristobal (Panama).	Branch Hydrographic Office.
Valparaiso (Chile).	Bureau du Capitaine du Port.
Rio de Janeiro (Brazil).	Capitainerie du Port.
Pará (Belém) (Brazil).	Capitainerie du Port.
Pernambuco (Recife) (Brazil).	Autoridad Maritima del Puerto.
New York (U. S. A.).	Autoridad Maritima del Puerto.
Portland (Egypt).	Port Office.
Piraeus (Greece).	La Direction Générale du Port Autonome du Port.
Salonique (Greece).	Pilotage, Marché du Bils Zélande.
Barcelona (Spain).	Harbour Master's Office.
Malaga (Spain).	Berichtungsstelle "Seekarte" G. M. B. H., Contre-campe 206.
Gibraltar (Gibraltar).	Deutsche Seekarten Berichtungsstelle—Institut, Herrngasse Javahaus
Le Havre (France).	Seekartenberichtsungsstelle, Holtensau bei Kiel.
Antwerp (Belgium).	Haven Master's Office.
Rotterdam (Netherlands).	Kapitan Fortu, (Pologna).
Bremen (Germany).	Hambkontoret.
Hamburg (Germany).	Olo Havneveen, Havneopsynet.
Holtensau (Germany).	
Bristol (England).	
Gdynia (Danzig) (Poland).	
Stockholm (Sweden).	
Olo (Norway).	



<p>○此ノ告示印刷物ハ下記各所ニモ送付セラリ、航海者ハ臨時開電スルヲ得ヘシ</p> <p>所</p> <p>港名 烟台 威海衛 龍口 煙台 濟南 青島 天津 漢口 廣州 香港 汕頭 廈門 寧波 溫州 福州 汕頭 廈門 寧波 溫州 福州 汕頭 廈門 寧波 溫州 福州</p> <p>地址 烟台 威海衛 龍口 煙台 濟南 青島 天津 漢口 廣州 香港 汕頭 廈門 寧波 溫州 福州</p> <p>所屬 海軍省 海軍省 海軍省 海軍省 海軍省 海軍省 海軍省 海軍省 海軍省 海軍省 海軍省 海軍省 海軍省 海軍省 海軍省</p>	<p>海軍省支部</p> <p>大連 遼寧 奉天 吉林 山東 江蘇 浙江 安徽 江西 湖北 湖南 四川 貴州 雲南 廣西 廣東 福建 廣東 福建 廣東 福建</p> <p>支店 大連 遼寧 奉天 吉林 山東 江蘇 浙江 安徽 江西 湖北 湖南 四川 貴州 雲南 廣西 廣東 福建 廣東 福建</p> <p>支店 大連 遼寧 奉天 吉林 山東 江蘇 浙江 安徽 江西 湖北 湖南 四川 貴州 雲南 廣西 廣東 福建 廣東 福建</p>	<p>12年1067項(一時關係)*</p> <p>東京海軍 橫濱海軍 神戶海軍 青島海軍 煙台海軍 龍口海軍 威海衛海軍 烟台海軍</p> <p>12年1067項(一時關係)*</p> <p>東京海軍 橫濱海軍 神戶海軍 青島海軍 煙台海軍 龍口海軍 威海衛海軍 烟台海軍</p>	<p>12年1069項</p> <p>內海 一布知瀬戸 水底電線改設</p> <p>向島瀬戸 水底電線改設</p> <p>12年1070項</p> <p>內海 周防瀬戸 水底電線改設</p> <p>向島瀬戸 水底電線改設</p>
---	--	---	--

<p>茶ヶ崎附近陸揚地 Lat. 33° 26'.5 N. Long. 129° 47'.6 E. (概位)</p> <p>實盛岩鼻附近陸揚地 Lat. 33° 25'.9 N. Long. 129° 47'.0 E. (概位)</p> <p>電信法第40條ニ依ル線路區域ハ各線路ノ左右各50米以内</p> <p>別紙附圖(4面)ニ依リ海圖ヲ改補ス</p> <p>166(分圖共)——198——1228</p> <p>出所 昭和12年6月14日官報通信省告示1651號</p>	<p>6016</p> <p>12年1074項</p> <p>朝鮮西岸—京城無線電信局 氣象實況及暴風警報放送停止</p> <p>京城無線電信局(JBB)ニ於テ 朝鮮總督府觀測所ヨリ發スル氣象實況報及暴風警報ノ放送ハ昭和12年9月30日限リ之ヲ廢止セリ</p> <p>Lat. 37° 31'.3 N. Long. 126° 58'.7 E. (概位)</p> <p>注意 (1)書誌6號A.10頁18行中「京城」ヲ削除ス</p> <p>(2)書誌90號E.目次4頁12行「京城無線……」213, 213頁全部214頁初行至4行及229頁98番(同欄貼付)ノ10年439項別紙共)ヲ削除ス</p> <p>出所 昭和12年9月25日官報通信省告示701號</p>	<p>老米道(Old Ship Channel) 入口ノ南南西方 約330米</p> <p>Lat. 31° 21'.4 N. Long. 121° 30'.4 E. (概位)</p> <p>Fl. R. ev. 8 sec.</p> <p>燈質閃紅光 每8秒ニ1閃(閃1秒 暗7秒) ● 模式黒燈上部球形 高サ4米</p> <p>481A——(1)485——500——(1)482</p> <p>出所 水路部</p> <p>12年1076項(一時關係)</p> <p>Philippine Islands Luzon 西岸 Manila Bay—Guardia Shoal 浮標撤去</p> <p>Manila Bay 灣口北西側 Guardia Shoalノ黒燈圓蓋形浮標ハ流失セリ</p> <p>Lat. 14° 24'.0 N. Long. 120° 30'.2 E. (概位)</p> <p>647(分圖共)——1688</p> <p>12年1077項(一時關係)</p> <p>Philippine 中央我標告示10號</p> <p>1937年 Philippine 中央我標告示10號</p> <p>Sumatra 北東岸—Telok Piai Channel 浮標撤去</p> <p>Sungai Pawaiニ至ル水道ノ西側ニ設置スル白自差柱形浮標(閃白光)ハ、不動白光ヲ顯ハシ居レリト謂フ</p> <p>Lat. 2° 44'.30" N. Long. 100° 04'.15" E. (概位)</p> <p>636</p> <p>12年1078項</p> <p>Sumatra 東岸—Belawan Harbour 浮標撤去</p> <p>Belawan Harbour St. Nunang 河口西方ニ設置ノ白自差圓蓋形浮標(2箇)ハ位置變更セリ</p> <p>Paloh Nuang 燈臺(不動白光) (Lat. 3° 47'.0 N. Long. 98° 41'.2 E. 概位) ヨリノ方位(度) 距離(米)</p> <p>(1) 257 400</p> <p>(2) 257 650</p>	<p>605(分圖共)</p> <p>12年1079項</p> <p>Sumatra 告示1937年134項</p> <p>12年1079項</p> <p>圖誌訂正</p> <p>1)海圖174號——206號</p> <p>九州西岸ノ代船米之津港(Lat. 32° 07'.5 N. Long. 130° 20'.6 E. 概位)ノ現狀ハ圖誌ノモノト相違ス仍チ別紙附圖(2面)ニ依リ海圖ヲ改補ス(概位北)</p> <p>(2)書誌90號D</p> <p>(イ)目次1頁下ヨリ3行至4行ヲ別紙(1枚)貼付ニ依リ訂正ス</p> <p>(ロ)目次2頁下ヨリ6行至7行ヲ別紙(1枚)貼付ニ依リ訂正ス</p> <p>(ハ)54ノ5頁1行至19行ヲ削除シ、同頁下方欄外ノ“54ノ5”ヲ“54ノ9”ニ及54ノ6頁下方欄外ノ“54ノ6”ヲ“54ノ10”ニ各改記ス</p> <p>(ニ)關東東印度洋海峽警務署ニ關スル通告方法ニ關シ第18回海圖紙(122ノ1頁及122ノ2頁挿入)ヲ頒布ス所要ノ向ハ水底圖誌撤去所ヨリ交付ヲ受クルコトヲ得</p> <p>(ホ)Singapore 港地ニ關シ第19回海圖紙(40頁至54ノ4頁挿入)ヲ頒布ス所要ノ向ハ水底圖誌撤去所ヨリ交付ヲ受クルコトヲ得</p> <p>(ヘ)123頁初行至9行ヲ削除ス</p> <p>(イ)214頁6行至7行ヲ別紙(1枚)貼付ニ依リ訂正ス</p> <p>(ロ)214頁13行至18行ヲ別紙(1枚)貼付ニ依リ訂正ス</p> <p>12年1090項(2箇)</p> <p>Java 北岸—Semarang Road 接續不存在</p> <p>Semarang 西防波堤燈臺(閃白光)ノ北西方 約1.2哩</p> <p>Lat. 6° 55'.4 S. Long. 110° 24'.3 E. (概位)</p> <p>水深 29 呎</p> <p>注意 (イ)海圖610號及988號上上記水底ヲ東方至近ノ白自差圓蓋形浮標ト共ニ削除ス</p>
--	--	--	---

(ロ)海國 614 號上上記燈臺ノ北西方約 1.6 哩ニ記載セル水深 "21" "7.08" ニ改訂シ同燈臺ノ北方向 1.8 哩ニ記載セル沈船(汽船上ノ水筒 4 等)及其ノ南東側ナル沈船ヲ残シモ削除ス

海國 610(セーラン泊地)——988——(注意ロ) 614

誌類 10 誌 19 頁——誌 19. 106 頁及誌 19 頁 33 頁 附註 7 年 461 項(削除)

出所 Darwin 告示 1986 年 121 項

●12 年 1081 項(2 區)

Java 北岸 Surabaya Strait—West Gat 投

備禁止區域  
West Gat 西側 Middlebrug 附近下記緯度線及經度線ニチ包ム區域内ハ一一投船ノ投筒ヲ禁止ス

位置 北界 Lat. 6° 57'. 33 S.  
南界 Lat. 6° 58'. 33 S.  
東界 Long. 119° 41'. 75 E.  
西界 Long. 119° 40'. 92 E.

注意 海面上警備ヲ以テ上記區域ヲ記載シ區域内ニ「投筒禁止區域」ヲ附記ス

海國 939——990——989

誌類 10 誌 19 頁 122 項

出所 Darwin 告示 1936 年 122 項

●12 年 1052 項(2 區)

南太平洋—Nauru(Pleasant Island) 燈ニ就

誌類 1 誌 92a. 306 頁

海國 2051(ナウル)——2103——801

注意 海面上警備ヲ改訂ス

海國 1 誌 92a. 306 頁

出所 Sydney 告示 1987 年 193 項

●12 年 1088 項(2 區)

Australia 南岸—Port Phillip 燈塔新築地設置及往還警備

(1)記事 Point Cook 南方ナル航空機作業區域ノ南部ニ 200 呎以上ノ標高物ヲ塔敷セル標高區域ヲ設置セリ

Seaplane Jetty/南東方 約 2.2 哩  
Lat. 37° 58'. 45 S. Long. 144° 46'. 50 E.

備考 (1)燈塔塔敷地ニ上記區域内ニ砲台中又ハ同區域内通航中ハ射擊 訓練ヲ行ハス

(2)記事 海面上上記地點ヨリ 航空機作業區域ノ南東邊ニ放灯ノ南西邊ニ連ナル放灯ノ斷線及同南西邊ニ放灯ノ南東邊ニ連ナル放灯ノ斷線ヲ記載シ包括區域内中央部ニ「標高區域」ヲ附記ス

上記燈塔塔敷地南南南ニ 燈塔塔敷地標高(明白色)ヲ設置セリ

位置 (假位)  
Lat. 37° 58'. 5 S. Long. 144° 47'. 8 E.

誌類 1 誌 24b. 114 頁——誌 24b. 114 頁 附註 10 年 751 項(削除)

出所 Sydney 告示 1937 年 134 項 135 項

●12 年 1084 項(2 區)

Australia 北岸—Port Darwin 淺瀬存在

位置 Emery Point 燈臺(明白光・紅光分燈ヲリ)  
Lat. 12° 28'. 2 S. Long. 130° 40'. 5 E. (假位)

水深及底質 4.5 米(2 等 3 級)(S. Sh)

注意 (1)海國 2644 號(分圖地)上上記位置西南西方至近ニ距數ナル水深 "9.3" ヲ削除シ上

記位置ニ 3 等 等深線ヲ繪テセル水深 "9.3" ヲ記載、底質 "S. Sh" ヲ附記ス

(2)海國 2661 號及 2661 號上上記位置至近ニ距數ナル水深 "8.4" "7.93" "2.5" 等深線ヲ 3 等 等深線ニ改訂ス

2644(分圖地)——2651——2641

誌類 1 誌 24b. 148 頁

出所 Sydney 告示 1937 年 137 項

●12 年 1086 項(2 區)

Alaska Summer Strait—Yank Island 北岸燈臺設置

位置 Yank Island 北岸ノ Two Tree Island 上  
Lat. 62° 20'. 6 N. Long. 132° 38'. 3 W. (假位)

誌類 1 誌 31a. 107 頁

出所 Dep. of Com. 告示 1937 年 1503 項

●12 年 1086 項(2 區)

U. S. A. Washington Port/Townsend 南方—Glen Cove 水深減少

記事 1937 年 5 月測量ノ結果ニ依ルハ Glen Cove 淺瀬區域内ニ於ケル水深(0.1 米(30 呎))ハ 0.3 乃至 1.5 米(1 乃至 5 呎)減少セリト謂フ

Glen Cove 埠頭前面  
Lat. 48° 05'. 6 N. Long. 122° 47'. 5 W. (假位)

注意 海面上上記位置ニ圖記セル "0" 米ニ淺瀬深クノ下方向ニ「水深 0.8—1.5 米減少」(1937 年)ヲ併記ス

海國 3644

出所 Dep. of Com. 告示 1937 年 1503 項

●12 年 1087 項(2 區)

U. S. A. Oregon—Blanco Reef 附近 哨台存在

位置 Cape Blanco 燈臺(明白光)ヨリ 251°  
Lat. 42° 49'. 8 N. Long. 124° 35'. 5 W. (假位)

水深及底質 2 等 3 呎(4.5 米)(B)

注意 海面上上記位置ニ 3 等 等深線ヲ繪テセル水深 "9.3" ヲ記載、底質 "R" ヲ附記ス

海國 3641(チーフナー種)

誌類 1 誌 38. 168 頁

出所 Dep. of Com. 告示 1937 年 1497 項

●12 年 1088 項(2 區)

U. S. A. California San Francisco Bay—Mare Island Strait 水深ニ就テ

記事 1937 年 7 月測量ノ結果ニ依ルハ Mare Island Strait 淺瀬水道中心線上及附近ノ水深ハ同頂面區域迄 99 呎(8. 8 米)ナルニ同水道内下記 2 位置ニ於テ水深 28 呎(8. 5 米)ヲ測得セリ

位置 Navy Yardノ燈臺(Stack)(Lat. 38° 08'. 0 N. Long. 122° 16'. 3 W. 假位)ヨリノ方位(度) 距離(米) 水深(呎(米))

(1) 124 969 28(8. 5)

(2) 123 928 28(8. 5)

備考 尙水道ノ西側點線ノ前面約 151 米(同頂面線ノ入口附近ニ於テ水深 28 呎(8. 5 米)ヲ測得セリト謂フ

誌類 誌 38. 282 頁——12 年 908 項(削除)

出所 Dep. of Com. 告示 1937 年 1496 項

●12 年 1089 項(2 區)

圖誌訂正

(1)海國 3641 號(チーフナー河口)

U. S. A. Oregon Tumpana River 河口 南防波堤ヲ其ノ外端(Lat. 43° 39'. 9 N. Long. 124° 12'. 8 W. 假位)ヨリ 290° ノ方向ニ 400 米延長ス(米 Dep. of Com. 告示 1937 年 1498 項)

誌類 24 號 A

225 頁下ヨリ 1 行及 2 行ヲ別紙(1 枚)貼附ニ依リ訂正ス(Adelaido 告示 1937 年 4 項)

(2)書誌 24 號 B

(4)321 頁 20 行中「及浮標」及 23 行至 24 行ヲ削除ス

(ロ)323 頁 10 行中「斯クテ」以下 12 行「向」ヲ「之」ニ削除ス

(Sydney 告示 1937 年 156 號)

●12 年 1090 項

(1)海國改版

番號 3 北海大島及附近 △  
548 サントアン角至サソカリ  
ハット角

(2)書誌新版

番號 書 名 定價

書 201 號 水路要報 第 16 年 第 10 號 90

(3)海國改版

番號 4 北海道  
548 サソカリハット角至サソカリ角

●項外

(イ)航行上注意スヘキ浮標物

(ロ)本洲北西洋 越前沖ノ北方約 210 哩 浮標

9 月 21 日 1630 Lat. 39° 27' N. Long. 135° 48' E. (假位)附近ニ「セウ 21」ト記載セル直徑約 1.5 米ノ鐵圈圓形浮標漂流ス(海國 169 號參照)(汽船運航)

(ロ)端子江口一大端子(砂堆南方) 水雷

9 月 23 日 1043 Lat. 31° 27' N. Long. 124° 13' E. (假位)附近ニ小型浮標水雷ヲシキキテ認ム(海國 389 號參照)(汽船運航)

本洲北岸—青森港附近 漁網ニ數テ

9 月 17 日青森港附近距岸約 1 哩ニ多數ノ漁網點點ニシテ夜間ハ燈火ヲ掲揚セルモノノ廣ク不明ナルト謂フ(海國 1152 號(青森港)參照)(汽船運航)

(4)東京港 第 12 號浮標設置

19 年 9 月 3 日イテ撤去ノ旨告示セル海國 2 號及南西側ノ南西側方約 60 米(Lat. 35° 27'. 5 N. Long. 139° 43'. 9 E. 假位)ニ設置セル海國 19 號浮標(紅燈)ハ復舊セリ(海國 1065 號參照)(燈臺局)

(5)大阪港—第 5 區 船舶航行禁止解除

12 年 879 項ヲ以テ航行禁止ノ旨告示セル大阪港 第 5 區大津川口至大和川口附近 (Lat. 34° 37' N. Long. 135° 27' E. 假位)ノ航行禁止ハ解除セリ(海國 123 號、1108 號參照)(昭和 12 年 9 月 29 日官報通省告示 2,977 號)

(6)神戸港—第 2 防波堤東南東方 沈船存在

昭和 12 年 9 月 28 日神戸港第 2 防波堤北燈臺ヨリ 100° 500 米(Lat. 34° 39'. 08 N. Long. 135° 12'. 70 E. 假位)ニ鐵材積載ノ無精粉沈没シ紅旗ヲ掲揚ス(海國 101 號參照)(神戸港開港事務所)下關地峽西口—大出ノ鼻燈標南東方 航行上注意

9 月 22 日 0040 汽船密洋丸(吃水 9.38 米)ハ大山ノ鼻燈標ヨリ 150° 約 2.5 哩(Lat. 38° 54'. 45 N. Long. 138° 54'. 48 E. 假位)ノ地點ニ於テ東航中船體ニ鐵材ナル運動ヲ感セリト謂フ(海國 1226 號參照)(汽船密洋丸)

(7)九州南岸 鹿兒島燈臺—神戶燈標 消息

鹿兒島港外神戶燈標 (Lat. 31° 33'. 8 N. Long. 130° 35'. 6 E. 假位)ハ修理ノ爲昭和 12 年 10 月 25 日頃迄沈没ス(海國 921 號參照)(鹿兒島港務所)(燈臺局)

(8)朝鮮南岸一所里島燈臺 警備休止

所里島燈臺(華明白光)(Lat. 34° 24'. 5 N. Long. 127° 48'. 2 E. 假位)附近ノ警備(警備)ハ修理ノ爲昭和 12 年 9 月 24 日ヨリ當分ノ間突場ヲ休止ス(海國 1253 號參照)(朝鮮總督府通信所)

(9)Celebes 北岸—Mendo Road 投筒注意

Mendo River 河口北側 警備浮標(北方)位置附近 (Lat. 1° 30' N. Long. 124° 50' E. 假位) 燈臺ニ船舶ノ突ノ危険及沈没ヲ予(海國 676 號(チーフナー)參照)(Darwin 告示 1937 年 144 項)

●兵庫上—千島燈臺 警備休止

千島(燈臺)十九ノ燈臺「千島」二十ノ燈臺「千島」警備休止

警備員 宇野 正木 岡 同 津田 隆三 岩田 隆三 田中 隆三 岡 同 津田 隆三 岩田 隆三 田中 隆三 岡 同

●大題入學 東北帝國大學ニ於テ去月二十一日附屬學生田村純夫ニ内科學研究ノタメ大學院(入學)許可セリ(文部省)

●大日本古文书出版 東京帝國大學文學部史料編纂所ニ於テ大日本古文书家わけ第十四(三編)出版セリ(文部省)

東京第三小學校	津田 隆三	同	同
伊豆第三小學校	津田 隆三	同	同
神戶第三小學校	津田 隆三	同	同
大阪第三小學校	津田 隆三	同	同
京都第三小學校	津田 隆三	同	同
福岡第三小學校	津田 隆三	同	同
廣島第三小學校	津田 隆三	同	同
山口第三小學校	津田 隆三	同	同
香川第三小學校	津田 隆三	同	同
高松第三小學校	津田 隆三	同	同
岡山第三小學校	津田 隆三	同	同
鳥取第三小學校	津田 隆三	同	同
徳島第三小學校	津田 隆三	同	同
高知第三小學校	津田 隆三	同	同
富山第三小學校	津田 隆三	同	同
石川第三小學校	津田 隆三	同	同
福井第三小學校	津田 隆三	同	同
山梨第三小學校	津田 隆三	同	同
長野第三小學校	津田 隆三	同	同
新潟第三小學校	津田 隆三	同	同
富山第三小學校	津田 隆三	同	同
石川第三小學校	津田 隆三	同	同
福井第三小學校	津田 隆三	同	同
山梨第三小學校	津田 隆三	同	同
長野第三小學校	津田 隆三	同	同
新潟第三小學校	津田 隆三	同	同
富山第三小學校	津田 隆三	同	同
石川第三小學校	津田 隆三	同	同
福井第三小學校	津田 隆三	同	同
山梨第三小學校	津田 隆三	同	同
長野第三小學校	津田 隆三	同	同
新潟第三小學校	津田 隆三	同	同
富山第三小學校	津田 隆三	同	同
石川第三小學校	津田 隆三	同	同
福井第三小學校	津田 隆三	同	同
山梨第三小學校	津田 隆三	同	同
長野第三小學校	津田 隆三	同	同
新潟第三小學校	津田 隆三	同	同
富山第三小學校	津田 隆三	同	同
石川第三小學校	津田 隆三	同	同
福井第三小學校	津田 隆三	同	同
山梨第三小學校	津田 隆三	同	同
長野第三小學校	津田 隆三	同	同
新潟第三小學校	津田 隆三	同	同
富山第三小學校	津田 隆三	同	同
石川第三小學校	津田 隆三	同	同
福井第三小學校	津田 隆三	同	同
山梨第三小學校	津田 隆三	同	同
長野第三小學校	津田 隆三	同	同
新潟第三小學校	津田 隆三	同	同
富山第三小學校	津田 隆三	同	同
石川第三小學校	津田 隆三	同	同
福井第三小學校	津田 隆三	同	同
山梨第三小學校	津田 隆三	同	同
長野第三小學校	津田 隆三	同	同
新潟第三小學校	津田 隆三	同	同
富山第三小學校	津田 隆三	同	同
石川第三小學校	津田 隆三	同	同
福井第三小學校	津田 隆三	同	同
山梨第三小學校	津田 隆三	同	同
長野第三小學校	津田 隆三	同	同
新潟第三小學校	津田 隆三	同	同
富山第三小學校	津田 隆三	同	同
石川第三小學校	津田 隆三	同	同
福井第三小學校	津田 隆三	同	同
山梨第三小學校	津田 隆三	同	同
長野第三小學校	津田 隆三	同	同
新潟第三小學校	津田 隆三	同	同
富山第三小學校	津田 隆三	同	同
石川第三小學校	津田 隆三	同	同
福井第三小學校	津田 隆三	同	同
山梨第三小學校	津田 隆三	同	同
長野第三小學校	津田 隆三	同	同
新潟第三小學校	津田 隆三	同	同
富山第三小學校	津田 隆三	同	同
石川第三小學校	津田 隆三	同	同
福井第三小學校	津田 隆三	同	同
山梨第三小學校	津田 隆三	同	同
長野第三小學校	津田 隆三	同	同
新潟第三小學校	津田 隆三	同	同
富山第三小學校	津田 隆三	同	同
石川第三小學校	津田 隆三	同	同
福井第三小學校	津田 隆三	同	同
山梨第三小學校	津田 隆三	同	同
長野第三小學校	津田 隆三	同	同
新潟第三小學校	津田 隆三	同	同
富山第三小學校	津田 隆三	同	同
石川第三小學校	津田 隆三	同	同
福井第三小學校	津田 隆三	同	同
山梨第三小學校	津田 隆三	同	同
長野第三小學校	津田 隆三	同	同
新潟第三小學校	津田 隆三	同	同
富山第三小學校	津田 隆三	同	同
石川第三小學校	津田 隆三	同	同
福井第三小學校	津田 隆三	同	同
山梨第三小學校	津田 隆三	同	同
長野第三小學校	津田 隆三	同	同
新潟第三小學校	津田 隆三	同	同
富山第三小學校	津田 隆三	同	同
石川第三小學校	津田 隆三	同	同
福井第三小學校	津田 隆三	同	同
山梨第三小學校	津田 隆三	同	同
長野第三小學校	津田 隆三	同	同
新潟第三小學校	津田 隆三	同	同
富山第三小學校	津田 隆三	同	同
石川第三小學校	津田 隆三	同	同
福井第三小學校	津田 隆三	同	同
山梨第三小學校	津田 隆三	同	同
長野第三小學校	津田 隆三	同	同
新潟第三小學校	津田 隆三	同	同
富山第三小學校	津田 隆三	同	同
石川第三小學校	津田 隆三	同	同
福井第三小學校	津田 隆三	同	同
山梨第三小學校	津田 隆三	同	同
長野第三小學校	津田 隆三	同	同
新潟第三小學校	津田 隆三	同	同
富山第三小學校	津田 隆三	同	同
石川第三小學校	津田 隆三	同	同
福井第三小學校	津田 隆三	同	同
山梨第三小學校	津田 隆三	同	同
長野第三小學校	津田 隆三	同	同
新潟第三小學校	津田 隆三	同	同
富山第三小學校	津田 隆三	同	同
石川第三小學校	津田 隆三	同	同
福井第三小學校	津田 隆三	同	同
山梨第三小學校	津田 隆三	同	同
長野第三小學校	津田 隆三	同	同
新潟第三小學校	津田 隆三	同	同
富山第三小學校	津田 隆三	同	同
石川第三小學校	津田 隆三	同	同
福井第三小學校	津田 隆三	同	同
山梨第三小學校	津田 隆三	同	同
長野第三小學校	津田 隆三	同	同
新潟第三小學校	津田 隆三	同	同
富山第三小學校	津田 隆三	同	同
石川第三小學校	津田 隆三	同	同
福井第三小學校	津田 隆三	同	同
山梨第三小學校	津田 隆三	同	同
長野第三小學校	津田 隆三	同	同
新潟第三小學校	津田 隆三	同	同
富山第三小學校	津田 隆三	同	同
石川第三小學校	津田 隆三	同	同
福井第三小學校	津田 隆三	同	同
山梨第三小學校	津田 隆三	同	同
長野第三小學校	津田 隆三	同	同
新潟第三小學校	津田 隆三	同	同
富山第三小學校	津田 隆三	同	同
石川第三小學校	津田 隆三	同	同

Table of school names and locations across various prefectures like 富山縣, 鳥取縣, 島根縣, etc., listing specific schools and their details.

○産業

Table of industrial production data for silk rearing (生絲製造) in 昭和十二年八月, listing quantities and values for different types of silk.

Table of silk rearing production data for 昭和十二年八月, including regional totals and specific prefecture data like 鳥取, 島根, 岡山, etc.

Table of silk rearing production data for 昭和十二年八月, including regional totals and specific prefecture data like 香川, 愛媛, 高知, etc.

Table of silk rearing production data for 昭和十二年八月, including regional totals and specific prefecture data like 北陸區, 東山區, 近畿區, etc.

Table of silk rearing production data for 昭和十二年八月, including regional totals and specific prefecture data like 廣島, 山口, 徳島, etc.

Table of silk rearing production data for 昭和十二年八月, including regional totals and specific prefecture data like 徳島, 香川, 愛媛, etc.

Table with multiple columns listing various items, their values, and categories. Includes sub-sections like (三) 絹織物 and (四) 其他ノ絹織物.

Table titled '観象' (Observation) showing weather data for various locations. Columns include location, wind direction, wind speed, and weather conditions.

Table titled '東京地盤報告' (Tokyo Ground Report) providing data on ground conditions, including measurements and observations.

Table titled '土地收用公告' (Land Acquisition Notice) detailing land acquisition procedures, including dates, locations, and responsible parties.

Table titled '軍事費納金' (Military Contribution) listing names of contributors and their respective contribution amounts.

Table titled '土地收用公告' (Land Acquisition Notice) providing further details on land acquisition, including specific locations and administrative information.

Table of names and amounts. Columns include various categories like '同' and '同'. Rows list names such as '山崎幸二郎', '小島倉二郎', '中野誠', etc., with associated numerical values.

Table of names and amounts. Columns include various categories like '同' and '同'. Rows list names such as '山崎幸二郎', '小島倉二郎', '中野誠', etc., with associated numerical values.



小林村大字鶴岡字大谷内六三九番大宇上末山字... 白根町大字白根字北谷内二九九番一... 右庄瀬村大字上八枚字土居下二編入

白井村大字中山字白蓮自二九二番至二二一六番... 白井村大字中山字白蓮自二九二番至二二一六番... 白井村大字中山字白蓮自二九二番至二二一六番

白井村大字中山字白蓮自二九二番至二二一六番... 白井村大字中山字白蓮自二九二番至二二一六番... 白井村大字中山字白蓮自二九二番至二二一六番

白井村大字中山字白蓮自二九二番至二二一六番... 白井村大字中山字白蓮自二九二番至二二一六番... 白井村大字中山字白蓮自二九二番至二二一六番

賣拂入札 一、乘車券外二點 八〇〇〇〇 二、反古紙 一八〇〇〇 三、紙屑 七〇〇〇

購買入札 一、品名及數量 石炭(中塊) 四一九〇〇〇 二、入札及開札日 本月七日午前十一時

商業登記 本月十七日官報廣告一列漏載當該商號登記... 本月十七日官報廣告一列漏載當該商號登記

川越三乘株式會社變更 昭和十二年五月二十五日左ノ者監査役ニ就任... 川越三乘株式會社變更

合資會社藤井商店變更 無限責任社員藤井新輔ハ昭和十二年五月二十... 株式會社鈴木商店變更

東北石村株式會社變更 監査役鈴木源十郎ハ昭和十二年五月二十二日... 右昭和十二年六月二日登記

伊達漁業株式會社變更 昭和十二年五月十五日監査役氏家榮太郎辭任シ... 同日株主總會ヲ決議シ因リ左ノ者選任セラレ

株式會社北海道拓殖銀行社債償還(支店) 昭和十二年五月二十四日迄ニ償還シタルニ付發... 行殘額ヲ左ノ通り變更ス

株式會社北海道拓殖銀行社債償還(支店) 昭和十二年五月二十四日迄ニ償還シタルニ付發... 行殘額ヲ左ノ通り變更ス

株式會社北海道拓殖銀行社債償還(支店) 昭和十二年五月二十四日迄ニ償還シタルニ付發... 行殘額ヲ左ノ通り變更ス

株式會社設立 一、商號 旭川小型自動車株式會社 二、本店 旭川市七條通八丁目右一號

株式會社設立 一、商號 旭川小型自動車株式會社 二、本店 旭川市七條通八丁目右一號

江富鐵道株式會社清算終了 一、清算終了年月日 昭和十二年五月三十日 二、清算完了日 昭和十二年五月三十一日

株式會社北海道拓殖銀行變更(支店) 昭和十二年五月二十九日取替役永田昌輝ハ住所... 札幌市北二條西一丁目三番地

株式會社北海道拓殖銀行變更(支店) 昭和十二年五月二十九日取替役永田昌輝ハ住所... 札幌市北二條西一丁目三番地

株式會社北海道拓殖銀行變更(支店) 昭和十二年五月二十九日取替役永田昌輝ハ住所... 札幌市北二條西一丁目三番地

Table with 2 columns: Item number (e.g., 第七十五回) and Amount (e.g., 金九萬圓).

Table with 2 columns: Item number (e.g., 第六十一回) and Amount (e.g., 金二十一萬八千圓).

Text block containing legal notices and court decisions, including '株式會社安田銀行變更(支店)' and '合資會社近江屋商店變更'.

Text block containing legal notices and court decisions, including '株式會社北海通銀行變更(支店)' and '合資會社近江屋商店變更'.

Table with 2 columns: Item number (e.g., 二八昭和三年五月二日) and Amount (e.g., 金九萬圓).

Table with 2 columns: Item number (e.g., 五三昭和七年三月十六日) and Amount (e.g., 金二十一萬八千圓).

Text block containing legal notices and court decisions, including '株式會社北海通銀行變更(支店)' and '合資會社近江屋商店變更'.

Text block containing legal notices and court decisions, including '株式會社北海通銀行變更(支店)' and '合資會社近江屋商店變更'.





### 設立認可ノ年月日

昭和十二年十月八日  
一 資本金額 金一千万圓  
一 出資一口ノ金額 金百圓  
一 出資辦法 政府ノ金五百萬圓ヲ出資シ  
一 出資者ノ姓名 政府ノ金五百萬圓ヲ出資シ  
一 出資額 政府ノ金五百萬圓ヲ出資シ  
一 出資期限 政府ノ金五百萬圓ヲ出資シ  
一 出資完了ノ後 政府ノ金五百萬圓ヲ出資シ  
一 出資完了ノ後 政府ノ金五百萬圓ヲ出資シ

### 存立期間

設立ノ日ヨリ五十年

### 第一回ノ抽籤

昭和十二年八月  
一 抽籤ノ場所 東京市品川區五反田五丁目五十七  
一 抽籤ノ時間 毎午二時ヨリ三時  
一 抽籤ノ方法 抽籤機ニシテ抽籤シ  
一 抽籤ノ結果 抽籤機ニシテ抽籤シ

### 事務ノ執行

一 事務ノ執行 抽籤機ニシテ抽籤シ  
一 事務ノ執行 抽籤機ニシテ抽籤シ

### 事務ノ執行

一 事務ノ執行 抽籤機ニシテ抽籤シ  
一 事務ノ執行 抽籤機ニシテ抽籤シ

### 家畜保險組合登記

● 那須郡家畜保險組合變更  
一 事務所 那須郡那須町大字大字  
一 事務所 那須郡那須町大字大字  
一 事務所 那須郡那須町大字大字

### 工業組合登記

● 東京工務工業組合變更  
一 事務所 東京市本所區向島三丁目五番地  
一 事務所 東京市本所區向島三丁目五番地  
一 事務所 東京市本所區向島三丁目五番地

### 債權者集會招集

● 大阪鐵工株式會社  
一 債權者 大阪鐵工株式會社  
一 債權者 大阪鐵工株式會社  
一 債權者 大阪鐵工株式會社

### 復讐許可

● 島根縣那賀郡田代町大字大字  
一 復讐許可 島根縣那賀郡田代町大字大字  
一 復讐許可 島根縣那賀郡田代町大字大字

### 行旅死亡人

● 本籍住所氏名不詳推定三十五六歳男子五尺一  
一 行旅死亡人 本籍住所氏名不詳推定三十五六歳男子五尺一  
一 行旅死亡人 本籍住所氏名不詳推定三十五六歳男子五尺一

### 所屬組合ノ共同ノ利益増進ヲ圖ルコト

● 東京輸送印刷インキ工業組合變更  
一 事務所 東京市本所區向島三丁目五番地  
一 事務所 東京市本所區向島三丁目五番地  
一 事務所 東京市本所區向島三丁目五番地

### 外國郵便物東京中央郵便局

● 昭和十二年九月二十四日  
一 外國郵便物東京中央郵便局  
一 外國郵便物東京中央郵便局  
一 外國郵便物東京中央郵便局

### 準禁治産宣告

● 本籍東京市本所區向島三丁目五番地  
一 準禁治産宣告 本籍東京市本所區向島三丁目五番地  
一 準禁治産宣告 本籍東京市本所區向島三丁目五番地

### 債權者集會招集

● 大阪鐵工株式會社  
一 債權者 大阪鐵工株式會社  
一 債權者 大阪鐵工株式會社  
一 債權者 大阪鐵工株式會社

### 行旅死亡人

● 本籍住所氏名不詳推定三十五六歳男子五尺一  
一 行旅死亡人 本籍住所氏名不詳推定三十五六歳男子五尺一  
一 行旅死亡人 本籍住所氏名不詳推定三十五六歳男子五尺一

### 所屬組合ノ共同ノ利益増進ヲ圖ルコト

● 東京輸送印刷インキ工業組合變更  
一 事務所 東京市本所區向島三丁目五番地  
一 事務所 東京市本所區向島三丁目五番地  
一 事務所 東京市本所區向島三丁目五番地

### 準禁治産宣告

● 本籍東京市本所區向島三丁目五番地  
一 準禁治産宣告 本籍東京市本所區向島三丁目五番地  
一 準禁治産宣告 本籍東京市本所區向島三丁目五番地

### 債權者集會招集

● 大阪鐵工株式會社  
一 債權者 大阪鐵工株式會社  
一 債權者 大阪鐵工株式會社  
一 債權者 大阪鐵工株式會社

### 行旅死亡人

● 本籍住所氏名不詳推定三十五六歳男子五尺一  
一 行旅死亡人 本籍住所氏名不詳推定三十五六歳男子五尺一  
一 行旅死亡人 本籍住所氏名不詳推定三十五六歳男子五尺一

### 所屬組合ノ共同ノ利益増進ヲ圖ルコト

● 東京輸送印刷インキ工業組合變更  
一 事務所 東京市本所區向島三丁目五番地  
一 事務所 東京市本所區向島三丁目五番地  
一 事務所 東京市本所區向島三丁目五番地

### 準禁治産宣告

● 本籍東京市本所區向島三丁目五番地  
一 準禁治産宣告 本籍東京市本所區向島三丁目五番地  
一 準禁治産宣告 本籍東京市本所區向島三丁目五番地

### 債權者集會招集

● 大阪鐵工株式會社  
一 債權者 大阪鐵工株式會社  
一 債權者 大阪鐵工株式會社  
一 債權者 大阪鐵工株式會社

### 行旅死亡人

● 本籍住所氏名不詳推定三十五六歳男子五尺一  
一 行旅死亡人 本籍住所氏名不詳推定三十五六歳男子五尺一  
一 行旅死亡人 本籍住所氏名不詳推定三十五六歳男子五尺一

### 所屬組合ノ共同ノ利益増進ヲ圖ルコト

● 東京輸送印刷インキ工業組合變更  
一 事務所 東京市本所區向島三丁目五番地  
一 事務所 東京市本所區向島三丁目五番地  
一 事務所 東京市本所區向島三丁目五番地

### 準禁治産宣告

● 本籍東京市本所區向島三丁目五番地  
一 準禁治産宣告 本籍東京市本所區向島三丁目五番地  
一 準禁治産宣告 本籍東京市本所區向島三丁目五番地

### 債權者集會招集

● 大阪鐵工株式會社  
一 債權者 大阪鐵工株式會社  
一 債權者 大阪鐵工株式會社  
一 債權者 大阪鐵工株式會社

### 行旅死亡人

● 本籍住所氏名不詳推定三十五六歳男子五尺一  
一 行旅死亡人 本籍住所氏名不詳推定三十五六歳男子五尺一  
一 行旅死亡人 本籍住所氏名不詳推定三十五六歳男子五尺一

### 所屬組合ノ共同ノ利益増進ヲ圖ルコト

● 東京輸送印刷インキ工業組合變更  
一 事務所 東京市本所區向島三丁目五番地  
一 事務所 東京市本所區向島三丁目五番地  
一 事務所 東京市本所區向島三丁目五番地

# 大藏省理財局編纂

A5判 定價二十錢  
送料不要

## 臨時資金調整法令

附 事業資金調整標準

### 目次

- ▽臨時資金調整法 (昭和十二年九月十日 法律第八十六號)
- ▽臨時資金調整法ノ一部施行期日ノ件 (昭和十二年九月十四日 勅令第四百九十二號)
- ▽臨時資金調整法ノ一部施行期日ノ件 (昭和十二年九月二十六日 勅令第五百二十六號)
- ▽臨時資金調整法施行令 (昭和十二年九月二十五日 勅令第五百二十七號)
- ▽臨時資金調整法施行細則 (昭和十二年九月二十五日 大藏省令)
- ▽自治的資金調整標準 (昭和十二年九月)
- ▽臨時資金調整法ニ基ク事業資金調整標準 (昭和十二年九月)

申込所  
○内閣印刷局發行課  
○全國各地官報販賣所  
○全國主要書店

東京市麴町區大手町  
發行所 内閣印刷局  
(電話九ノ内三五一一九番)  
(振替東京一九〇〇番)

## 酸化銅整流器

ライオン・グン石油株式會社輸入

## 高級パラフィン

東京市京橋區新川三丁目六番地  
特約販賣店 細山太七商店  
電話京橋(5)〇九九二、三三八、四二七五

### 特許實施公告

特許番號 九四七四二號  
發明ノ名稱 天然産物ニシテ耐火性材料ヲ製造スル方法  
特許日附 昭和七年二月二十日  
特許權者 ウヰックタール、モリツツ、ゴール、ルニニツト  
右特許權ヲ相當ノ條件ニテ讓渡シ又ハ實施ヲ許諾シ得候間御希望者ハ左記ニ御照會相成度候  
東京市麴町區九ノ内  
三番地一號館内  
中松特許法律事務所  
電話(九ノ内)一〇一〇番

### 貸借對照表

第拾六期決算報告書

貸方之部	1,000,000.00
株主預金	57,000.00
未拂積立金	40,000.00
未拂超過金	100,000.00
前期繰越金	1,000,000.00
合計	1,107,000.00
借方之部	1,107,000.00
未拂込株主	100,000.00
未拂込地金	100,000.00
未拂込現金	1,000,000.00
合計	1,107,000.00

昭和拾貳年八月拾壹日  
東京市京橋區銀座參丁目四番地  
大藏省理財局

### 商號改稱公告

昭和十二年九月十九日臨時株主總會ニ於テ本會社資本總額金壹百壹拾萬圓ヲ金壹百萬圓ニ減資決議ヲ爲シタリ依テ異議アル債權者及ヒ株主ハ來昭和十二年十月三十日迄ニ其旨申出相成度商法第七十八條ニ因リ此段及公告候也  
昭和十二年九月二十九日  
東京市麴町區內幸町壹丁目參番地  
伊豆金山株式會社

# 野矢



野矢商會  
大阪 西區 日海橋  
北區 橋前

日本大石礦業株式會社株式  
於株券 貳拾枚山田か子名  
目甲第一九七二號至甲第一九八〇號  
右株券昭和十二年七月二十五日  
所有者山田か子ヨリ紛失圖アリ  
タルヲ以テ直ニ法現手續ヲ爲シ  
タル所公告期間タル昭和十二年  
九月二十五日迄ニ何等屬申出  
ナキニ依リ右株券ハ失効トス  
右公告候也  
昭和十二年九月二十九日  
東京市麴町區內幸町壹丁目  
參番地  
萬壽日本大石礦業株式會社  
收購伊豆金山株式會社

昭和二十五年 第三種郵便物認可

# 官報

昭和十二年十月四日  
第三千二百二十七號 月曜日

## 勅令

朕小運送業審査委員會官制ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

### 御名 御璽

昭和十二年十月二日  
内閣總理大臣 公府 近衛 文麿  
鐵道大臣 中島知久平

勅令第五百七十三號

小運送業審査委員會官制

第一條 小運送業審査委員會ハ鐵道大臣ノ監督ニ屬シ小運送業法第十二條第二項ノ規定ニ依リ其ノ權限ニ屬セシメタル事項ヲ調査審議ス

第二條 委員會ハ會長一人及委員十人以内ヲ以テ之ヲ組織ス

第三條 會長ハ鐵道大臣ヲ以テ之ニ充ツ委員ハ鐵道大臣ノ奏請ニ依リ左ニ掲グル者ノ中ヨリ内閣ニ於テ之ヲ命ズ

一 關係各處高等官  
二 學識經驗アル者  
前項第二號ニ掲グル者ノ中ヨリ命ゼラレタル委員ノ任期ハ二年トス但シ特別ノ事

官報 第三二七號 昭和十二年十月四日 月曜日

由アル場合ニ於テハ任期中之ヲ解任スルコトヲ妨グズ

第四條 會長ハ會務ヲ總理ス

會長事故アルトキハ會長ノ指名スル委員其ノ職務ヲ代理ス

第五條 委員會ニ幹事ヲ置ク鐵道大臣ノ奏請ニ依リ内閣ニ於テ之ヲ命ズ

幹事ハ會長ノ指揮ヲ承ケ職務ヲ整理ス

第六條 委員會ニ書記ヲ置ク鐵道大臣ノ奏命ス

書記ハ上司ノ指揮ヲ承ケ職務ニ從事ス

附則  
本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

## 省令

●海軍省令第二十六號

昭和十三年前期入隊ノ甲種飛行豫科練習生タルコトヲ志願スル航空兵ノ徵募検査ハ昭和十二年海軍省令第十號第三條及第四條ノ規定ニ拘ラス身體検査ハ昭和十二年十二月下旬、學力試験ハ昭和十三年一月中旬ニ於テ之ヲ行フ

附則  
本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

昭和十二年十月四日  
海軍大臣 米内 光政

(參照)  
昭和十二年五月十日海軍省令第十號ハ甲種飛行豫科練習生タルコトヲ志願スル航空兵ノ徵募ニ關スル條件ナ

●通信省令第八十四號  
船舶建造及修繕用物品承認規則中左ノ通改正ス

昭和十二年十月四日  
通信大臣 永井柳太郎

第一條中「製鐵業獎勵法施行令」ヲ「製鐵事業法施行令」ニ改ム

附則  
本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

本令施行前ニ爲サレタル船舶建造又ハ修繕用物品承認申請ハ本令ニ依リ之ヲ爲シタルモノト看做ス

(參照)  
大正十五年四月十日通信省令第十五號船舶建造及修繕用物品承認規則附則

第一條第一項  
船舶ノ建造又ハ修繕ヲ爲ス者大正十年勅令第二百三十九號及新製鐵業獎勵法施行令ニ依リ定ムル管轄官廳ノ承認ヲ受ケムトスルコトキ承認申請書ヲ船舶ノ建造又ハ修繕ヲ爲ス工場ノ所在地ヲ管轄スル管轄官廳ニ提出ス

## 告示

●外務省告示第八十四號  
昭和十二年十月一日在中華民國張家口帝國領事館ヲ帝國總領事館ニ改定セリ

昭和十二年十月四日  
外務大臣 廣田 弘毅

●內務省告示第五百八十三號  
昭和十二年十月一日左ノ健康保險組合ノ設立ヲ認可セリ

昭和十二年十月四日  
內務大臣 馬場 鐵一

一 組合ノ名稱 川西航空機健康保險組合  
二 事務所ノ所在地 兵庫縣武庫郡鳴尾村鳴尾字大東一番地  
三 組合ノ設立アル事業ノ名稱及所在地 川西航空機株式會社 兵庫縣武庫郡鳴尾村鳴尾字大東一番地

●內務省告示第五百八十四號  
昭和十二年十月一日左ノ健康保險組合ノ設立ヲ認可セリ

昭和十二年十月四日  
內務大臣 馬場 鐵一

一 組合ノ名稱 東京製鋼小倉健康保險組合  
二 事務所ノ所在地 福岡縣小倉市大字砂津六百三十番地  
三 組合ノ設立アル事業ノ名稱及所在地 東京製鋼株式會社 東京府東京市日本橋區吳服橋三丁目五番地  
但シ左ノ場所ニ於ケル作業ヲ一事業ト看做シタルモノトス  
福岡縣小倉市大字砂津六百三十番地 東京製鋼株式會社小倉工場

●內務省告示第五百八十五號  
昭和十二年十月一日左ノ健康保險組合ノ設立ヲ認可セリ

昭和十二年十月四日  
內務大臣 馬場 鐵一

一 組合ノ名稱 住友湯之舞健康保險組合  
二 事務所ノ所在地 北海道紋別郡紋別町大字藻蘭村字上モベツ番外地  
三 組合ノ設立アル事業ノ名稱及所在地 株式會社住友本社 大阪府大阪市東區北濱五丁目二十二番地

次目  
●勅令 小運送業審査委員會官制 九七  
●省令 船舶建造及修繕用物品承認規則中左ノ通改正 九七  
●告示 張家口帝國領事館ヲ帝國總領事館ニ改定 九七  
●告示 川西航空機健康保險組合ノ設立ヲ認可 九七  
●告示 東京製鋼小倉健康保險組合ノ設立ヲ認可 九七  
●告示 住友湯之舞健康保險組合ノ設立ヲ認可 九七  
●告示 川西航空機健康保險組合ノ設立ヲ認可 九七  
●告示 東京製鋼小倉健康保險組合ノ設立ヲ認可 九七  
●告示 住友湯之舞健康保險組合ノ設立ヲ認可 九七



(140) 富山縣營鐵道線ノ部中魚津ノ行ヲ左ノ如ク改ム



朝鮮總督府告示第五百四號  
無線電信法第二條ノ規定ニ依リ左ノ私設無線電話ヲ施設スルコトヲ許可シタリ  
昭和十二年七月十七日

朝鮮總督府告示第五百五號  
無線電信法第二條ノ規定ニ依リ左ノ私設無線電話ヲ施設スルコトヲ許可シタリ  
昭和十二年七月十七日

朝鮮總督府告示第五百六號  
無線電信法第二條ノ規定ニ依リ左ノ私設無線電話ヲ施設スルコトヲ許可シタリ  
昭和十二年七月十七日

朝鮮總督府告示第五百七號  
無線電信法第二條ノ規定ニ依リ左ノ私設無線電話ヲ施設スルコトヲ許可シタリ  
昭和十二年七月十七日

朝鮮總督府告示第五百八號  
無線電信法第二條ノ規定ニ依リ左ノ私設無線電話ヲ施設スルコトヲ許可シタリ  
昭和十二年七月十七日

朝鮮總督府告示第五百九號  
無線電信法第二條ノ規定ニ依リ左ノ私設無線電話ヲ施設スルコトヲ許可シタリ  
昭和十二年七月十七日

朝鮮總督府告示第五百十號  
無線電信法第二條ノ規定ニ依リ左ノ私設無線電話ヲ施設スルコトヲ許可シタリ  
昭和十二年七月十七日

朝鮮總督府告示第五百十一號  
無線電信法第二條ノ規定ニ依リ左ノ私設無線電話ヲ施設スルコトヲ許可シタリ  
昭和十二年七月十七日

叙任及辭令

昭和十二年八月二十四日  
陸軍歩兵少尉正八位 林保  
昭和十二年八月二十六日  
陸軍歩兵准尉八等 野口正太郎  
昭和十二年九月六日  
陸軍工兵少尉正八位 庄子十二  
昭和十二年九月七日  
陸軍歩兵少尉 上妻理記  
昭和十二年九月八日  
陸軍歩兵准尉七等 猪股英雄  
昭和十二年九月九日  
陸軍歩兵少尉正八位 吉田益三  
昭和十二年九月十日  
陸軍歩兵少尉正八位 石井米市  
陸軍歩兵少尉正八位 小幡茂男  
陸軍歩兵少尉正八位 早瀬浩  
陸軍歩兵中尉 西村讓一  
陸軍歩兵准尉七等 葛原始  
陸軍航空兵少佐 佐々木長吉  
陸軍航空兵少佐 七位勳六等功五級 平長一  
昭和十二年九月十一日  
陸軍航空兵少佐 七位勳六等功五級 長一  
陸軍歩兵少尉 佐々木長吉  
陸軍歩兵少尉 西川長太  
昭和十二年九月十二日  
陸軍歩兵少尉正八位 三宅與一郎  
陸軍歩兵少尉正八位 森本信夫

陸軍歩兵中尉 長瀬茂  
陸軍歩兵准尉七等 吉田岩壽  
陸軍歩兵少尉 池田延夫  
昭和十二年九月十三日  
陸軍騎兵少尉 鈴木熊太郎  
昭和十二年九月十四日  
陸軍騎兵少尉 細貝三郎  
陸軍歩兵少尉 杉本五郎  
陸軍歩兵中尉 貞治  
昭和十二年九月十五日  
陸軍騎兵少尉正八位 大橋毅郎  
陸軍歩兵少尉 倉本林藏  
陸軍騎兵中尉 倉本林藏  
陸軍歩兵少尉正八位 長野滿雄  
陸軍歩兵少尉正八位 北村忠夫  
昭和十二年九月十六日  
陸軍歩兵少尉 中西新一  
陸軍歩兵少尉正七位勳六等 田中騷  
陸軍歩兵中尉 高濱武夫  
陸軍軍醫大尉正七位 小川春一郎  
陸軍軍醫少佐 真雄  
陸軍歩兵中尉 大谷貞雄  
陸軍歩兵少尉正八位 岡本善太  
陸軍歩兵中尉 善太  
陸軍歩兵准尉八等 森脇清士  
陸軍歩兵准尉七等 吉部員乎  
陸軍歩兵准尉八等 渡邊義夫

陸軍歩兵准尉 加藤重三  
昭和十二年九月十七日  
陸軍砲兵少佐正六位勳四等 松本春彦  
陸軍砲兵中尉 五十嵐博  
昭和十二年九月十八日  
陸軍砲兵大尉正七位勳六等 小嵐喜一郎  
陸軍歩兵少尉 小嵐喜一郎  
陸軍歩兵少尉正八位 實田利秋  
陸軍歩兵中尉 小寺俊介  
昭和十二年十月一日  
從六位 安保愛樂  
從六位勳六等 及川龍夫  
從六位勳五等 平田龍男  
從六位勳四等 大迫澄佳  
從六位勳四等 岡田正穂  
從六位勳四等 岩橋利夫  
從六位勳五等 岩橋勝利  
從六位勳四等 山田規矩二  
從六位勳五等 宮崎駿雄  
從六位勳五等 矢島登義太  
從六位勳四等 北河齊  
從六位勳四等 佐澤直  
從六位勳四等 水上務  
從六位勳五等 久我玄英  
從六位勳五等 瀨川吉雄  
從六位勳四等 梶本誓  
從六位勳四等 久野保  
從六位勳六等 大田澄  
從六位勳六等 佐野敏  
從六位勳五等 青木久男  
從六位勳四等 水野武  
從六位勳五等 武藤卓  
從六位勳五等 丹原隼夫

從六位勳六等 中間視十代  
從六位 長澤實次  
從六位 氏家正夫  
從六位 國政眞男  
從六位 丸山正次  
從六位 新納時延  
從六位 飯山悦治  
從六位 飯山悦治  
從六位 植山日二  
從六位 小倉明  
從六位 桑原國朝  
從六位 齋藤規矩三  
從六位 鈴木忠五  
從六位 高林茂男  
從六位 高野重秋  
從六位 千種達夫  
從六位 恒田文次  
從六位 堀切順  
從六位 三野盛一  
從六位 稻田喜代治  
從六位 岡田善一  
從六位 熊澤孝平  
從六位 幸節靜彦  
從六位 竹内次郎  
從六位 西川精開  
從六位 又平俊一郎  
從六位 井澤實猛  
從六位 八木豐太郎  
從六位 萩原竹儀  
從六位 村岡武夫  
從六位 隈元孝道  
從六位 竹原精太郎  
從六位 古橋浦四郎  
從六位 南出一雄  
從六位 河本喜與之  
從六位 眞田幸雄  
從六位 澤榮三  
從六位 林平八郎

Table of appointments and ranks for various departments including Agriculture, Education, and Finance. Columns list names, ranks (e.g., 正七位勳四等功五級), and titles (e.g., 任農林技師).

Table of appointments and ranks for various departments including Agriculture, Education, and Finance. Columns list names, ranks (e.g., 正七位勳四等功五級), and titles (e.g., 任農林技師).

●**増給** 高等官六等特選三等郵便局長土屋一郎、同長谷川新兵衛、同瀧澤誠吉、同清水孝一郎、同瀧澤九左衛門、同若川清九郎、同清水傳之助、同宮原庄右衛門、同川上七郎、同西村泰右衛門、同尾崎實、同海峯八郎、同多田治、同長瀬田同、同藤雄太、同高木學、同岡本木、同原田千代助、同野野誠、同高木善治郎、同八木萬次郎、高等官七等特選三等郵便局長枝澤實三、同阿部仙藏、同香城松吉、同古山榮治、同田代末高、同佐藤左衛門、同本月一日手當八拾圓ニ増給セリ

●**退職** 朝鮮總督府平安北道昌城郡昌城而長(兼任特選)金若雄ハ本年八月十二日願ニ依リ而長ヲ免セラレタリ

●**官吏死去** 退役海軍特務少尉正七位勳五等後藤謙吉ハ本年八月二十八日、後備役同中尉從七位勳六等高橋善市ハ去月五日、休職地方事務官正七位安達正久ハ同日歿セリ

●**教職死去** 公立實業學校校長兼公立實業學校教諭公立青年學校校長正六位天野泰次郎ハ去月二十六日死去セリ

●**公證人任命** 名古屋地方裁判所所屬公證人丹羽清吉ハ本月一日願ニ依リ公證人ヲ免セラレタリ(司法省)

●**公證人任命** 從四位勳三等川井信次郎ハ本月一日公證人ニ任セラレ、名古屋地方裁判所所屬及元公證人丹羽清吉ノ後任ヲ命セラレタリ(司法省)

●**警察** 警察講習所ニ於テ本月二十日日本科第二十四期講習生百五十九名ニ對シ卒業證書授與式ヲ舉行セリ其卒業生ノ官職氏名左ノ如シ印ハ警察講習所長賞懐中時計一箇、△賞狀ハ賞状ヲ授與セラレ、△印ハ學生生活長トシテ情シク功績顯著ニ付警察講習所長ヨリ賞狀ヲ授與セラレ(内務省)

●**北海道廳** 寺谷 二雄 同 辻 善孝 同 氏家 幸三 同 三浦 幸三 同 山口方太郎 同 警視廳警 岩井 喜通 同

●**陸軍** 陸軍醫大佐吉村 市郎 陸軍獸醫大佐吉村 市郎 第八回東京府 陸軍共進會審査長ヲ囑託ス(陸軍省)

●**地方官** 地方官主事 日吉 義雄 埼玉縣商工主事ニ補ス 地方商工技師 立石 秋男 福井縣商工技師ニ補ス(以上請商工省) 通信書記官 村上 好 五級俸下賜 道路技師兼土木技師 林 八次郎 八級俸下賜 同 都留 哲雄 九級俸下賜(以上請京都府) 公立中學校教諭 有田 悅二 七級俸當分千五百下賜(請長崎縣) 八級俸當分千參下賜(請同) 八級俸當分千參下賜(請同) 地方農林技師 千葉 北海 六級俸下賜(請青森縣) 同 中村 壽助 九級俸下賜(請同) 體育運動主事 鹿内 一胤 十級俸下賜(請同) 地方農林技師 上林小四郎 十一級俸下賜(請同) 飯野 良佐 十二級俸下賜(請同) 地方農林主事 梯 忠夫 十級俸下賜(請石川縣) 地方商工技師 三宅五郎 公立實業學校教諭 平林 象三 公立學校職員年功加俸令ニ依リ昭和十二年二月十六日ヨリ年功加俸年額金貳百壹圓下賜 公立中學校教諭 伊澤 末藏 公立學校職員年功加俸令ニ依リ昭和十一年十一月六日ヨリ年功加俸年額金九拾六圓下賜

●**官廳事項** 逓信省分課規程中改正 逓信省分課規程中左ノ通改正シ本月一日ヨリ施行セリ 第二十五條中「五課」ヲ「六課」ニ改メ「監理課」ノ次ニ「統務課」ヲ加フ 第二十一條中第一號及第二號ヲ削リ第三號ヲ第一號トシ以下順次繰上セリ 第二十二條ニ左ノ一號ヲ加フ 八 船舶管理委員會ニ關スル事項 第二十二條ノ二 管船局統務課ハ左ノ事務ヲ掌理ス 一 臨時船舶管理法ニ依ル海運ノ調査及統計ニ關スル事項 二 日本船舶ノ運送、貸渡、擔保又ハ引渡ノ許可ニ關スル事項

●**宮廷錄事** 去月十六日 天皇陛下ヨリメキシコ國大統領閣下へ御發送ノ御祝電ニ對シ本月一日御答電アリタリ

●**正誤** 本月一日本欄四二頁三段中山郡部ノ上ノ市會職員(ハ町會職員)ノ報告誤 内務書記官 同日同三六頁二段「尾代幸」ハ「尾代幸」一昨二日同六九頁二段林環ノ辭令文中「補佐官」ハ「補佐官」ノ誤ト誤

●**航空事業調査委員會幹事ヲ免ス** 航空事業調査委員會幹事ヲ免ス 津田鐵外喜 同 渡邊善二郎

●**東京駐在米國總領事へ御認可狀御下付** 今般チャールズ、アール、カモロン (Charles H. Hancock) 東京駐在米國總領事ニ任命セラレタルニ付去月二十八日附ヲ以テ其職務執行ニ關スル御認可狀御下付相成タリ

●**官吏族籍變更** 宮城縣平民東京女子高等師範學校教授大槻虎男ハ今般東京府へ其族籍ヲ變更セリ

●**官吏改姓** 逓信技師寺岡節也ハ本年三月二十四日改姓シ司法官試補石坂 恒雄ハ今般堀内ト改姓シ去月二十八日附御出テタリ

●**勤務變更** 從前内務大臣官房都市計畫課勤務ノ内務事務官入江誠一郎、同川上和吉、同池野清、同江口見登、同内務技術課木寛之、同菱田厚介、同小林隆雄、同北村德太郎、同櫻井英記、同伊東五郎、同磯谷道一、同町田保、同松井連夫ハ内務省計畫局ノ設置ニ伴ヒ去月一日同局勤務ト爲レリ

●**轉勤** 朝鮮黃海道公立普通學校校長(兼任特選)朝鮮公立普通學校訓導長石與一ハ本年八月三十一日沙里院第一公立普通學校勤務同校長ヲ命セラレ、津井公立普通學校勤務同校長兼務ヲ免セラレタリ

●**陸軍** 陸軍醫大佐吉村 市郎 陸軍獸醫大佐吉村 市郎 第八回東京府 陸軍共進會審査長ヲ囑託ス(陸軍省)

●**地方官** 地方官主事 日吉 義雄 埼玉縣商工主事ニ補ス 地方商工技師 立石 秋男 福井縣商工技師ニ補ス(以上請商工省) 通信書記官 村上 好 五級俸下賜 道路技師兼土木技師 林 八次郎 八級俸下賜 同 都留 哲雄 九級俸下賜(以上請京都府) 公立中學校教諭 有田 悅二 七級俸當分千五百下賜(請長崎縣) 八級俸當分千參下賜(請同) 八級俸當分千參下賜(請同) 地方農林技師 千葉 北海 六級俸下賜(請青森縣) 同 中村 壽助 九級俸下賜(請同) 體育運動主事 鹿内 一胤 十級俸下賜(請同) 地方農林技師 上林小四郎 十一級俸下賜(請同) 飯野 良佐 十二級俸下賜(請同) 地方農林主事 梯 忠夫 十級俸下賜(請石川縣) 地方商工技師 三宅五郎 公立實業學校教諭 平林 象三 公立學校職員年功加俸令ニ依リ昭和十二年二月十六日ヨリ年功加俸年額金貳百壹圓下賜 公立中學校教諭 伊澤 末藏 公立學校職員年功加俸令ニ依リ昭和十一年十一月六日ヨリ年功加俸年額金九拾六圓下賜

●**官廳事項** 逓信省分課規程中改正 逓信省分課規程中左ノ通改正シ本月一日ヨリ施行セリ 第二十五條中「五課」ヲ「六課」ニ改メ「監理課」ノ次ニ「統務課」ヲ加フ 第二十一條中第一號及第二號ヲ削リ第三號ヲ第一號トシ以下順次繰上セリ 第二十二條ニ左ノ一號ヲ加フ 八 船舶管理委員會ニ關スル事項 第二十二條ノ二 管船局統務課ハ左ノ事務ヲ掌理ス 一 臨時船舶管理法ニ依ル海運ノ調査及統計ニ關スル事項 二 日本船舶ノ運送、貸渡、擔保又ハ引渡ノ許可ニ關スル事項

●**宮廷錄事** 去月十六日 天皇陛下ヨリメキシコ國大統領閣下へ御發送ノ御祝電ニ對シ本月一日御答電アリタリ

●**正誤** 本月一日本欄四二頁三段中山郡部ノ上ノ市會職員(ハ町會職員)ノ報告誤 内務書記官 同日同三六頁二段「尾代幸」ハ「尾代幸」一昨二日同六九頁二段林環ノ辭令文中「補佐官」ハ「補佐官」ノ誤ト誤

●**航空事業調査委員會幹事ヲ免ス** 航空事業調査委員會幹事ヲ免ス 津田鐵外喜 同 渡邊善二郎

●**東京駐在米國總領事へ御認可狀御下付** 今般チャールズ、アール、カモロン (Charles H. Hancock) 東京駐在米國總領事ニ任命セラレタルニ付去月二十八日附ヲ以テ其職務執行ニ關スル御認可狀御下付相成タリ

●**官吏族籍變更** 宮城縣平民東京女子高等師範學校教授大槻虎男ハ今般東京府へ其族籍ヲ變更セリ

●**官吏改姓** 逓信技師寺岡節也ハ本年三月二十四日改姓シ司法官試補石坂 恒雄ハ今般堀内ト改姓シ去月二十八日附御出テタリ

●**勤務變更** 從前内務大臣官房都市計畫課勤務ノ内務事務官入江誠一郎、同川上和吉、同池野清、同江口見登、同内務技術課木寛之、同菱田厚介、同小林隆雄、同北村德太郎、同櫻井英記、同伊東五郎、同磯谷道一、同町田保、同松井連夫ハ内務省計畫局ノ設置ニ伴ヒ去月一日同局勤務ト爲レリ

●**轉勤** 朝鮮黃海道公立普通學校校長(兼任特選)朝鮮公立普通學校訓導長石與一ハ本年八月三十一日沙里院第一公立普通學校勤務同校長ヲ命セラレ、津井公立普通學校勤務同校長兼務ヲ免セラレタリ

●**陸軍** 陸軍醫大佐吉村 市郎 陸軍獸醫大佐吉村 市郎 第八回東京府 陸軍共進會審査長ヲ囑託ス(陸軍省)

●**地方官** 地方官主事 日吉 義雄 埼玉縣商工主事ニ補ス 地方商工技師 立石 秋男 福井縣商工技師ニ補ス(以上請商工省) 通信書記官 村上 好 五級俸下賜 道路技師兼土木技師 林 八次郎 八級俸下賜 同 都留 哲雄 九級俸下賜(以上請京都府) 公立中學校教諭 有田 悅二 七級俸當分千五百下賜(請長崎縣) 八級俸當分千參下賜(請同) 八級俸當分千參下賜(請同) 地方農林技師 千葉 北海 六級俸下賜(請青森縣) 同 中村 壽助 九級俸下賜(請同) 體育運動主事 鹿内 一胤 十級俸下賜(請同) 地方農林技師 上林小四郎 十一級俸下賜(請同) 飯野 良佐 十二級俸下賜(請同) 地方農林主事 梯 忠夫 十級俸下賜(請石川縣) 地方商工技師 三宅五郎 公立實業學校教諭 平林 象三 公立學校職員年功加俸令ニ依リ昭和十二年二月十六日ヨリ年功加俸年額金貳百壹圓下賜 公立中學校教諭 伊澤 末藏 公立學校職員年功加俸令ニ依リ昭和十一年十一月六日ヨリ年功加俸年額金九拾六圓下賜

●**官廳事項** 逓信省分課規程中改正 逓信省分課規程中左ノ通改正シ本月一日ヨリ施行セリ 第二十五條中「五課」ヲ「六課」ニ改メ「監理課」ノ次ニ「統務課」ヲ加フ 第二十一條中第一號及第二號ヲ削リ第三號ヲ第一號トシ以下順次繰上セリ 第二十二條ニ左ノ一號ヲ加フ 八 船舶管理委員會ニ關スル事項 第二十二條ノ二 管船局統務課ハ左ノ事務ヲ掌理ス 一 臨時船舶管理法ニ依ル海運ノ調査及統計ニ關スル事項 二 日本船舶ノ運送、貸渡、擔保又ハ引渡ノ許可ニ關スル事項

●**宮廷錄事** 去月十六日 天皇陛下ヨリメキシコ國大統領閣下へ御發送ノ御祝電ニ對シ本月一日御答電アリタリ

●**正誤** 本月一日本欄四二頁三段中山郡部ノ上ノ市會職員(ハ町會職員)ノ報告誤 内務書記官 同日同三六頁二段「尾代幸」ハ「尾代幸」一昨二日同六九頁二段林環ノ辭令文中「補佐官」ハ「補佐官」ノ誤ト誤

●**航空事業調査委員會幹事ヲ免ス** 航空事業調査委員會幹事ヲ免ス 津田鐵外喜 同 渡邊善二郎

●**東京駐在米國總領事へ御認可狀御下付** 今般チャールズ、アール、カモロン (Charles H. Hancock) 東京駐在米國總領事ニ任命セラレタルニ付去月二十八日附ヲ以テ其職務執行ニ關スル御認可狀御下付相成タリ

●**官吏族籍變更** 宮城縣平民東京女子高等師範學校教授大槻虎男ハ今般東京府へ其族籍ヲ變更セリ

●**官吏改姓** 逓信技師寺岡節也ハ本年三月二十四日改姓シ司法官試補石坂 恒雄ハ今般堀内ト改姓シ去月二十八日附御出テタリ

●**勤務變更** 從前内務大臣官房都市計畫課勤務ノ内務事務官入江誠一郎、同川上和吉、同池野清、同江口見登、同内務技術課木寛之、同菱田厚介、同小林隆雄、同北村德太郎、同櫻井英記、同伊東五郎、同磯谷道一、同町田保、同松井連夫ハ内務省計畫局ノ設置ニ伴ヒ去月一日同局勤務ト爲レリ

●**轉勤** 朝鮮黃海道公立普通學校校長(兼任特選)朝鮮公立普通學校訓導長石與一ハ本年八月三十一日沙里院第一公立普通學校勤務同校長ヲ命セラレ、津井公立普通學校勤務同校長兼務ヲ免セラレタリ



●召集下士官退校 本年八月一日明野陸軍飛行學校下士官退校シ引續キ入校シタル...

○學事 京師帝國大學ニ於テ左ノ通各師範ノ日附ヲ以テ 講師ヲ囑託...

●大學院入學 京師帝國大學ニ於テ左ノ通頭書ノ日附ヲ以テ大學院入學ヲ許可セリ...

●入學許可 名古屋高等工業學校ニ於テ本月ヨリ工業技術員養成科ニ入學ヲ許可シタル者ノ氏名...

製園工科 市岡 希夫 丹羽 榮吉 富田 徳彌 吉川 景重 熊澤 元正 藤田 彪...

○補助金交付 石川縣ニ對シ 補助定額設備補助金トシテ昭和十二年度ニ於テ...

○生絲消費高 昭和十二年八月生絲消費高左ノ如シ(農林省) 昭和十二年八月ニ於ケル生絲消費高ハ...

○器機生絲 一、六七七、九六四斤(八六三) 座標生絲 一、〇九、三九四斤(五二)...

昭和十二年八月生絲消費高 總數 白蘭絲 黃蘭絲 總數 白蘭絲 黃蘭絲...

Table showing silk consumption data by region (關東區, 關西區, 北陸區, 東海區, 近畿區, 山梨, 石川, 富山, 福井, 岐阜, 長野, 山梨, 東海, 關西, 關東) and type of silk (白蘭絲, 黃蘭絲).

●都市別 本月ニ於ケル建築工事ヲ都市別ニ觀察スルニ棟數ニ在リテハ東京最モ多ク...

Table showing construction statistics by prefecture (中國區, 關東區, 關西區, 北陸區, 東海區, 近畿區, 山梨, 石川, 富山, 福井, 岐阜, 長野, 山梨, 東海, 關西, 關東).

Table showing construction statistics by building type (住宅, 工場, 倉庫, 事務所, 商店, 學校, 醫院, 官廳, 工廠, 倉庫, 事務所, 商店, 學校, 醫院, 官廳).

Table with multiple columns listing various public works and administrative matters, including categories like '都市別' (Municipalities), '山形市', '東京市', etc., and their respective details.

Table listing names of individuals and their addresses, organized by city (e.g., 大京市, 神戶市, 西宮市, etc.), with columns for name, address, and date.

Table listing various public works and administrative matters, including categories like '栃木縣足利郡', '茨城縣多賀郡', etc., and their respective details.

在外公館報告
關領印度織物輸入制限令延長 本件ニ關スル去月二十二日著バタヴィア駐在總領事代理小谷...

Table listing various public works and administrative matters, including categories like '同縣東津輕郡東嶽村', '岩手縣岩手郡中野村', etc., and their respective details.

Table listing various public works and administrative matters, including categories like '同縣同郡同村外一郡一村', '高知縣高知郡大正村', etc., and their respective details.

Table with columns for '観象' (Observation) and '観象' (Observation). It lists various items like '別掲セサル絹織物' and their quantities and values.

Table with columns for '地名' (Location Name), '本年初日' (This Year's First Day), and '昨年比較' (Comparison with Last Year). It lists locations like '旭川' and '大沼' with their respective data.

Table titled '東京気象' (Tokyo Weather) showing weather conditions for September 30th. It includes columns for '最高気温' (Maximum Temperature), '最低気温' (Minimum Temperature), and '平均気温' (Average Temperature).

土地收用公告 (Land Acquisition Notice)

Text regarding land acquisition, mentioning '昭和三十二年十月十四日' and '昭和三十二年三月三十一日'.

Table titled '軍事費献納金' (Military Contribution Money) listing names and amounts of donors.

廣告 (Advertisement)

Advertisement text for '高山市真綿加工' and other services.

Table with columns for '同' (Same) and '同' (Same). It lists various items and their values, including '桑原高等小學校' and '日本毛織株式會社'.

Table with columns for '同' (Same) and '同' (Same). It lists various items and their values, including '日赤愛護會' and '日赤支部'.

Table with columns for '同' (Same) and '同' (Same). It lists various items and their values, including '野口雄二部方' and '代議士'.



Table of names and numbers, organized in columns. Includes names like 宮崎, 佐賀, 鹿島, etc.

工場財團 昭和三十二年十月四日 東京裁判所下板橋出張所

工場財團公告中訂正 昭和三十二年十月四日 東京裁判所

Table of names and numbers, organized in columns. Includes names like 宮崎, 佐賀, 鹿島, etc.

昭和三十二年十月四日 東京裁判所下板橋出張所

昭和三十二年十月四日 東京裁判所













# 石原金庫

型送呈 型送呈

石原金庫店 東京本所 四丁目 七六番 電話本所 (73) 七六番

第一切親實確全守

# ゼブラペン

商工省 優良國産 最新ノ技術

郵便切手六十銭郵送附次郵券紙付キ見本進呈ス

三十五種類外 (クロムペン十二種)

ゼブラ G ペン  
ゼブラ 銀行ペン  
ゼブラ スクールペン  
ゼブラ デイレクターペン  
ゼブラ 120 號ペン  
ゼブラ ラウドペン

所作製先へ川石 東京 東

# 世界の權威

## 井口工學博士 專賣特許

# みのおのちの海苔ポンプ

鑛山用、各種工業用、耕地灌漑用、上下水道用、土木建築用、カタログ進呈

株 荏原製作所  
東京市品川区西品川二丁目七五〇  
電話大崎代表 3121  
振替東京五五七六八番・電信略號(エハラ)又ハ(エ)

大阪市北區朝日ビル内 大阪出張所  
關門市片土居町四十一番地 關岡出張所  
京都市長谷川町五十番地 京出張所

### 第三期決算公告

貸借対照表 昭和十二年八月三十一日現在

科目	金額
株主勘定	11,100,000.00
未拂込資本金	11,100,000.00
固定資産	2,700,000.00
建設工事勘定	2,700,000.00
建設利息	100,000.00
建設費用	100,000.00
流動資産	10,000,000.00
現金	10,000,000.00
債権	10,000,000.00
負債	10,000,000.00
借入金	10,000,000.00
未払金	10,000,000.00
未払利息	10,000,000.00
未払税金	10,000,000.00
未払手数料	10,000,000.00
未払費用	10,000,000.00
未払利息	10,000,000.00
未払税金	10,000,000.00
未払手数料	10,000,000.00
未払費用	10,000,000.00

右ノ通りニ候也  
昭和十二年十月 中部共同火力發電株式會社

# 帳簿

天勝堂帳簿製作所

東京市品川区西品川二丁目七五〇  
電話大崎代表 3121  
振替東京五五七六八番・電信略號(エハラ)又ハ(エ)

大阪市北區朝日ビル内 大阪出張所  
關門市片土居町四十一番地 關岡出張所  
京都市長谷川町五十番地 京出張所

# 國家試験

高文、普文及學生受験者の必讀書

第九十卷九月十一日發行  
第九十一卷十月十五日發行

東京本郷森川町 育成洞 電話小石川(86)七八一  
帝大正門前 振替東京一七三三四

# 日立モートル

三單 相相反分 相相 形式

日立製作所 東京・丸の内

湯沸は... テピター

便利 經濟 只一台で!

北辰商會 東京・京橋 橋町二ノ三 電話京橋 56 (8317) (9082)

# MARUZEN 計算機

ダルトン作表計算機

計算と作表を一手に引受け見事に解決する事務試験機

RONDE DALTON

丸善株式会社

# 堀井膳寫版

業入出輸般一及

最新式三元

町治殿 園田神 市京東 元壽發  
店本堂寫膳井堀  
店本井堀 橋時  
六二四・五二四・四二四・三二四・二二四・(25)田神 話電  
城京・津天・口濱・海上・店支

内閣印刷局編纂

B5判 定價 一圓  
四〇〇頁 送料(内地十六錢) 外國三十六錢

# 官廳刊行圖書目錄

## 第四十二號 (昭和十二年第二期) 發賣

### 本號の內容

○昭和十二年四月より六月迄の三箇月間に各官廳にて刊行の圖書、地圖類等の總目錄

○各省初め朝鮮、臺灣、樺太、南洋、其他道府縣の各官廳は勿論各試驗場、學校、圖書館、商品陳列所等の刊行圖書を網羅す

○各圖書の主管部局課名、刊行種別、內容主要事項、創刊年月、賣品の定價及販賣所等をも載録

▼本書は昭和二年一月―三月分を第一號とし  
▼引續き毎三箇月分を各號に收録刊行す

申込所 内閣印刷局發行課  
全国各地官報販賣所  
全国各地主要書店

東京市麴町區大手町  
發行所 内閣印刷局  
(電話丸の内三五一―三五九)  
振替東京一九〇〇〇

昭和二十五年三月三十一日第三種郵便物認可

新式計算機  
第一膳寫堂  
東京市日本橋區橋本  
電話花丸一九二〇二九  
大田區大森町三丁目九番

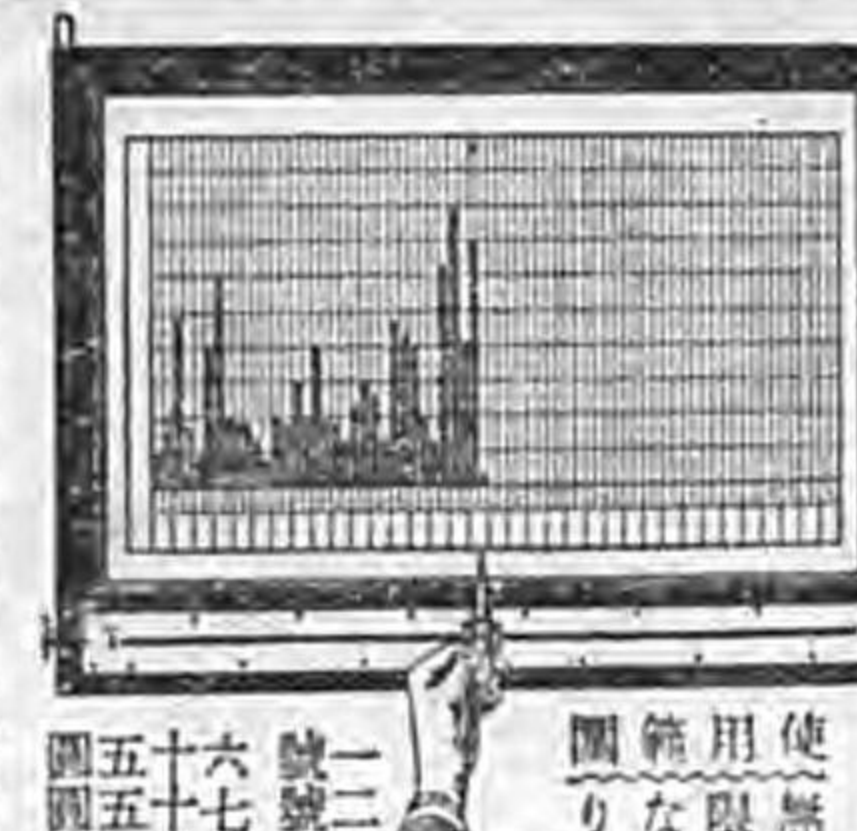


第一膳寫堂

## 專賣統計表示器

本賣特許第七六五五七號 實用新案第一七四一六〇號  
實用新案第一九〇七〇五號 實用新案第二〇八一六二號

能率增進文化の利器



凡ての統計表示に獨來の如き煩雜なる手續を不避辭間に其使命を果し永久の使用に堪へ使用又極めて簡單御使用者より、幾多の天官公衙學校銀行會社商店等に工場等は部分品を高を當に明確に表示等本器御利用收益増加のため今直に御請求御研究を務められませ

現に使用中の各位は日收益増大廣島通信局百六十五號、名古屋通信局百五十五號等御採用日活の活用旺なり

元賣發作製 元賣發作製  
元賣發作製 元賣發作製

## 第卅九回決算報告

自昭和十二年八月二十一日至昭和十二年二月二十一日

貸借対照表		貸方ノ部		借方ノ部	
現金	100,000.00	現金	100,000.00	現金	100,000.00
預金	200,000.00	預金	200,000.00	預金	200,000.00
有価証券	300,000.00	有価証券	300,000.00	有価証券	300,000.00
固定資産	400,000.00	固定資産	400,000.00	固定資産	400,000.00
流動資産	500,000.00	流動資産	500,000.00	流動資産	500,000.00
負債	600,000.00	負債	600,000.00	負債	600,000.00
資本	700,000.00	資本	700,000.00	資本	700,000.00
利益剰餘金	800,000.00	利益剰餘金	800,000.00	利益剰餘金	800,000.00
損失剰餘金	900,000.00	損失剰餘金	900,000.00	損失剰餘金	900,000.00
合計	1,000,000.00	合計	1,000,000.00	合計	1,000,000.00

(本書ノ大十八國定規格A4判)